Canon

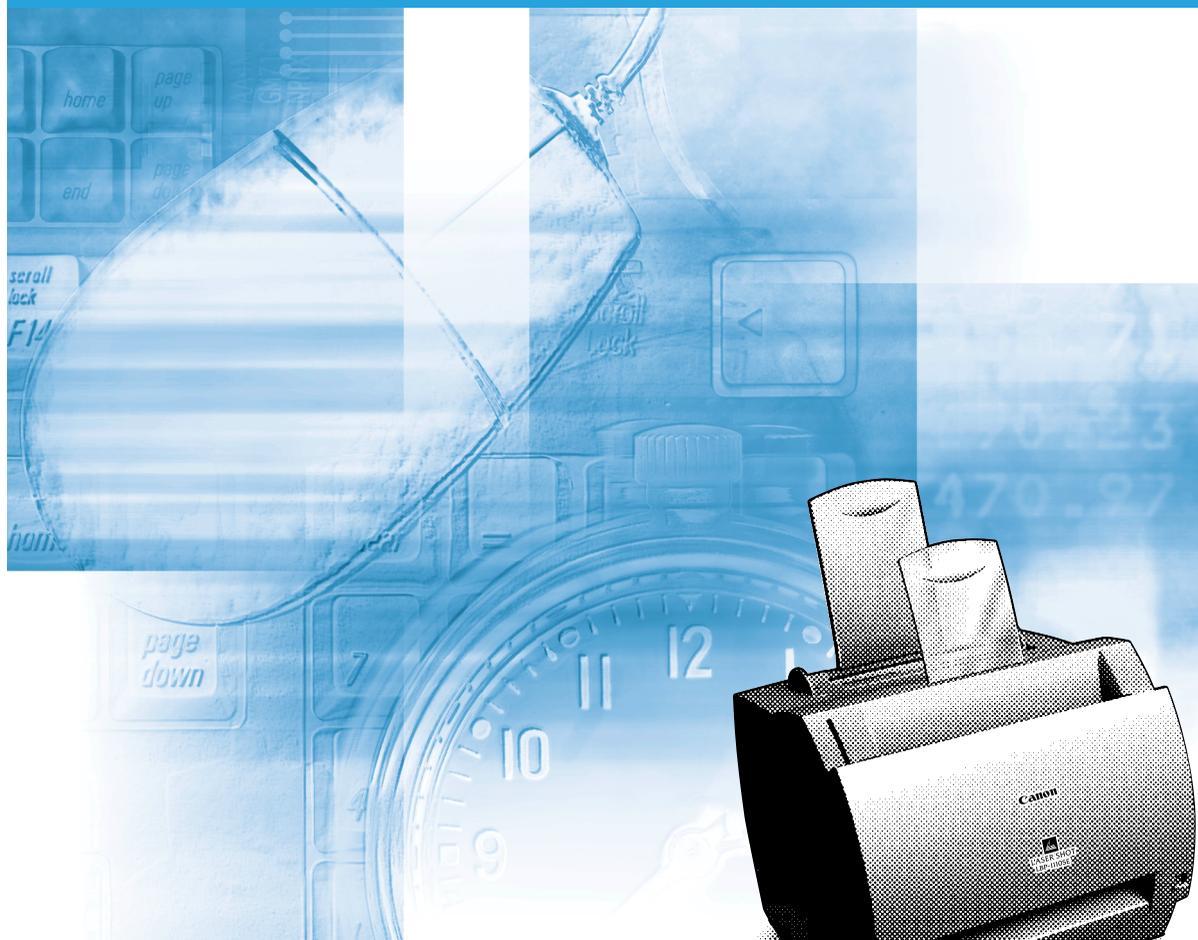
レーザビームプリンタ

LASER SHOT

LBP-1110SE

Super Smoothing Technology

CAPT
Canon Advanced Printing Technology

ユーザーズガイド

最初にお読みください。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

はじめに

Canon LASER SHOT LBP-1110SEをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
本プリンタには、以下のマニュアルやヘルプが用意されております。
目的に応じてマニュアルをご覧いただき、本プリンタを正しく、また充分にご活用ください。

是非ご覧ください

ビジュアルガイド

基本操作をアニメーションで紹介します

プリンタの基本操作（トナーカートリッジのセット、用紙のセットなど）をアニメーションでわかりやすく説明しています。ビジュアルガイドは、本プリンタに付属のCD-ROM「User Software for LBP-1110」のメニュー画面から起動します。

最初に必ずお読みください

ユーザーズガイド

第1章　LBP-1110SEの基本操作

プリンタの設置、ソフトウェアのインストールなど、印刷するために必要な基本操作を説明しています。

OS環境や用途に応じてお読みください

ユーザーズガイド

第2章～第6章　付録

基本以外の詳細な操作をOS環境別に説明しています。
また、困ったときの対処方法も説明しています。

オンラインヘルプ

本プリンタのソフトウェアについての説明を表示します

プリンタプロパティやプリンタステータスウィンドウなど、ソフトウェアに関する説明をポップアップなどで表示します。

ユーザーズガイドの使い方

1
2
3
4
5
6
付録

目次

LBP-1110SEプリンタの特長

Microsoft Windows にジャストフィット

- LBP-1110SEは、Windows 95/98/MeおよびWindows NT 4.0/2000/XPに対応した最新のCAPT（Canon Advanced Printing Technology）ソフトウェアを搭載したプリンタです。このシステムでは、従来プリンタで行っていた印刷時のデータ処理をパソコンで一括処理するため、パソコンの性能をフルに活かした高速印刷を実現しています。また、コンピュータの解放時間も一段と短くなりました。
- 印刷中、用紙切れなどの情報はもちろんのこと、印刷の残り時間や印刷終了予定時刻までもリアルタイムにディスプレイ上に表示されます。

USB インタフェースを標準装備

- 周辺機器をひとつのコネクタで容易に接続できるUSB（Universal Serial Bus）インタフェースを標準装備。付属CD-ROMに収録されているMacintoshドライバをお使いになれば、iMac や Power Macintosh とのUSB接続が可能です。

充実したソフトウェア

- 付属のCD-ROM「User Software for LBP-1110」には、本プリンタをお使いになる上で不可欠な「CAPT ソフトウェア」をはじめ、ドキュメントを豊かにする「FontGallery（TrueTypeフォント）」、プリンタの基本操作や接続などを、アニメーションで初心者にもわかりやすく解説した「ビジュアルガイド」などが収録されています。

高速印刷＆超高画質印刷

- 毎分8枚の高速印刷を実現。印刷待ちのストレスを感じさせません。
- 印字機構に600dpiのプリントエンジンを搭載。さらに、キヤノン独自の新スーパースムージングテクノロジー技術により、2400dpi相当×600dpiの超高画質を実現しました。また、256階調の誤差拡散法やディザ法を採用したグレースケールで、写真やグラフィックの微妙な表現も美しく印刷します。

多彩なネットワーク対応

- ネットワークプリンタとしてお使いになる場合、サーバ／クライアント双方にステータスが表示されます。また、ジョブ操作も行うことができます。
- オプションのネットワークアダプタをお使いになると、ネットワーク直結プリンタとしてご利用いただけます。

さまざまなマテリアルに対応

- 普通紙、はがき、封筒（洋形２号・洋形４号)、ラベル用紙、OHP フィルムなどさまざまな用紙に対応。また、A4 機であっても、縮小モードにより、A3、B4 サイズのドキュメントを A4 サイズに縮小する定形変倍印刷ができます。
- オーバレイ印刷を実現したため､アプリケーションの種類を問わず同じ体裁の定形文書が手軽に印刷できます。また、非定形なユーザ定義用紙サイズにも印刷できます。

省電力設計＆ウォームアップレス

- 省エネとクイックスタートを同時に実現した､キヤノン独自の画期的な｢オンデマンド定着方式｣。定着ヒータをプリント時のみ瞬間的に加熱する方法で、ウォームアップ時間はありません。いつでもスタンバイ状態ですぐに印刷を開始できます。しかも､スタンバイ時の平均消費電力は、わずか約 5.5W の省電力設計です。

コンパクト＆低騒音設計

- 縦形設計の本体には給紙カセットの出っ張りもなく､ご家庭でもオフィスでもわずかなスペースでお使いいただけます。
- 印刷時も静かな低騒音設計。しかも､スタンバイ時は無音で､夜間でも周囲に気兼ねなく安心してお使いいただけます。

容易なメンテナンス＆ステータスウィンドウ

- LBP-1110SE用のEP-22カートリッジは､トナーと感光ドラムの一体型で簡単に交換できます。
- 印刷時に表示されるステータスウィンドウは､グラフィックスと音声により的確な判断が容易に行え､本プリンタの操作性を向上させております。

商標について

- Canon、Canonロゴ、LASER SHOT、FontGallery、FontComposer、NetSpotはキヤノン株式会社の商標です。
- Microsoft、MS-DOS、 Windows、Windows ロゴ、Windows NT、は米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple、Mac OS、Macintosh、TrueType、漢字Talkは、米国Apple Computer Inc.の商標です。
- Adobe AcrobatはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

下記の書体は米国Bitstream社よりライセンスを受けています。
American Garamond Roman, American Garamond Italic, American Garamond Bold, American Garamond Bold Italic,
Bitstream Cataneo Light, Bitstream Cataneo Regular, Bitstream Cataneo Bold, Bitstream Cataneo Light Swash, Bitstream Cataneo Regular Swash, Bitstream Cataneo Bold Swash, Bitstream Cooper Black, Bitstream Cooper Black Italic, Bitstream Cooper Black Outline, Bitstream Roundhand Regular, Bitstream Roundhand Bold, Bitstream Roundhand Black, Bodoni Roman, Bodoni Italic, Bodoni Bold, Bodoni Bold Italic,
Century Oldstyle Roman, Century Oldstyle Italic, Century Oldstyle Bold,
Century Schoolbook Roman, Century Schoolbook Italic, Century Schoolbook Bold, Century Schoolbook Bold Italic,
Clarendon Roman, Clarendon Bold, Clarendon Black,
Cloister Black Regular, Cloister Black Openface,
Commercial PI Regular,
Commercial Script Regular,
Dutch 801 Regular, Dutch 801 Italic, Dutch 801 Bold, Dutch 801 Bold Italic, Dutch 801 Extra Bold, Dutch 801 Extra Bold Italic,
Exotic 350 Light, Exotic 350 Demi-Bold, Exotic 350 Bold,
Goudy Oldstyle Roman, Goudy Oldstyle Italic, Goudy Oldstyle Bold, Goudy Oldstyle Bold Italic, Goudy Oldstyle Extra Bold, Goudy Oldstyle Handtooled,
Holiday PI,
Poster Bodoni Roman, Poster Bodoni Italic,
Prima Sans BT, Prima Sans Bold, Prima Serif BT, Prima Serif Bold, Prima Mono BT, Prima Mono Bold,
Ribbon 131 Regular, Ribbon 131 Bold,
Serifa Thin, Serifa Thin Italic, Serifa Light, Serifa Light Italic, Serifa Roman, Serifa Italic, Serifa Bold, Serifa Black, Serifa Bold Condensed,
Snowcap Regular,
Staccato 222, Staccato 555,
Swiss 721 Light, Swiss 721 Light Italic, Swiss 721 Roman, Swiss 721 Italic, Swiss 721 Bold, Swiss 721 Bold Italic, Swiss 721 Condensed, Swiss 721 Bold Condensed, Swiss 721 Thin, Swiss 721 Thin Italic, Swiss 721 Light Condensed, Swiss 721 Light Condensed Italic, Swiss 721 Condensed Italic, Swiss 721 Bold Condensed Italic, Swiss 721 Bold Outline, Swiss 721 Extended, Swiss 721 Bold Extended, Swiss 721 Black

Extended, Swiss 721 Black Outline, Swiss 721 Bold Rounded, Swiss 721 Black Rounded,
Symbol Proportional Regular,
Zapf Humanist 601 Roman, Zapf Humanist 601 Italic, Zapf Humanist 601 Bold, Zapf Humanist 601 Bold Italic, Zapf Humanist 601 Ultra, Zapf Humanist 601 Ultra Italic

下記の書体は米国 Bitstream 社の商標です。
Dutch 801，Swiss 721，Snowcap，Bitstream Cataneo

下記の書体は Kingsley-ATF Type 社の商標です。
Century Oldstyle，Century Schoolbook，Cloister Black，Goudy Oldstyle

下記の書体は Fundicion Tipografica 社の商標です。
Serifa

平成書体は、(財) 日本規格協会文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結し使用しているものです。これらの書体を含め本製品に収容されている書体は、フォントとして無断複製することは禁止されています。

平成書体は、（財）日本規格協会文字フォント開発・普及センターの知的財産です。
この平成書体を含め本製品に収容されている書体は、これを変形加工して一組の書体、またはフォントとして制作・使用・販売するなどの行為は禁止されております。ただし、書体変形加工システム／ソフトでの限定された文字数のロゴタイプや広告見出しなどの文書ブロックの変形加工（改変）は上記禁止事項には含まれません。

略称について

- Microsoft® およびMicrosoft® Windows® 日本語版を、MicrosoftおよびMicrosoft WindowsまたはWindowsと表記しています。
- Microsoft® Windows® 95 日本語版を、Windows 95と表記しています。
- Microsoft® Windows® 98 日本語版を、Windows 98と表記しています。
- Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版を、Windows Meと表記しています。
- Microsoft® Windows NT® Version 4.0を、Windows NT 4.0と表記しています。
- Microsoft® Windows® 2000 日本語版を、Windows 2000と表記しています。
- Microsoft® Windows® XP 日本語版を、Windows XPと表記しています。
- LASER SHOT LBP-1110SEをLBP-1110SEと表記しています。

表記について

マークについて

本書では、次のようなマークをつけて、説明を分類しています。これらのマークの箇所は必ずお読みください。

警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

操作上必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。機械の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。

操作の参考になることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。LBP-1110SE プリンタはオンデマンド定着方式の採用により、消費電力が印刷時平均約166Wから、スタンバイ時には自動的に約5.5Wまで下がる設計となっています。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、参加各国の間で統一されています。

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

⚠ 安全にお使いいただくために

この取扱説明書は本製品および本製品の付属品を安全にお使いいただくために、必ずお守りいただきたいことを説明しています。電気製品は正しく取り扱わないと思わぬ事故を起こしたり、火災や感電の原因となり危険です。本書に記載されている注意事項は必ずお守りください。また製品本体やトナーカートリッジに貼付のラベル等に記載してある注意事項も必ずご覧ください。

・お使いになる前に必ず以下の注意文をよくお読みください。
・お使いの機種によっては一部説明が該当しない場合があります。

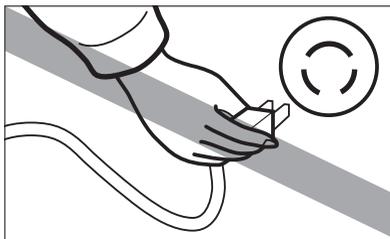
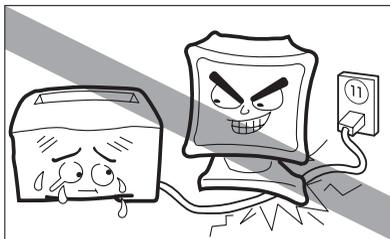
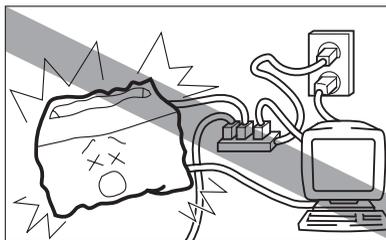
警告

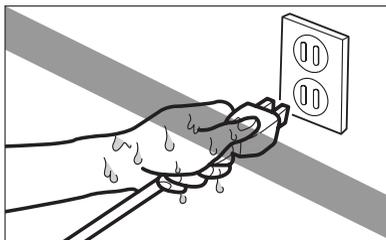
❏ 設置

● アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

❏ 電源

● 以下のような操作は行わないでください。火災や感電の原因となります。

・表示された電源電圧以外での使用。

・電源コードの損傷、破損、加工。また、電源コードに重いものをのせる、引っぱる、無理に曲げる。（痛んだ部分から漏電します）

・同梱されている電源コード以外の使用。
・タコ足配線。

・延長コードの使用。（できるだけ避けてください）
・電源コードを束ねたり、結んだままの通電。

・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

・電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。電源プラグをコンセントに正しく差し込まないで操作すると火災や感電の原因となります。

● アース線を正しく取り付けてください。

[アース線を接続してよいもの]

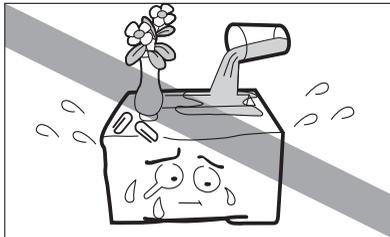
・コンセントのアース端子
・接地工事（D種）が行われているアース端子

[アース線を接続してはいけないもの]

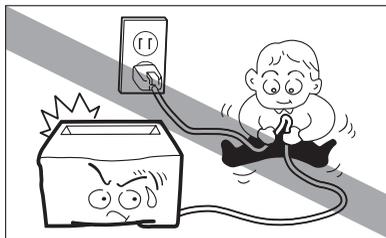
・ 水道管…配管の途中でプラスティックになっている場合があり、その場合はアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
・ガス管…ガス爆発や火災の原因になります。
・電話線のアースや避雷針…落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。

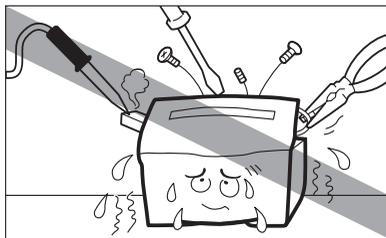
❑ 取り扱い

● 本体の上に次のような物を置かないでください。

・アクセサリーやクリップなどの金属物
・コップ、花瓶、植木鉢など水や液体が入った容器
・引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）

水などがこぼれたり、異物が内部に入ると、火災や感電の原因になります。万一異物が内部に入った場合は、直ちに電源をオフし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。

● 異常な音がしたり、発熱したり、煙がでたり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると火災や、感電の原因となります。異常が起きたらすぐに電源をオフし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。

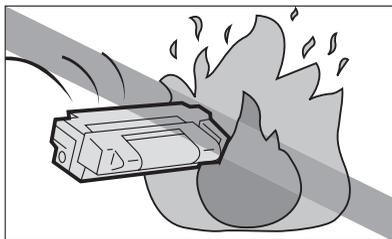
● 電気製品は誤って取り扱うと思わぬけがをして危険です。電源コードやケーブル類、本体内部のギアや電気部品に子供が触れないように注意してください。

● 以下のような操作は行わないでください。火災や感電の原因をなります。

・本体を分解したり、改造する。

・本体の近くで可燃性のスプレーを使用。
・本体を移動させる場合は、必ず電源をオフし、電源プラグを抜いてから行ってください。コードが痛んで火災や感電の原因となります。

❑ 保守、点検

● 本体をお手入れする際は、必ず電源コードを抜いてから行ってください。感電の原因になります。

● 清掃のときは、中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が本体内部の電気製品などに付着すると、火災や感電の原因となります。

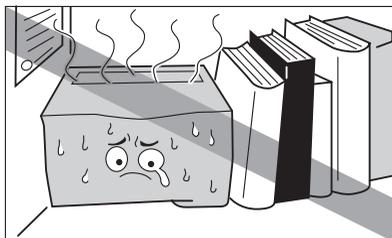
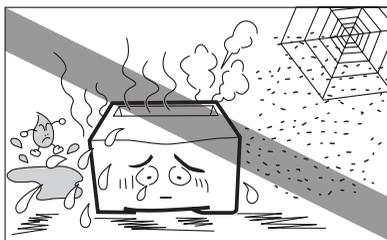
● 使用済みのトナーカートリッジは絶対に火の中に投じないでください。カートリッジ内に残ったトナーに着火してやけどや火災の原因になります。

❑ 保管

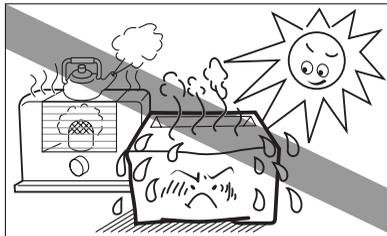
●トナーカートリッジやプリント用紙は火気の近くに保管しないでください。万一トナーや用紙に引火するとやけどや火災の原因になります。

注意

❑ 設置

● 不安定な場所や振動のある場所に設置しないでください。落下したり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

● 本体の通気口を壁や物でふさがないように置いてください。またベッドや毛足の長いじゅうたん等の上に置いて本体の通気口をふさがないように注意してください。本体の通気口がふさがれると本体内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

● 湿気やほこりの多い場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。

●水道の蛇口付近等、水気のある場所に設置しないでください。感電の原因になることがあります。

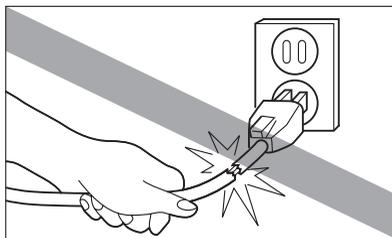
● 高温になる場所や火気の近くに設置しないでください。火災の原因になることがあります。

● 本体を持ち運ぶ場合はプリンタの取扱説明書の指示にしたがって正しく持ってください。本体を落としたりしてけがの原因となることがあります。

<ストッパのある機械について>

● 設置したあとは、本体固定用のストッパは外さないでください。本体が動いたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

❏ 電源

● アース接続してください。アース接続がされないで万一漏電した場合は、感電の原因となることがあります。

● 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して火災や感電の原因となることがあります。

● いつでも電源プラグが抜けるように電源プラグのまわりには物を置かないでください。非常時に電源プラグを抜けなくなります。

● 夜間等で長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフしてください。また、連休等で長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグを抜いてください。

❏ 取り扱い

● レーザ光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本プリンタでは、レーザ光はレーザスキャナユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザ光が漏れる心配は全くありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。

・本体の取扱説明書で指示された以外のカバーは絶対に開けないでください。

・レーザスキャナユニットのカバーに貼ってある注意ラベルをはがさないでください。（位置についてはプリンタの取扱説明書をご覧ください）

万一レーザ光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因となることがあります。レーザ光は目に見えませんので、注意が必要です。

❏ 保守、点検

● 本体内部の定着器は、使用中に高温になります。紙詰まりの処理等で本体内部を点検するときは、触れないように注意してください。万一手で触れるとやけどをする恐れがあります。（定着器の位置についてはプリンタの取扱説明書をご覧ください）

● 紙詰まりの処理やトナーカートリッジの交換をするときは、トナーで手や衣服を汚さないように注意してください。万一汚してしまった場合は、すぐに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着して汚れがとれなくなることがあります。

● 本体内部から紙詰まりした用紙を取り除くときは、用紙の上にのっているトナーが目や口などに入らないように注意してください。万一トナーが目や口に入った場合は、すぐに水で洗い流し、医師と相談してください。

● 用紙を補給するときや、紙詰まりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように注意してください。

❏ 保管

● トナーカートリッジは幼児の手の届かないところに保管してください。万一カートリッジ内のトナーを飲んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

必要なシステム環境

本プリンタのソフトウェア、CAPT（Canon Advanced Printing Technology）をインストールするには、以下の環境が必要です。

OS ソフトウェア環境

- Microsoft Windows 95/98/Me 日本語版
- Microsoft Windows NT 4.0/2000/XP（x86 版）日本語版

動作パソコン環境

	Windows 95/98/Me	Windows NT 4.0/2000	Windows XP
CPU	Pentium以上	Pentium以上/ Pentium 133MHz以上	Pentium 233MHz以上
メモリ（RAM）	16MB以上（DOS/V）	32MB以上（DOS/V）	64MB以上（DOS/V）
ハードディスク	約15MB	約10MB	約10MB

- ディスクキャッシュ、RAM ディスクなどのドライバをお使いの場合は、上記の RAM 容量に加え、ドライバが使用する RAM 容量が必要になります。

推奨パソコン環境

	Windows 95/98/Me	Windows NT 4.0/2000	Windows XP
CPU/製品名	MMX Pentium 200MHz以上	MMX Pentium 200MHz以上/ MMX Pentium 233MHz以上	Pentium II 300MHz以上
メモリ（RAM）	24MB以上（DOS/V）	48MB以上/ 128MB（DOS/V）	128MB以上 （DOS/V）
プリンタポート	ECP（DMA使わない）		

- 本書では、パソコンの機種名を以下のように表記しています。
  DOS/V：（IBM-PC 系の）各社 PC/AT 互換機を示しています。
- サウンド（音声メッセージ）をお使いになる場合は、PC 音源（および PCM 音源のドライバ）が組み込まれている必要があります。PC スピーカドライバ（speaker.drv など）はお使いにならないでください。
- Macintosh コンピュータをお使いの場合は、USB ポートを標準で搭載する機種、Mac OS 8.1 から 9 まで、または Mac OS 10.1 から Mac OS 10.2.3（ネイティブ）までのいずれかの OS が必要です。

CD-ROMについて

付属のCD-ROM「User Software for LBP-1110」には、本プリンタに関連したソフトウェアがはいっています。

CD-ROM に入っているもの

● CAPT (Canon Advanced Printing Technology) ソフトウェア、USB クラスドライバ

CAPT (Canon Advanced Printing Technology) ソフトウェア は本プリンタを使用して印刷するために必要なソフトウェアです。お使いのパソコンに必ずインストールしてください。
USB クラスドライバは、USB ポートを使用して印刷するためのソフトウェアです。USB をお使いになる場合にインストールしてください。
CAPT ソフトウェア、USB クラスドライバには、以下のものが含まれています。
- ・Windows 95/98/Me 用 CAPT プリンタドライバ
- ・Windows NT 4.0 用 CAPT プリンタドライバ
- ・Windows 2000 用 CAPT プリンタドライバ
- ・Windows XP 用 CAPT プリンタドライバ
- ・Windows 98 用 USB クラスドライバ
- ・Mac OS 8/9 用プリンタドライバ（USB 接続対応）
- ・Mac OS X 用プリンタドライバ（USB 接続対応）

お願い

- ● Windows で CAPT をお使いになる前には、必ず「Canon LBP-1110 説明ファイル」をお読みください。
- ● Mac OS 8/9 用プリンタドライバをお使いになる前には、必ず付属の CD-ROM に収録されている「最初にお読みください」をお読みください。
- ● Mac OS X 用プリンタドライバをお使いになる前には、必ず[プリンタドライバ MacOSX]フォルダ内の「お読みください」をお読みください。
- ● Macintosh コンピュータ用プリンタドライバをご使用になる場合は、同梱のユーザ登録カードをご記入の上ご返送ください。ユーザ登録は、ユーザサポート（→ **P.133**）をお受けになる際に必要です。

● NetSpot

NetSpot は、本プリンタにオプションのネットワークアダプタを接続するときに使用する、ユーティリティ・ソフトウェアです。
NetSpot についての詳細は、CD-ROM の￥NetSpot フォルダ下の Readme.txt をご覧ください。

お願い

- ● Macintosh コンピュータをお使いの場合は、かな書体および FontComposer はご利用いただけません。

● **FontGallery® (TrueType フォント)**

FontGalleryは、Microsoft® Windows® (以下Windows)、Macintosh® OS対応のTrueTypeフォントです。Windows 95/98/Me、Windows NT 4.0/2000/XP、およびMacintosh コンピュータ上のアプリケーションで自由に使うことができます。アウトラインフォントで作成され、フォントサイズも自由に変更して表示、印刷できます。また、FontGalleryの各書体と「かなデータ」を組み合わせて、新しい書体として登録するためのユーティリティ FontComposer® もお使いいただけます。
FontGalleryについての詳細は、付録「FontGalleryについて」(→ **P. 185**)をご覧ください。

● Macintoshコンピュータをお使いの場合は、かな書体およびFontComposerはご利用いただけません。
● Mac OS 10.1 以降をお使いの場合は、FontGallery はご利用いただけません。

●**ビジュアルガイド**

本プリンタの使い方を、アニメーションで紹介します。プリンタを初めてお使いになる方のためのセットアップ方法を説明しています。ビジュアルガイドは、Windows 95/98/Me および Windows NT 4.0/2000/XP でお使いいただけます。
ビジュアルガイドについての詳細は、付録「ビジュアルガイドについて」(→ **P. 184**)をご覧ください。

● Macintosh コンピュータをお使いの場合は、ビジュアルガイドはご利用いただけません。
●「ビジュアルガイド」をご使用になる場合は、Windows 95/98/Me または、WindowsNT 4.0/2000/XPのシステム上で起動しているアプリケーションを終了してください。同時に使用した場合は、「ビジュアルガイド」が正常に起動しないことがあります。

CD-ROM メニューについて

Windows 95/98/Me、および Windows NT 4.0/2000/XP をお使いの場合は、CD-ROM メニューから各ソフトウェアのインストールなどを始めることができます。付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると、以下のような CD-ROM メニューが自動的に表示されます。

●はじめに

このボタンをクリックすると、CD-ROM メニューについてのオンラインヘルプが表示されます。各項目をクリックするとその説明が表示されます。

●ビジュアルガイド

このボタンをクリックすると、ビジュアルガイドが起動します。

● Canon LBP-1110 インストール

このボタンをクリックすると、Windows 95/98/Me をお使いの場合は専用インストーラが起動し、Windows NT 4.0/2000/XP をお使いの場合は［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

● Canon LBP-1110 説明ファイル

このボタンをクリックすると [Canon LBP-1110 説明ファイル] が表示されます。このファイルにはオンラインヘルプや取扱説明書に記載されていない、個別の情報や重要な情報が記載されています。本プリンタをお使いになる前に、必ずお読みください。

● FontGallery 説明ファイル

FontGalleryをお使いになるときに、必要な情報が記載されています。インストールする前に必ずお読みください。

● FontGallery インストール

このボタンをクリックすると、FontGalleryをインストールするかインストールガイドを開くかを選択するダイアログボックスが表示されます。まずインストールガイドを開き、お読みになってからインストールしてください。

● FontComposer インストール（Windows のみ）

このボタンをクリックすると、FontComposerをインストールするかインストールガイドを開くかを選択するダイアログボックスが表示されます。まずインストールガイドを開き、お読みになってからインストールしてください。

USBケーブルの接続について●

USB ケーブルでプリンタを接続してお使いになる場合は、次の点にご注意ください。

●次のときは、USB ケーブルの抜き差しをしないでください。

・プリンタドライバのインストール中
・コンピュータの電源を入れて、OS（Windows または Mac OS）が起動するまでの間
・プリンタが印刷中

USBケーブルは、コンピュータやプリンタの電源が入っているときでも、ケーブルの抜き差しが行えます。ただし、上記の場合にケーブルの抜き差しを行うと、コンピュータやプリンタが正しく動作しなくなる場合があります。

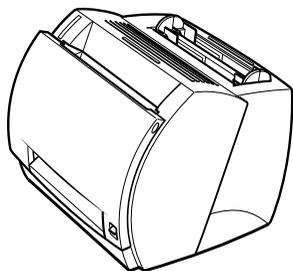
● USB ケーブルの抜き差しは、５秒以上の間隔をあけてください。

コンピュータやプリンタの電源が入っている状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、必ず抜いてから５秒以上の間隔をあけて差すようにしてください。抜いてからすぐにケーブルを差し込むと、正しく動作しないことがあります。

1

第1章　LBP-1110SEの基本操作

1 パッケージ内容を確認する

プリンタを設置する前に、パッケージ内に次のものがすべてそろっているかどうかを確認してください。万一不足しているものがあった場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

プリンタ本体

CD-ROM
「User Software for LBP-1110」
- CAPT(Canon Advanced Printing Technology)ソフトウェア
- USBクラスドライバ
- NetSpot
- FontGallery
- ビジュアルガイド

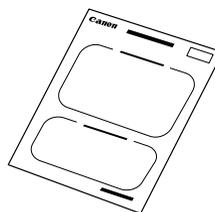
電源コード

アースコード

トナーカートリッジ
(EP-22カートリッジ)

給紙ガイド

排紙ガイド

ユーザーズガイド

保証登録書

- インタフェースケーブルは、同梱されていません。お使いのパソコン、または接続方法に合わせてご用意ください。

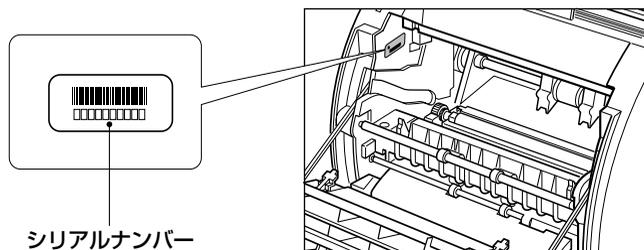
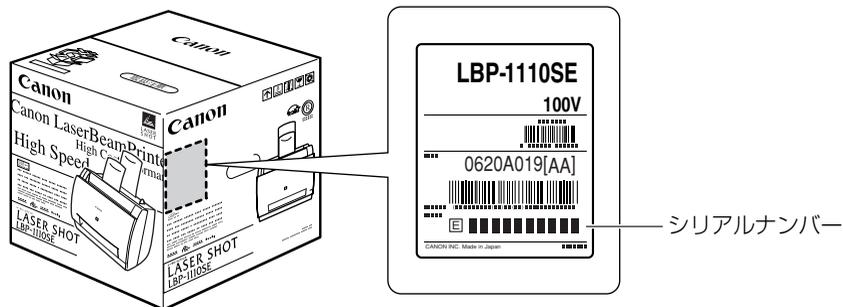
パッケージ内容を確認する

シリアルナンバーの表示位置

シリアルナンバー（Serial No.）は、４文字のアルファベットと６桁の数字で構成されています。

お願い

- ラベルはサービスや保守の際に、サービスマンがシリアルナンバーを確認するために必要です。絶対にはがさないでください。

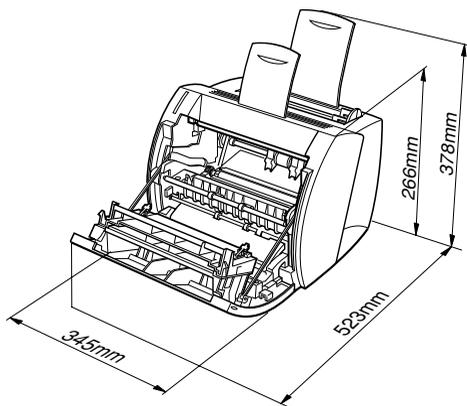
フロントカバー内部

梱包箱（側面）

2 プリンタを設置する

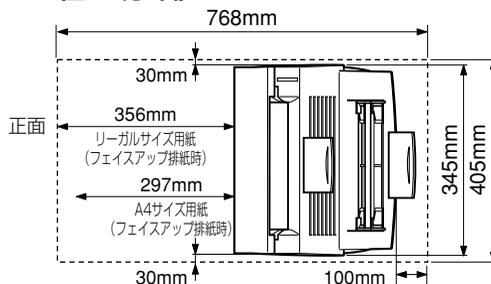
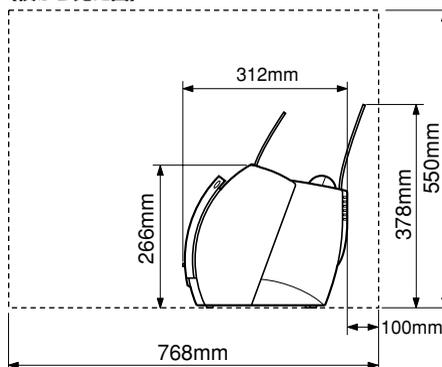
開梱したら、プリンタを設置する場所を決めます。
設置は、風通しがよく平坦で水平な、プリンタ重量に耐えられる十分な強度のある場所を選んでください。

● 設置に関する注意事項については、「⚠安全にお使いいただくために」（→ **P.xiii**）を必ずご覧ください。

- 電源電圧は以下の範囲内でお使いください。
  AC100V ± 10%
  50 / 60Hz ± 2Hz
- 本プリンタの最大消費電力は479W以下です。電源容量に十分余裕のある、独立した電源コンセントから電源が取れる場所を選んでください。
- 温度、湿度が以下の範囲内の場所でお使いください。
  周囲温度：10 ～ 32.5℃
  周囲湿度：20 ～ 80%RH（結露のないこと）

本プリンタの寸法は次のとおりです。設置する際には、プリンタの周囲に、図のような空間を確保してください。

プリンタの寸法

設置に必要なスペース

（上から見た図）

（横から見た図）

プリンタを設置する

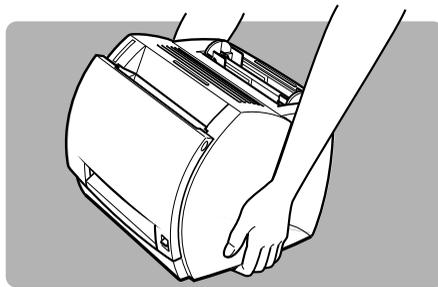
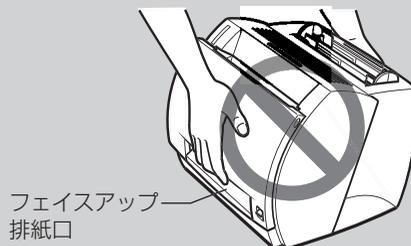
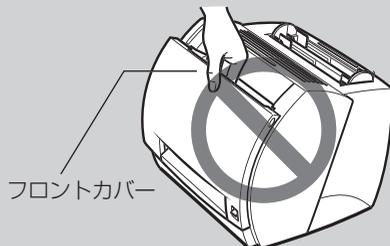
お願い

- 直射日光や強い光の当たる場所には設置しないでください。本体給紙口のすき間から直射日光や強い光が入るとトナーカートリッジ内のドラムが劣化し、印字品質が低下する恐れがあります。
- 本プリンタのある部屋を急激に暖めた場合や、本プリンタを温度や湿度の低いところから高いところへ移動した場合、プリンタ内部に水滴が生じることがあります（結露現象）。このような場合、本プリンタを周囲の温度や湿度に慣らすために、１時間以上放置してからお使いください。プリンタ内部に水滴が生じると、用紙の搬送に不具合が起こり、紙づまりの原因となったり、印刷不良となることがあります。
- 高温･高湿環境において、用紙の種類によっては良好な印字結果が得られないことがあります。
- 本プリンタの重量で歪んだり、沈む可能性のある場所（じゅうたん、畳などの上）に設置することは避けてください。

メモ

- 超音波加湿器をお使いのお客様へ
  超音波加湿器をお使いの際に水道水や井戸水を使用しますと、水の中の不純物が大気中に放出され、プリンタ内部に付着して画像不良の原因となります。お使いの際には、純水など不純物を含まない水の使用をおすすめします。

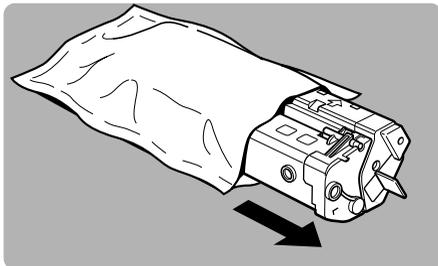
正しい持ち方

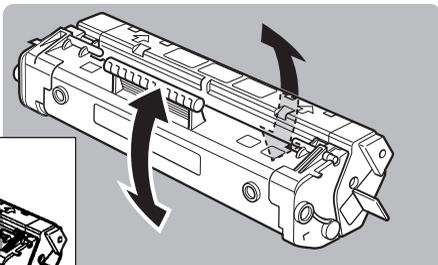
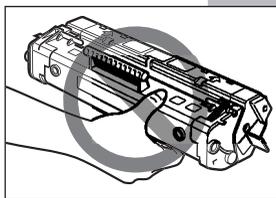
右図のように、本体左右の両側底面に手をかけて、両手でしっかり持ってください。

- 本体の前後やフロントカバーには、絶対に手をかけないでください。
  本体を破損したり、落としてけがをする恐れがあります。

3 トナーカートリッジをセットする

トナーカートリッジ(EP-22カートリッジ)は、次のような手順でセットします。

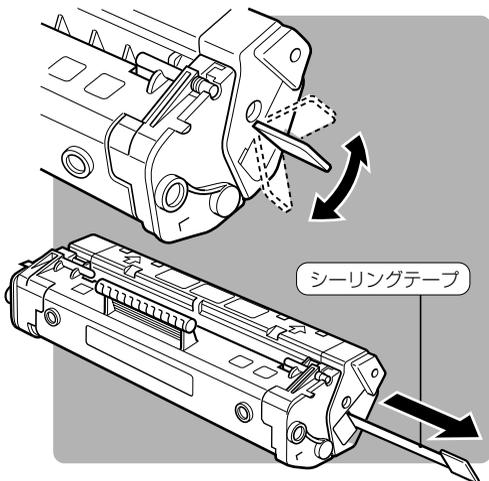
1

トナーカートリッジを保護袋から取り出します。

トナーカートリッジが入っていた保護袋は、トナーカートリッジを取り出して保管するときに必要になりますので、捨てずに保管しておいてください。

2

図のような方向にトナーカートリッジをゆっくりと５～６回ゆすり、内部のトナーをならします。

3

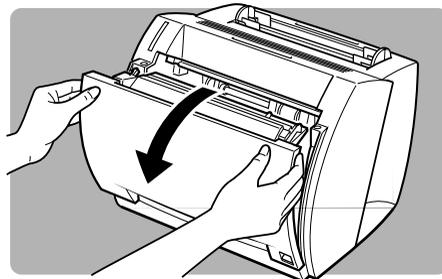
トナーカートリッジを平らな場所に置きます。シーリングテープのタブを矢印のように数回折り曲げた後、水平に引き抜きます。

斜めや下向きに引くと、途中で切れて引き抜けなくなることがあります。

トナーカートリッジをセットする

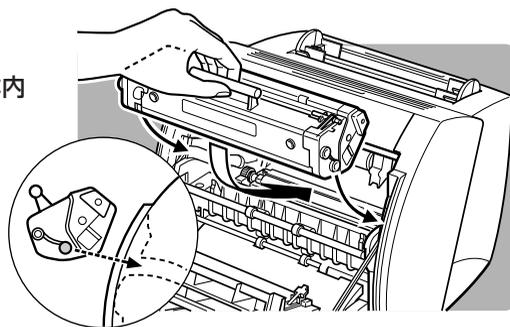
注意

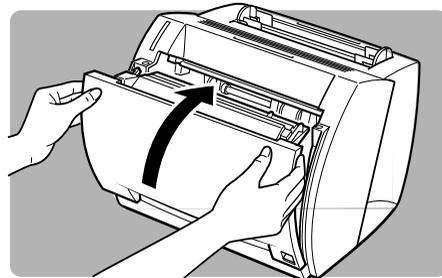
● 万一、トナーが手や衣服についたら、すぐに水で洗い流してください。
熱いお湯で洗うと、トナーが融着して取れなくなる恐れがあります。

4

フロントカバーを開けます。

5

トナーカートリッジの左右の突起を本体内部のガイドに合わせて押し込みます。

奥に突き当たったら、トナーカートリッジのハンドルを下から奥へ強く押し込み、カチッとロックされたことを確認します。

6

フロントカバーを閉じます。

お願い

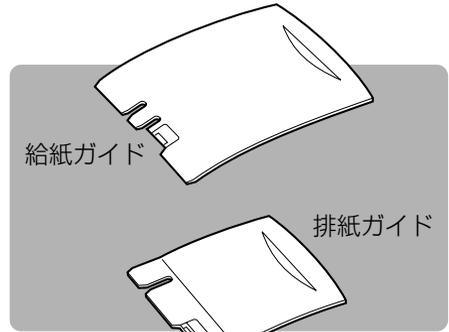
● トナーカートリッジは、光に対して非常に敏感です。取り扱いを誤ると、内部のドラムが劣化し、印字品質が低下します。カートリッジを取り扱う際には、次のような点に注意してください。
- ・直射日光や強い光に当てないでください。
- ・本体にセットするまでは保護袋から出さないでください。本体から取りはずしたときは、厚い布で包むか、カートリッジが入っていた保護袋に入れてください。
- ・ドラム保護シャッターを手で開けないでください。
- ・トナーカートリッジの取り扱いについては、第５章「トナーカートリッジ取り扱いのご注意」（→ **P.149**）もご覧ください。

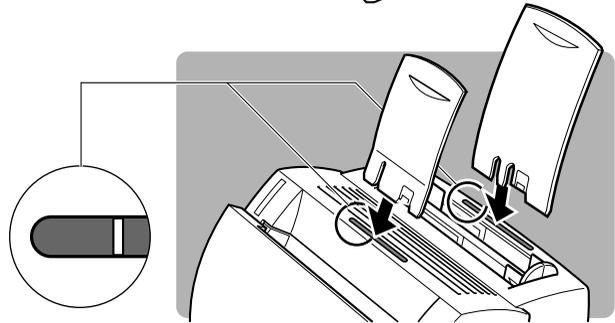
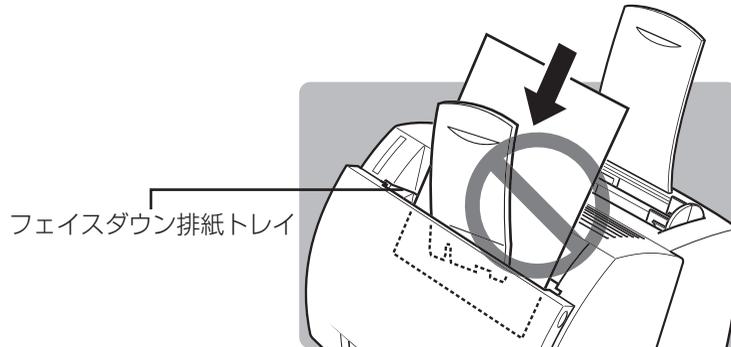
4 給紙ガイド・排紙ガイドをセットする

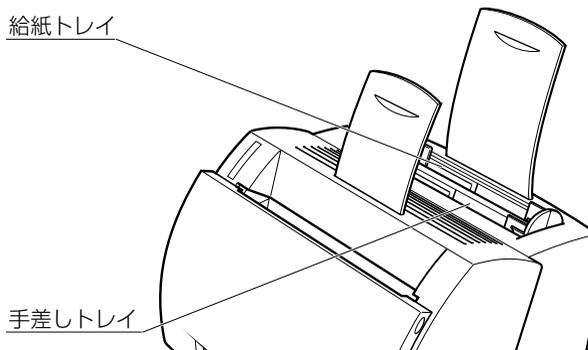
給紙ガイドと排紙ガイドをセットします。

1

給紙ガイドと排紙ガイドをそれぞれ確認してください。

大きい方が給紙ガイドです。

2

図のように、給紙ガイドを後ろ側に、排紙ガイドを前側にセットします。

- 給紙ガイド・排紙ガイドは、前側から見たときに、細長い溝が左側にきます。また、後ろに向かってゆるやかにカーブしています。セットするときは、前後を間違えないように注意してください。また、合わない差し込み口に無理にセットしないでください。
- 給紙ガイド·排紙ガイドをフェイスダウン排紙トレイのなかに落とさないように注意してください。

5 用紙をセットする

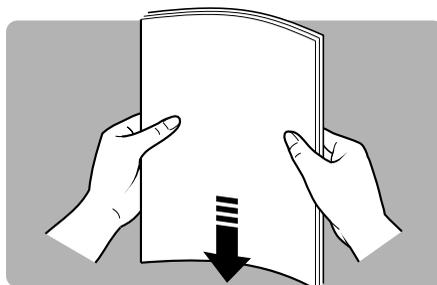
本プリンタには、本体上部に給紙トレイと手差しトレイの２つのトレイがあります。給紙トレイは最大約 125 枚まで連続給紙が可能です。手差しトレイは１枚ずつ手で給紙して使用します。

● 手差しトレイに用紙が入っている場合は、給紙トレイよりも手差しトレイから優先して給紙されます。

● 一度印刷した用紙の裏面に印刷する場合は、用紙を給紙トレイ、または手差しトレイに一枚ずつセットしてください（OHP フィルム、ラベル用紙、封筒の両面印刷は不可）。

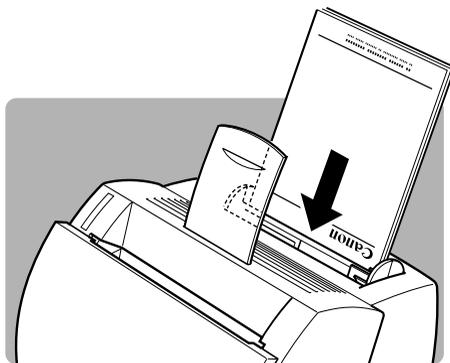
給紙トレイにセットする

給紙トレイにセットできる用紙の枚数は、最大約 125 枚（64g/m² の用紙）です。

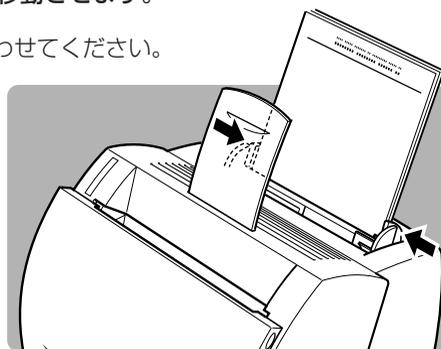
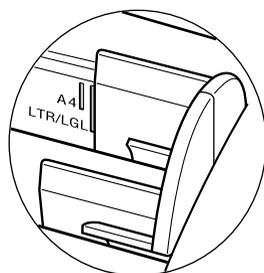
1

用紙の束をよくさばき、平らな場所で縁を揃えます。

2

給紙トレイに用紙を入れます。

用紙の束がトレイの奥に突き当たるまで、軽く押してください。
ロゴ付きの用紙に印刷する場合は、印刷する面を正面に向け、用紙の上側を下に向けてセットします。

3

用紙のサイズに合わせて、左右の用紙ガイドを移動させます。

用紙と左右のガイドの間にすき間がないように合わせてください。

お願い

- 異なる種類の用紙を混ぜて同時にセットしないでください。
- 用紙をセットする場合は、できるだけトレイの用紙がなくなってから新しい用紙をセットしてください。
- 用紙を途中で補給する場合は、まず一旦トレイにセットされた用紙を取り出して、新しい用紙と合わせて揃えてからセットし直してください。

メモ

- 印刷の向き（縦長印刷と横長印刷）は、お使いのアプリケーションソフトで設定してください。本プリンタのCAPTソフトウェアの［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択して設定することもできます。Windows 95/98/Meの場合は（→ **P.56**）、Windows NT 4.0/2000/XPの場合は（→ **P.116**）をご覧ください。Macintoshコンピュータの場合は、「オンラインマニュアル」をご覧ください。「オンラインマニュアル」はMac OS 8/9の場合、ドライバインストール後に作成される[USBcaddie 1110]内に、Mac OS Xの場合、ドライバインストール後[Library](Mac OS 10.2以降は［ライブラリ］)-[Printers]内に作成される[Canon]-[CAPT]-[Manual]内に格納されています。
- ［印刷の向き］の設定にかかわらず、プリンタへの用紙のセット方向は縦長に（用紙の短辺が上下になるように）セットしてください。

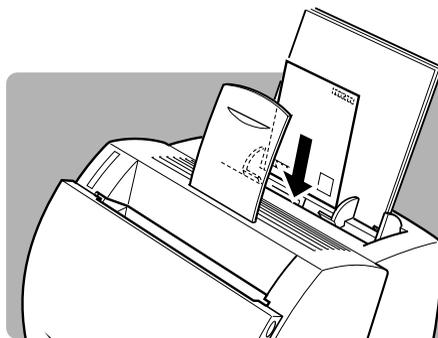
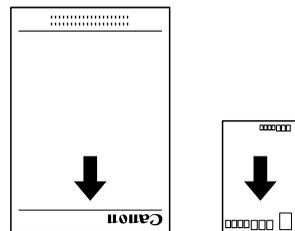
用紙をセットする

手差しトレイにセットする

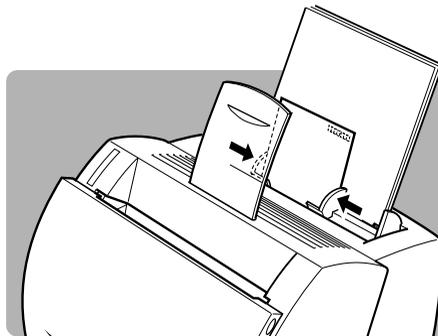
給紙トレイにセットした用紙と異なるサイズの用紙に印刷したいときや、OHPフィルム、ラベル用紙、官製はがきなどに印刷したいときに手差しトレイを使用して印刷します。手差しトレイには、用紙を1枚ずつセットして使用します。手差しトレイに用紙があると、常に優先的に印刷されます。

1

手差しトレイに用紙を１枚ずつ入れます。

はがきや封筒などの厚紙の場合は、確実に給紙させるために、用紙をセットした後、用紙をトレイの奥に向けて軽く押してください。

官製はがきやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、印字面を正面に向け、用紙の上側を下に向けてセットします。

2

用紙のサイズに合わせて、左右の用紙ガイドを移動させます。

お願い

● リーガルサイズの用紙、OHPフィルム、ラベル用紙、官製はがき、封筒はフェイスアップ排紙で印刷してください（→ **P.15**）。

- 封筒に印刷する場合は（→ **P.140**）をご覧ください。
- はがきに印刷する場合は（→ **P.142**）をご覧ください。

お使いいただける用紙

本プリンタを活用していただくために、適切な用紙をお使いください。用紙が適切でないと印字品質が低下したり紙づまりの原因になります。
給紙トレイの積載容量は積載厚 12.5mm 以下までです。

用紙の種類	サイズ	重さ	一度にセットできる枚数		備考
			給紙トレイ	手差しトレイ	
普通紙	76.2×127㎜～216×356㎜[*1] A4　：210×297㎜ B5　：182×257㎜ A5　：148×210㎜ リーガル　：216×356㎜ レター　：216×279㎜ エグゼクティブ　：184×267㎜	64g/㎡	64g/㎡用紙で約125枚	1枚	
厚紙		91～105g/㎡	約85枚	1枚	
OHPフィルム	A4	－	約100枚	1枚	キヤノン推奨品LBP用OHPフィルムA4の重さは8.7gです。
ラベル用紙	A4	－	約80枚	1枚	キヤノン推奨品ラベル用紙A4の重さは7.8gです。
官製はがき	100×148㎜	－	約45枚	1枚	
封筒	洋形2号：114×162㎜ 洋形4号：105×235㎜	－	約7枚	1枚	キヤノン推奨品LBP専用封筒Y201、Y401

[*1] 幅 182mm 未満の用紙の場合は、長さ 235mm 以下の用紙のみ使用可能です。

- 幅 182mm 未満の用紙の場合、長さ 236mm 以上の用紙は使用できません。誤ってお使いになると、プリンタが故障する恐れがあります。必ず 235mm 以下の用紙をお使いください。
- 一回の印刷の枚数は、ハガキや幅が 182mm 未満の用紙を連続で印刷する場合は 45 枚、封筒は 40 枚までにしてください。それ以上の枚数の印刷を連続で行う場合は、30 分以上の休止時間を設け、プリンタ本体を十分に冷却してから印刷を再開してください。冷却が不十分なまま印刷を再開した場合には、本体内部の定着器周辺が昇温し、プリンタが故障する恐れがあります。

- 長さがB5サイズ以下の用紙を連続で印刷する場合に、定着器を保護するためプリント速度が落ちることがあります。

用紙をセットする

お使いいただけない用紙

次のような用紙は、紙づまりやプリンタ本体の故障、トラブルの原因になりますので、お使いにならないでください。

紙づまりを起こしやすい用紙	・厚すぎる用紙、薄すぎる用紙 ・不規則な形の用紙 ・湿っている用紙、濡れている用紙 ・破れている用紙 ・表面が粗い用紙、つるつるしすぎている用紙 ・バインダ用の穴やミシン目のある用紙 ・カールした用紙や折り目のある用紙 ・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙 ・裏紙が簡単にはがれてしまうラベル用紙 ・複写機や他のレーザプリンタで1度使用した用紙（裏面も不可） ・バリやしわのある用紙、角折れ用紙
高温によって変質する用紙	・定着器の熱（約170℃）で溶解、燃焼、蒸発したり有毒なガスを発生するインクを使用した用紙 ・感熱用紙 ・表面加工したカラー用紙 ・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙 ・糊などが付いている用紙
プリンタ本体の故障や損傷の原因となる用紙	・カーボン紙 ・ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙 ・複写機や他のレーザプリンタで1度使用した用紙（裏面も不可）
トナーが定着しにくい用紙	・ざら紙、和紙のように表面がざらざらしている用紙、繊維の粗い用紙 ・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙

用紙の保管について

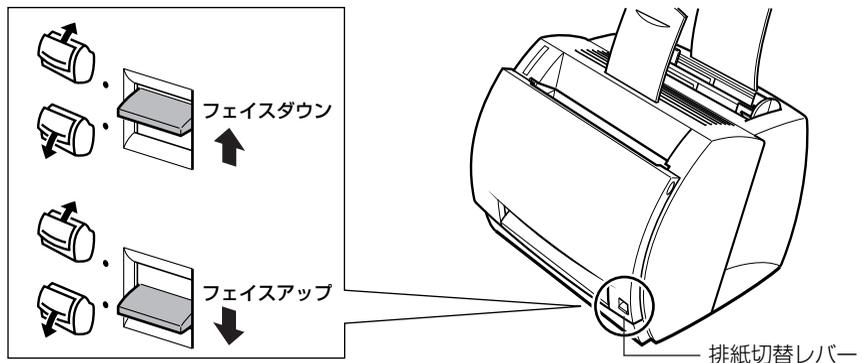
規格にあった用紙でも、保管が悪いと変質してしまうことがあります。変質した用紙は給紙不良や紙づまりの原因になったり、印字品質の低下を招くことがあります。
用紙を保管するときは、次のことに注意してください。

- 用紙は特に水分を嫌いますので、湿らせないようにしてください。
- 用紙の包装紙は、湿気を防ぐ働きをします。お使いになるまでは包装したままにしておいてください。また、お使いにならない用紙は包装紙に包んでおいてください。
- 平らな場所に保管してください。
- 床面は一般に湿度が高いので、用紙を床に直接置かないでください。
- 用紙が丸まったり折り目がつくような置き方をしないでください。
- 用紙を立てて保管したり、あまり多く積み重ねないでください。
- 直射日光の当たる場所や湿度の高い場所に保管しないでください。
- 保管場所と使用する場所の温度に著しく差がある場合は、包装したままで1日ほど使用する場所に置いて、室温に慣らしてからお使いください。急激な温度や湿度の変化は、用紙の丸まりやしわの原因になります。

排紙方法を選択する

LBP-1110SE では、印刷した用紙の排紙方法を選択できます。排紙方法には印字面を下向きにして排紙するフェイスダウンと、上向きにして排紙するフェイスアップがあります。用途によって使い分けてください。

排紙方法の切替え

排紙方法の切替えは、本体前面にある排紙切替レバーで行います。

お願い

- 印刷中は、絶対に排紙切替レバーを操作しないでください。

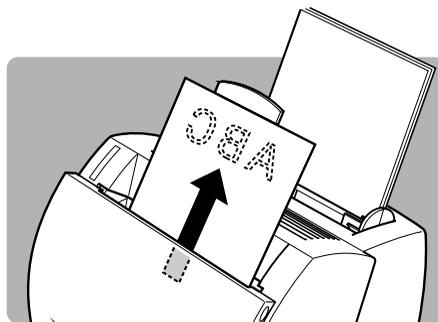
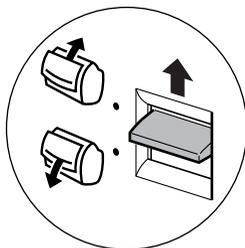
用紙の種類と排紙方法

本プリンタには、2つの排紙方法があります。用紙の種類によって、適切な排紙方法を選択します。

用紙の種類	使用できる排紙方法	排紙枚数
普通紙	フェイスアップ	1枚（64g/㎡）
	フェイスダウン	約50枚（64g/㎡）
OHPフィルム	フェイスアップ	1枚
ラベル用紙	フェイスアップ	1枚
官製はがき	フェイスアップ	1枚
封筒	フェイスアップ	1枚

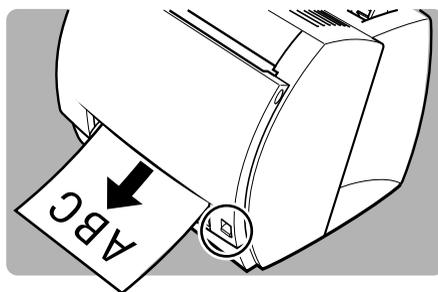
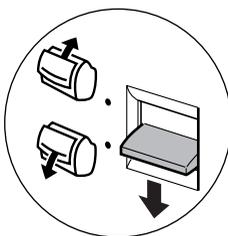
排紙方法を選択する

フェイスダウン排紙

フェイスダウン排紙は、印字面を下向きにして、本体上側のフェイスダウン排紙トレイに排紙されます。
印刷した順に用紙が積み重なります。通常はこの排紙方法が便利です。

フェイスアップ排紙

フェイスアップ排紙は、印字面を上向きにして、本体前面のフェイスアップ排紙口から排紙されます。
プリンタ内部通過時に、用紙がまっすぐ排出されるので、カールしやすいOHPフィルム、ラベル用紙、官製はがきなどに印字するときに使用します。ただし、用紙の重なりは印刷した順と逆になります。

■排紙切替レバーを下(　)にします。

本体前面に排紙された用紙は1枚ずつ取り除いてください。

お願い

- フェイスアップ排紙口に出てきた用紙を無理にひっぱらないでください。
- 本プリンタには排紙トレイがありません。排紙された用紙は手または机などで受けてください。
- フェイスアップ排紙口の前に物を置かないでください。排紙が妨げられて紙づまりの原因になることがあります。
- 用紙の丸まりや紙づまりを防ぐため、リーガルサイズの用紙、OHPフィルム、ラベル用紙、官製はがき、封筒はフェイスアップで排紙してください。

7 ソフトウェアをインストールする

パソコンから印刷するには、CAPT（Canon Advanced Printing Technology）ソフトウェアをインストールする必要があります。

CAPT ソフトウェアは付属の CD-ROM「User Software for LBP-1110」に入っています。インストールを始める前に手元に置いておきましょう。
必要なシステム環境については、（→ **P.xvii**）をご覧ください。

インストールの前に

本プリンタは、パソコンと接続するためのインタフェースとして、パラレルインタフェースと USB インタフェースの 2 種類に対応しています。お使いの OS により、お使いいただけるインタフェースの種類やインストールするソフトウェアが異なります。

本プリンタをお使いになる上で必要なソフトウェア

OS	使用可能なインタフェース	USBクラスドライバ	プリンタドライバ
Windows 95[*1]	パラレル	-	インストールが必要です
Windows 98	USB	インストールが必要です	
	パラレル	-	
Windows Me	USB	インストールが必要です	
	パラレル	-	
Windows NT 4.0[*1]	パラレル	-	
Windows 2000	USB	インストールが必要です[*2]	
	パラレル	-	
Windows XP	USB	インストールが必要です[*2]	
	パラレル	-	

[*1] Windows 95/NT 4.0 は、USB ポートはお使いになれません。
[*2] Windows 2000/XP プラグ・アンド・プレイにより自動登録される『USB 印刷サポート』を使用します。インストールは自動的に行われます。

インストールの方法については、印刷するためのマップ（Windows 95/98/Me →**P.30**、Windows NT 4.0/2000/XP → **P.80**）をご覧ください。
Macintoshコンピュータへのインストール方法については、（→**P.130**）をご覧ください。

ソフトウェアをインストールする

お願い

● CAPT（Canon Advanced Printing Technology）ソフトウェア は、本プリンタを使用して印刷するために必要です。必ずインストールしてください。

使用環境を確認する

CAPT ソフトウェアをインストールする手順は、お使いの環境により若干違います。

● USB ポート（USB ケーブル）をお使いの場合

ローカルプリンタとしてインストールする
- Windows 98/Me をお使いの場合　（→ **P.32**、**36**）
- Windows 2000 をお使いの場合　（→ **P.82**）
- Windows XP をお使いの場合　（→ **P.85**）

ネットワークプリンタとして使用する
- Windows 98/Me をお使いの場合　（→ **P.70~77**）
- Windows 2000/XP をお使いの場合　（→ **P.70~77**）

●パラレルポート（パラレルケーブル）をお使いの場合

ローカルプリンタとしてインストールする
- Windows 95/98/Me をお使いの場合　（→ **P.41**、**44**、**47**）
- Windows NT 4.0 をお使いの場合　（→ **P.93**）
- Windows 2000 をお使いの場合　（→ **P.89**、**97**）
- Windows XP をお使いの場合　（→ **P.91**、**102**）

ネットワークプリンタとして使用する
- Windows 95/98/Me をお使いの場合　（→ **P.70~77**）
- Windows NT 4.0/2000/XP をお使いの場合　（→ **P.70~77**）

Canon CAPT Tools グループについて

インストールが完了すると、デスクトップ上に、[Canon CAPT Tools] と名前のついたフォルダが作成されます。このフォルダをダブルクリックすると、Canon CAPT Tools グループの各アイコンが表示されます。

● Canon CAPT アンインストーラ
CAPT ソフトウェアを削除して、インストール前の状態に戻すときに使用します。
アイコンをダブルクリックすると起動します（→ **P.78**、**127**）。

● Canon LBP-1110 ステータスウィンドウ
プリンタや印刷のステータス（状況）を、アニメーションや音声などで表示します。
また、印刷の一時停止・中止などの操作機能があります。
Windows のタスクバーのインジケータ領域にあるアイコンをクリック→メニュー選択→クリックして開きます。印刷中は自動的に開きます（→ **P.66**、**125**）。

● Canon LBP-1110 トラブルシュータ
Windows の設定に関するトラブルの原因検出と復旧を行います。
アイコンをダブルクリックすると起動します（→ **P.175**）。

● Canon LBP-1110 ヘルプ
本プリンタの CAPT ソフトウェアについて説明しています。
アイコンをダブルクリックすると開きます（→ **P.54**、**66**、**107**、**112**、**124**）。

パソコンと接続する

設置場所が決まり、プリンタの準備ができたらパソコンと接続します。

接続するパソコンに対応したインタフェースケーブルをご用意ください。パソコンのプリンタポートのコネクタは、機種によって異なります。

コンピュータの機種	ケーブルの種類
DOS/V機	DOS/V機用双方向パラレルケーブル DOS/V機用USBケーブル

メモ

● キヤノン製のインタフェースケーブルについては、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

USB ポートに接続する

USB（Universal Serial Bus）は、コンピュータ本体と周辺機器を接続するための新しい規格です。

お願い

● 次のときは、USB ケーブルの抜き差しをしないでください。
　・プリンタドライバのインストール中
　・コンピュータの電源を入れて、OS（Windows または Mac OS）が起動するまでの間
　・プリンタが印刷中
　USB ケーブルは、コンピュータやプリンタの電源が入っているときでも、ケーブルの抜き差しが行えます。ただし、上記の場合にケーブルの抜き差しを行うと、コンピュータやプリンタが正しく動作しなくなる場合があります。
● USB ケーブルの抜き差しは、５秒以上の間隔をあけてください。
　コンピュータやプリンタの電源が入っている状態でUSBケーブルを抜き差しするときは、必ず抜いてから5秒以上の間隔をあけて差すようにしてください。抜いてからすぐにケーブルを差し込むと、正しく動作しないことがあります。

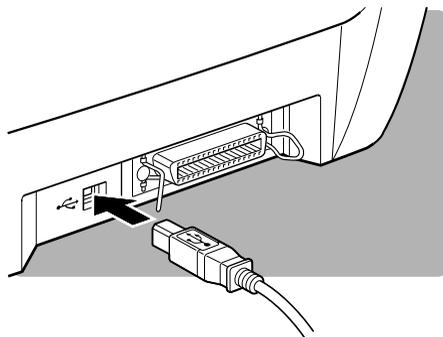
メモ

● 本プリンタを USB でお使いになる場合には、次の条件を満たす必要があります。
　・お使いのパソコンに USB ポートが装備されており、メーカーにより USB の動作が保証されていること。

警告

- 感電防止のため、USB インタフェースに接続する前には必ずアースコードを接続してください。ただし、絶対にガス管や水道管、電話線のアース、避雷針などに接続しないでください。火災や感電の原因になります。
- USB ケーブルを接続したり抜いたりするとき、プラグの金属部分に触れないでください。感電の原因になることがあります。

1

プリンタ背面のUSBインタフェース接続部に、ケーブルの四角い方を接続します。

2

ケーブルの平らな方を、パソコンの USB ポートに接続します。

これで接続は完了です。

- お使いのパソコンに、本プリンタの電源がオンになっている状態でUSBケーブルを接続した場合、USB クラスドライバのインストールを開始するダイアログボックスが表示されることがあります。詳しくは第 2 章（Windows 98/Me）または第 3 章（Windows 2000/XP）「ローカルプリンタとしてインストールする（USB ポートをお使いの場合）」の「プラグ・アンド・プレイ」（→ **P.36**、**82**、**85**）をご覧ください。
- お使いのパソコンに対応したUSB ケーブルがおわかりにならない場合は、パソコンを購入された販売店にお問い合わせください。

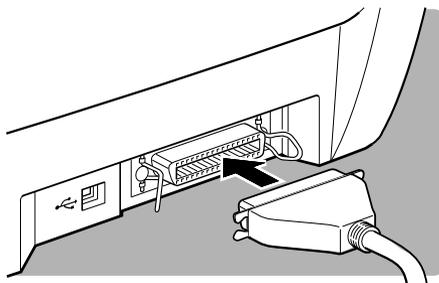
パラレルポートに接続する

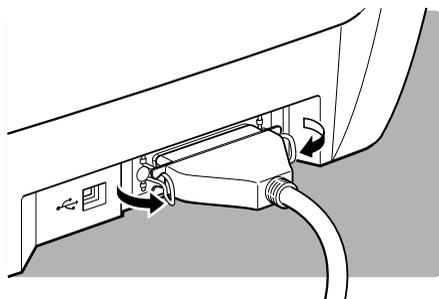
注意

- インタフェースケーブルを接続する前に、コンピュータの電源がオフになっていること、およびプリンタの電源コードが接続されていないことを必ず確認してください。
- プリンタがオンの状態でインタフェースケーブルの抜き差しを行うと、プリンタあるいはパソコンの故障や事故の原因となることがあります。

パソコンと接続する

1

プリンタ背面のパラレルインタフェース接続部にケーブルを接続します。

2

コネクタは必ず奥まで差し込み、止め金を掛けて固定します。

3

インタフェースケーブルのもう一方の端を、パソコンのプリンタポートに接続します。

- お使いのパソコンに対応したインタフェースケーブルがおわかりにならない場合は、お使いのパソコンを購入された販売店にお問い合わせください。

- MS-DOS プロンプトからの印刷はできません。
- インタフェースボードを実装できないノートパソコンには接続できません。

- 双方向とは、互いに情報を送受できる通信機能のことです。ここでは、パソコンとプリンタの間で、データを受けたり、送ったりすることをいいます。

9 電源をオンにする

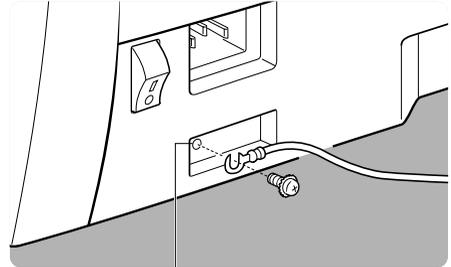
アースコード、電源コードを接続し、電源スイッチをオンにします。

アースコードを接続する

注意

- 感電防止のため、プリンタの電源ケーブルが接続されていないことを確認してください。
- コンピュータの電源がオフになっていることを確認してください。

1

本体背面のアースコード接続部に、アースコードを接続します。

アースコード接続部

2

アースコードを専用のアースに接続します。

警告

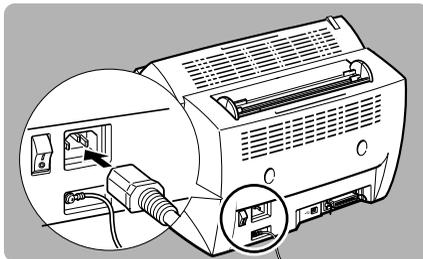
- 感電防止のため、アースコードは必ず接続してください。ただし、絶対にガス管や水道管、電話線のアース、避雷針などに接続しないでください。火災や感電の原因になります。

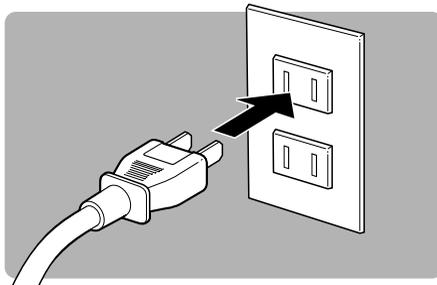
電源をオンにする

1

電源コードを接続する

1

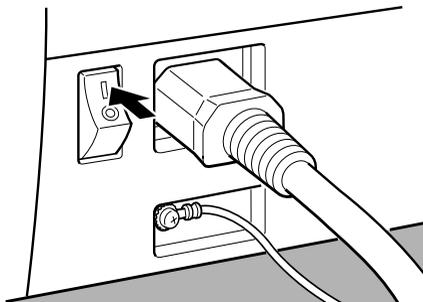
本体背面の電源コード接続部に、電源コードを接続します。

2

電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。

お願い

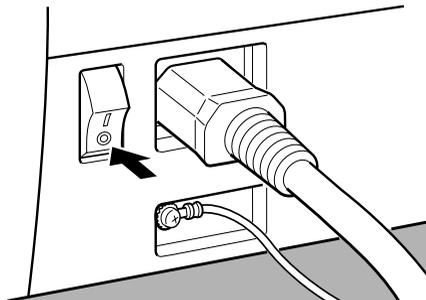
- 電源コードは、なるべくひとつのコンセントを専用にしてお使いください。
- パソコン本体の補助コンセントから電源をとらないでください。
- 本プリンタに無停電電源を接続した場合､停電発生時に誤動作もしくは故障が発生するおそれがありますので、無停電電源に本プリンタを接続しないでください。

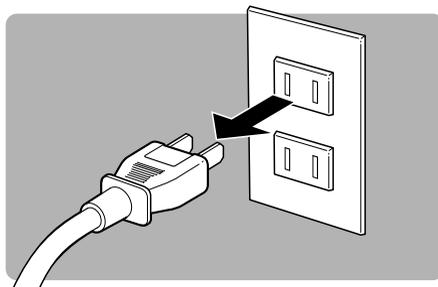
電源スイッチをオンにする

1

電源スイッチの［ I ］マークを押し、電源をオンにします。

電源の取りはずしについて

1

電源スイッチの［○］マークを押し、電源をオフにします。

2

プリンタの電源コードのプラグをコンセントからはずします。

3

本体背面の電源コード接続部から電源コードをはずします。

4

インタフェースケーブルをはずします。

5

アースコードをはずします。

メモ

● 電源スイッチの“○”側を押した状態では、消費電力は０Ｗになります。

お願い

● プリンタの電源をオフにし、再びオンにする場合は、電源をオフにしてから２秒以上待って、電源をオンにしてください。
● プリンタを長期間お使いにならない場合は、電源を取りはずしてください。

10 印刷する

ソフトウェアをインストールしたら、印刷してみましょう。ここでは、アプリケーションソフトから印刷するときに必要な操作を簡単に説明します。

印刷するときに必要な操作

（1）印刷条件を設定する
プリンタの用紙サイズ、原稿のサイズ、印刷枚数、印刷の品質などを設定します。
この設定が適切でないと、期待した印刷結果が得られないことがあります。詳しくは第２章（Windows 95/98/Me）、または第３章（Windows NT 4.0/2000/XP）の「印刷条件の設定」（→ **P.51**、**108**）をご覧ください。Macintoshコンピュータの場合は「オンラインマニュアル」をご覧ください。「オンラインマニュアル」はMac OS 8/9の場合、ドライバインストール後に作成される[USBcaddie 1110] 内に、Mac OS Xの場合、ドライバインストール後[Library](Mac OS 10.2以降は［ライブラリ］)-[Printers]内に作成される[Canon]-[CAPT]-[Manual]内に格納されています。

メモ

- オンラインマニュアル(PDF)をご覧になるにはAdobe Acrobat Readerが必要です。Adobe Acrobat Readerは付属のCD-ROM[User Software for LBP-1110]に収録されています。

（2）印刷する
アプリケーションソフトから印刷するためのメニューを選択します。
この操作は、アプリケーションソフトごとに異なりますので、各アプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

アプリケーションソフトから印刷する

原稿作成から印刷するまでのおもな手順は次のようになります。
アプリケーションソフトを開く→用紙サイズや印刷の向きを設定する→原稿を作成する→印刷条件を設定する→原稿を印刷する
ここでは、Microsoft Word 2000 日本語版を例に印刷の手順を説明します。

1

Microsoft Word 2000を起動し、［ファイル］メニューの［ページ設定...］を選択します。

2

[用紙サイズ] シートで印刷する原稿の用紙サイズ、印刷の向きを設定し、[OK] ボタンをクリックします。

3

印刷する原稿を作成します。

4

[ファイル] メニューの [印刷 ...] を選択します。

[印刷] ダイアログボックスが表示されます。

5

[プリンタ名] に [Canon LASER SHOT LBP-1110] と表示されていることを確認し、[プロパティ] ボタンをクリックします。

[Canon LASER SHOT LBP-1110 のプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

6

各タブで、印刷条件を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

メモ

- 印刷条件の設定の詳細は、Windows 95/98/Me をお使いの場合は、(→ **P.51** ～ **65**) Windows NT 4.0/2000/XP をお使いの場合は、(→ **P.108** ～ **124**) をご覧ください。

[印刷] ダイアログボックスに戻ります。

7
［OK］ボタンをクリックすると印刷が始まります。

- 一度印刷した用紙の裏面に印刷する場合、用紙がよごれたり、良好な印字結果が得られない場合があります。

11 印刷を中止する

LBP-1110SEでは、ステータスウィンドウを使って、印刷を中止、一時停止、再開することができます。

1

印刷を開始すると、画面上にプリンタステータスウィンドウが表示されます。

ステータスウィンドウが表示されない場合は、ステータスウィンドウの表示方法をご覧ください。（→ **P.66**、**125**）

2

印刷を中止、一時停止、再開するときは、ツールバー上の以下のボタンを押します。

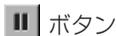
① 印刷を中止するには

ボタン

② 印刷を一時停止するには

ボタン

③ 印刷を再開するには

ボタン

第2章　Windows 95/98/Me からの印刷

1 印刷するためのマップ

Windows 95/98/Meからの印刷方法について簡単に説明します。
目的や状況に応じて、参照ページをご覧ください。

CAPTソフトウェアのインストール

ローカルプリンタとしてインストールする（USBポートをお使いの場合）→ P.32

- CD-ROMメニューからのインストール（Windows 98/Me）（→**P.32**）
- プラグ・アンド・プレイ（Windows 98/Me）（→**P.36**）
- プリンタの追加ウィザード（Windows 98/Me）（→**P.40**）

ローカルプリンタとしてインストールする（パラレルポートをお使いの場合）→ P.41

- CD-ROMメニューからのインストール（Windows 95/98/Me）（→**P.41**）
- プラグ・アンド・プレイ（Windows 95/98/Me）（→**P.44**）
- プリンタの追加ウィザード（Windows 95/98/Me）（→**P.47**）

インストールが完了すると → P.50

- LBP-1110プリンタアイコン（→**P.50**）
- Canon CAPT Tools グループ（→**P.50**）

ネットワークプリンタとして使用する → P.70

- プリントサーバの設定（ネットワーク）（→**P.71**）
- プリントサーバの設定（プリンタの共有）（→**P.74**）
- クライアントへのインストール（ダウンロード）（→**P.75**）

原稿の作成　→お使いのアプリケーションに付属のマニュアルをご覧ください。

印刷条件の設定

［プリンタプロパティ］ダイアログボックス → P.51

［ページ設定］タブ（→ P.54）

① 原稿のサイズを設定するには（→**P.55**）
② 印刷する用紙のサイズを設定するには（→**P.55**）
③ 印刷部数を設定するには（→**P.56**）
④ 印刷の向きを設定するには（→**P.56**）

印刷するためのマップ

印刷　→お使いのアプリケーションで印刷を実行してください。

印刷のステータス表示

2

ローカルプリンタとしてインストールする（USB ポートをお使いの場合）

お使いのパソコンにLBP-1110SEを直接接続する（ローカルプリンタとして使用する）ときのインストール方法として、USBポート（USBケーブル）をお使いの場合について説明します。

2

お願い

● CAPT ソフトウェアは、本プリンタをお使いになって印刷するために必要です。必ずインストールしてください。

メモ

● 本プリンタを USB でお使いになる場合は、次の条件を満たす必要があります。
  - ・お使いのパソコンに USB ポートが装備されており、メーカーにより USB の動作が保証されていること。
  - ・Windows 98/Me がインストールされていること。

● Windows 95 では USB をお使いになれません。

CD-ROM メニューからのインストール（Windows 98/Me）

お願い

● LBP-210/220などのプリンタドライバがインストールされている場合は、プリンタドライバをアンインストールするか、または、FILE：に接続してからLBP-1110SEのインストールを行ってください。

ここでは、Windows 98 の画面例で手順を説明します。

1

プリンタの電源をオフにします。

2

パソコンの電源を入れ、Windows 98/Me を起動します。

3

付属の CD-ROM「User Software for LBP-1110」を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROMメニューが自動的に表示されます。すでにCD-ROMがセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出して、再度セットします。

ローカルプリンタとしてインストールする（USB ポートをお使いの場合）

お願い

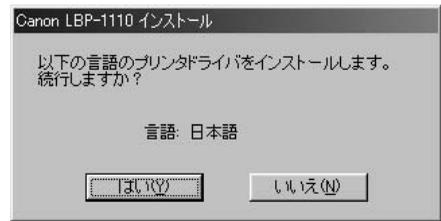
● CD-ROM メニューが表示されない場合は、［スタート］メニューの［ファイル名を指定して実行］で、「D:¥AUTORUN.EXE」と入力し［OK］ボタンをクリックします。
（ここでは、CD-ROM ドライブ名が「D:」の例です。CD-ROM ドライブ名は、お使いのパソコンによって異なります）

4

［Canon LBP-1110インストール］ボタンをクリックします。

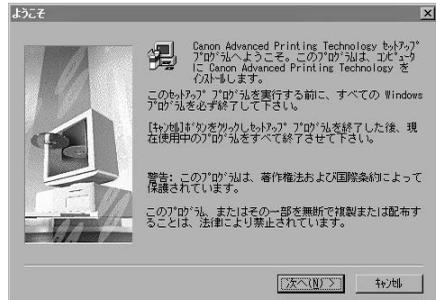
5

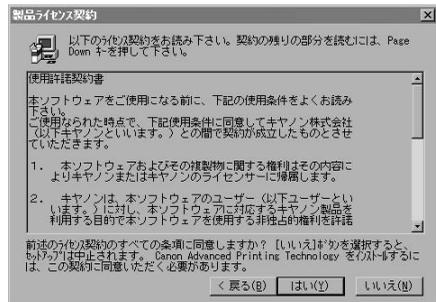
言語を確認するダイアログボックスが表示されます。

言語を確認し、［はい］ボタンをクリックします。

インストールの準備の後、CAPT（Canon Advanced Printing Technology）ソフトウェアのインストーラが起動します。
インストールが開始され、［ようこそ］ダイアログボックスが表示されます。

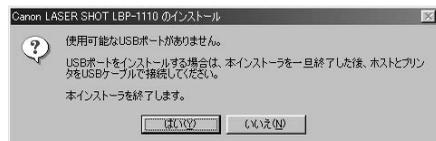
6

［次へ＞］ボタンをクリックします。

［製品ライセンス契約］ダイアログボックスが表示されます。

7

使用許諾契約書の内容を確認し、［はい］ボタンをクリックします。

8

表示されているポート一覧にUSBポートがない場合は、［USBポート設定］ボタンをクリックします。

［はい］ボタンをクリックして、LBP-1110SEのセットアップを終了し、パソコンとプリンタをUSBケーブルで接続します。

9

パソコンとプリンタをUSBケーブルで接続します（→ P.19）。
プリンタの電源を入れます（→ P.22）。

ローカルプリンタとしてインストールする（USB ポートをお使いの場合）

10

USBポートが自動検知され、USBクラスドライバがインストールされます。

11

［新しいハードウェアの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されたら、［キャンセル］ボタンをクリックします。

キャンセルしない場合は、［プラグ･アンド･プレイ］（→ **P.37** の手順３～）をご覧ください。

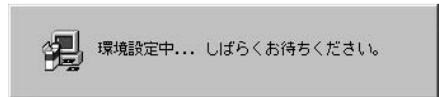
12

［インストール手順］の［手順 4］から［手順 7］を繰り返します（→ **P.33、34**）。

13

［接続先の選択］一覧で、「USBPRN ××」（Windows　98）、「USB ×××」（Windows Me）をクリックして選択し、［次へ＞］ボタンをクリックします。

［接続先の選択］一覧で、「USBPRN ××」または「USBXXX」が表示されていない場合には、ステップ８から始めてください。
* XX は数字を表します。

［はい］ボタンをクリックしてインストールを開始すると、［ファイルのコピー］、［環境の設定］が行われます。

14

環境設定後、［完了］ボタンをクリックすると、セットアップが完了します。

お願い

● インストール時、ハードディスクの空き容量が不足している場合には、次のようなダイアログボックスが表示されます。［OK］ボタンを押して、インストールを中止し、ディスクに空き容量を作成した後インストールをやり直してください。

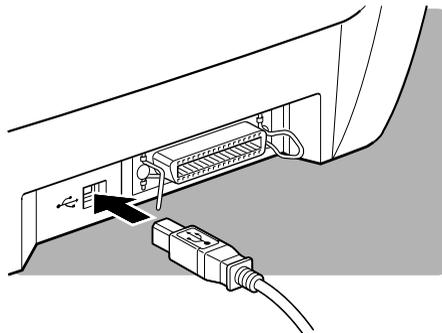
プラグ・アンド・プレイ（Windows 98/Me）

お願い

● LBP-210/220などのプリンタドライバがインストールされている場合は、プリンタドライバをアンインストールするか、または、FILE：に接続してからLBP-1110SEのインストールを行ってください。

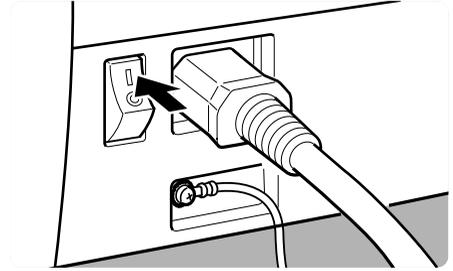
ここでは、Windows 98の画面例で手順を説明します。

1

本プリンタ背面のUSBインターフェース接続部と、パソコンのUSBポートをケーブルで確実に接続します。**（→ P.19）**

ローカルプリンタとしてインストールする（USB ポートをお使いの場合）

2

本プリンタの電源をオンにします。
（→ **P.22**）

3

パソコンの電源を入れて、Windows 98/Me を起動します。
USB ポートが自動検知されます。

［新しいハードウェアの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されたら［次へ>］ボタンをクリックしてインストールを続けます。

4

検索方法を選択するダイアログボックスが表示されたら、[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）]を選択し［次へ>］ボタンをクリックします。

検索場所を指定するダイアログボックスが表示されます。

Windows Meをお使いの場合は、（→**P.38**）をご覧ください。

5

付属のCD-ROMをセットし、[検索場所の指定］のみを選択し［参照］ボタンをクリックして、ディレクトリを参照します。

CD-ROM ドライブが［D:］の場合で Windows 98をお使いの場合は、[D:¥Japanese¥Win9x］を選択します。

● Windows Meの場合は、検索方法を選択するダイアログボックスが表示されたら、［ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）］を選択し［次へ>］ボタンをクリックします。

● ［検索場所の指定］のみを選択し、［参照］ボタンをクリックして、ディレクトリを参照します。CD-ROM ドライブが［D:］の場合は、［D:¥Japanese¥WinMe］を選択します。［OK >］ボタンをクリックします。

● ドライバファイルが選択された画面になります。［次へ>］ボタンをクリックします。
USBクラスドライバのインストールが完了します。

ローカルプリンタとしてインストールする（USB ポートをお使いの場合）

6

USB クラスドライバのインストール完了後、[新しいハードウェアの追加ウィザード] ダイアログボックス（Canon LASER SHOT LBP-1110）が表示されたら、[次へ>] ボタンをクリックします。

ウィザードを続けると、プリンタドライバのインストールが行われます。

7

検索方法を選択するダイアログボックスが表示されたら、[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）] を選択し、[次へ>] ボタンをクリックします。

検索場所を指定するダイアログボックスが表示されます。

Windows Meをお使いの場合は、（→**P.40**）をご覧ください。

8

付属のCD-ROMをセットし、[検索場所の指定] のみを選択し [参照] ボタンをクリックして、ディレクトリを参照します。

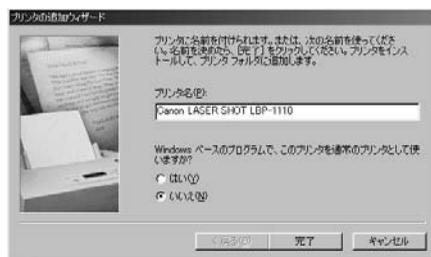
CD-ROM ドライブが [D:] の場合で、Windows 98をお使いの場合は、[D:¥Japanese¥Win9x] を選択して、[OK] ボタンをクリックします。

- Windows Me の場合は、検索方法を選択するダイアログボックスが表示されたら、［ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）］を選択し［次へ>］ボタンをクリックします。
- ［検索場所の指定］のみを選択し、［参照］ボタンをクリックして、ディレクトリを参照します。CD-ROM ドライブが［D:］の場合は、［D:¥Japanese¥WinMe］を選択して、［OK］ボタンをクリックし［次へ>］ボタンをクリックします。
- ドライバファイルが選択された画面になります。［次へ>］ボタンをクリックします。

2

9

［次へ］ボタンをクリックし、登録するプリンタ名を決めることができます。

プリンタ名に名前を入れてから［完了］ボタンをクリックします。

10

インストール完了のダイアログボックスが表示されますので、［OK］ボタンをクリックします。

［新しいハードウェア追加ウィザード］ダイアログボックスで［完了］ボタンをクリックします。

プリンタの追加ウィザード（Windows 98/Me）

USBケーブルをお使いの方で、LBP-1110プリンタドライバを追加してインストールする場合は、［CD-ROM メニューからのインストール］（→ **P.32**）もしくは［プラグ・アンド・プレイ］（→ **P.36**）と同様の手順を行ってください。

お願い

- LBP-210/220などのプリンタドライバがインストールされている場合は、プリンタドライバをアンインストールするか、または、FILE：に接続してからLBP-1110SEのインストールを行ってください。

ローカルプリンタとしてインストールする（パラレルポートをお使いの場合）

お使いのパソコンに LBP-1110SE を直接接続する（ローカルプリンタとして使用する）ときのインストール方法として、パラレルポート（パラレルケーブル）をお使いの場合について説明します。

お願い

- CAPT ソフトウェアは、本プリンタをお使いになって印刷するために必要です。必ずインストールしてください。

CD-ROM メニューからのインストール（Windows 95/98/Me）

お願い

- プリンタがパソコンに正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているか確認してください（→ **P.19**、**22**）。
- LBP-210/220などのプリンタドライバがインストールされている場合は、プリンタドライバをアンインストールするか、または、FILE：に接続してから LBP-1110SE のインストールを行ってください。

ここでは、Windows 98 の画面例で手順を説明します。

1

パソコンの電源を入れ、Windows 95/98/Me を起動します。

お願い

- Windows 95を起動したときに、［新しいハードウェア］または［デバイスドライバウィザード］ダイアログボックスが表示されたら、［キャンセル］ボタンをクリックします。
- Windows 98/Me の場合は、［新しいハードウェアの追加ウィザード］ダイアログボックスをキャンセルします。

［新しいハードウェアの追加ウィザード］ダイアログボックス

- キャンセルしない場合は、（→ **P.44**）をご覧ください。

2

付属の CD-ROM「User Software for LBP-1110」を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROMメニューが自動的に表示されます。すでにCD-ROMがセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出して、再度セットします。

お願い

- CD-ROM メニューが表示されない場合は、[スタート] メニューの [ファイル名を指定して実行] で、「D:¥AUTORUN.EXE」と入力し [OK] ボタンをクリックします。
（ここでは、CD-ROM ドライブ名が「D:」の例です。CD-ROM ドライブ名は、お使いのパソコンによって異なります）

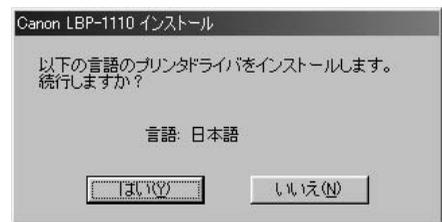
3

[Canon LBP-1110インストール] ボタンをクリックします。

言語を確認するダイアログボックスが表示されます。

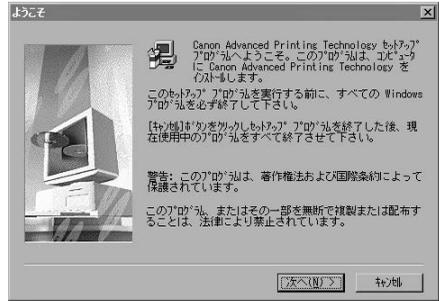
4

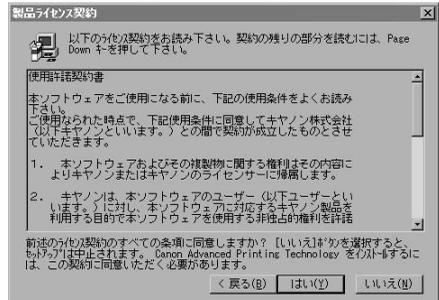
言語を確認し、[はい] ボタンをクリックします。

インストールの準備の後、CAPT（Canon Advanced Printing Technology）ソフトウェアのインストーラが起動します。
インストールが開始され、[ようこそ] ダイアログボックスが表示されます。

ローカルプリンタとしてインストールする（パラレルポートをお使いの場合）

5

［次へ>］ボタンをクリックします。

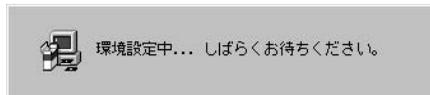
［製品ライセンス契約］ダイアログボックスが表示されます。

6

使用許諾契約書の内容を確認し、［はい］ボタンをクリックします。

7

接続先の選択で［LPTX:］を選択し［次へ>］ボタンをクリックします。

＊ Xは数字を表します。

8

環境設定後、［完了］ボタンをクリックすると、セットアップが完了します。

プラグ・アンド・プレイ（Windows 95/98/Me）

ここでは、Windows 98の画面例で手順を説明します。

1

本プリンタとパソコンをパラレルケーブルで確実に接続します。Windowsを起動すると、Windowsの自動認識機能により、［新しいハードウェアの追加ウィザード］（Windows 98/Me）ダイアログボックスが表示されます。（Windows 95の場合は、［新しいハードウェア］または［デバイスドライバウィザード］ダイアログボックスが表示されます）。

2

［次へ］ボタンをクリックし、［OK］ボタンをクリックします。

ローカルプリンタとしてインストールする（パラレルポートをお使いの場合）

3

検索方法を選択するダイアログボックスが表示されたら、[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）] を選択し、[次へ>] ボタンをクリックします。

検索場所を指定するダイアログボックスが表示されます。

4

付属のCD-ROMをセットし、[検索場所の指定] のみを選択し [参照] ボタンをクリックして、ディレクトリを参照します。

CD-ROM ドライブが [D:] で、Windows 98 をお使いの場合は、[D:¥Japanese¥Win9x] を選択します。
Windows Me をお使いの場合は、[D:¥Japanese¥WinMe] を選択します。

5

ドライバをインストールする準備ができましたので、[次へ>] ボタンをクリックします。

[プリンタの追加ウィザード] ダイアログボックス（プリンタ名の変更）が表示されます。

6

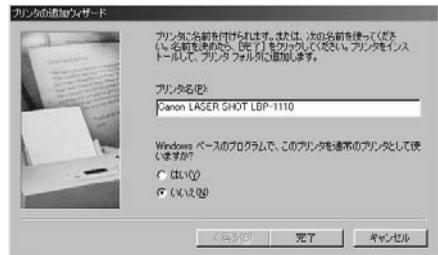
[プリンタ名] で、[Canon LASER SHOT LBP-1110] が選択されていることを確認し、[完了] ボタンをクリックします。

プリンタ名を変更する場合は、テキストボックスに入力します。

7

インストール完了のダイアログボックスが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。

[新しいハードウェア追加ウィザード] ダイアログボックスの画面で [完了] ボタンをクリックします。

メモ

- Windows 95 OSR2.1以降をお使いの場合は、最初に [デバイスドライバウィザード] が表示されます。

- Windows 95のバージョン情報は、[コントロールパネル] の [システム] アイコンをダブルクリックし、[システムのプロパティ] ダイアログボックスで [情報] タブをご覧ください。4.00.950b は OSR2.1、4.00.950c は OSR2.5 です。
- インストールの途中で、[ディスクの挿入] ダイアログボックスが表示された場合は、コピーするファイル（INF ファイル）のあるディレクトリを指定してください。

ローカルプリンタとしてインストールする（パラレルポートをお使いの場合）

プリンタの追加ウィザード（Windows 95/98/Me）

お願い

● LBP-210/220などのプリンタドライバがインストールされている場合は、プリンタドライバをアンインストールするか、または、FILE：に接続してからLBP-1110SEのインストールを行ってください。

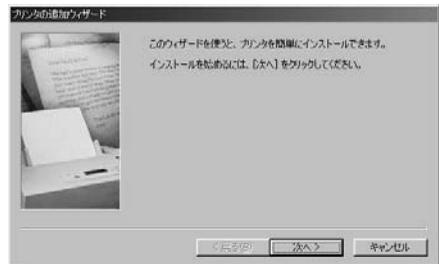
次のいずれかの方法で［プリンタの追加ウィザード］を起動すると、［プリンタウィザード］ダイアログボックス（初期画面）が表示されます。

- ［スタート］→［設定］→［プリンタ］を選択して［プリンタ］フォルダを開く→［プリンタの追加］をダブルクリック
- ［マイコンピュータ］をダブルクリック→［プリンタ］フォルダをダブルクリック→［プリンタの追加］をダブルクリック
- ［エクスプローラ］をダブルクリック→［デスクトップ］→［マイコンピュータ］→［プリンタ］フォルダ→［プリンタの追加］をダブルクリック
- ［マイコンピュータ］をダブルクリック→［コントロールパネル］をダブルクリック→［プリンタ］フォルダ→［プリンタの追加］をダブルクリック（Windows Me をお使いの場合）

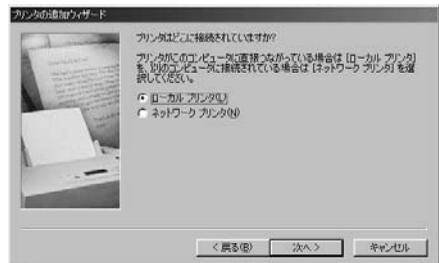
ここでは、Windows 98 の画面例で手順を説明します。

1

［次へ>］ボタンをクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックス（ローカル／ネットワーク選択）が表示されます。

2

［ローカルプリンタ］を選択し、［次へ>］ボタンをクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックス（プリンタの選択 1）が表示されます。

3

[ディスク使用...] ボタンをクリックします。

［ディスクからインストール］ダイアログボックスが表示されます。

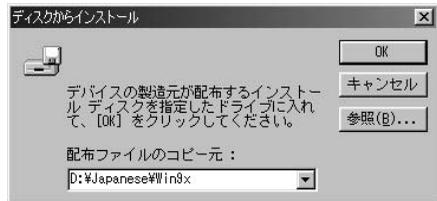
4

CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、[配布ファイルのコピー元］で、コピーするファイル（INFファイル）のディレクトリを指定します。

［参照 ...］ボタンをクリックして、ディレクトリを参照することもできます。
CD-ROM ドライブが [D:] で、Windows 95/98 をお使いの場合は［配布ファイルのコピー元］に［D:¥Japanese¥Win9x］を選択します。
Windows Me をお使いの場合は、
［D:¥Japanese¥WinMe］を選択します。

5

［プリンタ］リストボックスで、［Canon LASER SHOT LBP-1110］が選択されていることを確認し、［次へ>］ボタンをクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックス（ポートの選択）が表示されます。

ローカルプリンタとしてインストールする（パラレルポートをお使いの場合）

6

LBP-1110SEを接続したポート（通常は、LPT1:）を選択し、[次へ>] ボタンをクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックス（プリンタ名の変更）が表示されます。

ここからの手順は、［プラグ・アンド・プレイ］インストールの［手順5］以降と同じです（→**P. 46**）。

お願い

- LBP-1110SEが接続されていないポートやCOMポート、およびFILEポートを選択してもプリントできません。

2

インストールが完了すると

CAPT ソフトウェアのインストールが完了すると、[プリンタ] フォルダには [Canon LASER SHOT LBP-1110] プリンタアイコンが、[デスクトップ] には [Canon CAPT Tools] グループのフォルダが作成されます。

Canon CAPT Tools グループ

● Canon CAPT アンインストーラ

CAPT ソフトウェアを削除して、インストール前の状態に戻すときに使用します。
アイコンをダブルクリックすると起動します（→ **P. 78**）。

● Canon LBP-1110 ステータスウィンドウ

プリンタや印刷のステータス（状況）を、アニメーションや音声などで表示します。
また、印刷の一時停止・中止などの操作機能があります。
Windows のタスクバーのインジケータ領域にあるアイコンをクリック→メニュー選択→クリックして開きます。印刷中は自動的に開きます（→ **P. 66**）。

● Canon LBP-1110 トラブルシュータ

Windows の設定に関するトラブルの原因検出と復旧を行います。
アイコンをダブルクリックすると起動します（→ **P. 175**）。

● Canon LBP-1110 ヘルプ

本プリンタの CAPT ソフトウェアについて説明しています。
アイコンをダブルクリックすると開きます（→ **P. 54**、**66**）。

印刷条件の設定

LBP-1110SE では、CAPT ソフトウェアを使用して、さまざまな印刷条件を設定できます。
ここでは、設定できる印刷条件と、設定を行う［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを紹介します。

［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示する

LBP-1110 の［プリンタプロパティ］ダイアログボックスは、アプリケーションの［印刷］メニューから表示する方法と、Windows 95/98/Me の［スタート］メニューから表示する方法があります。

●アプリケーションの［印刷］メニューから表示する

1

アプリケーションの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

この例では、Windows 95/98/Me に付属の「ワードパッド」を使用しています。
［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

2

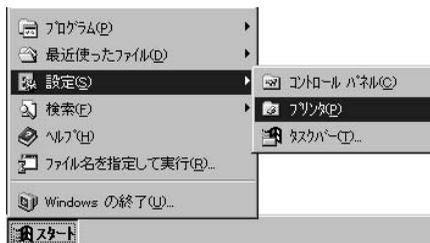
プリンタ名を確認し、［プロパティ］ボタンをクリックします。

［プリンタプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

● ［スタート］メニューから表示する

1

［スタート］メニューの［設定］から［プリンタ］を選択します。

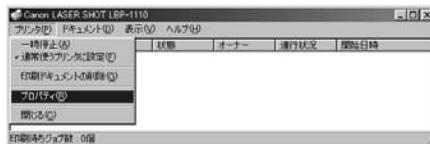
［プリンタ］フォルダが表示されます。

2

［LBP-1110］アイコンをダブルクリックします。

［Canon LASER SHOT LBP-1110］ウィンドウが表示されます。

3

［プリンタ］メニューから［プロパティ］ボタンを選択します。

［プリンタプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

メモ

● ［プリンタプロパティ］ダイアログボックスは、［LBP-1110］アイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［プロパティ］を選択しても表示できます。

［プリンタプロパティ］ダイアログボックスについて

［プリンタプロパティ］ダイアログボックスには、次のようなタブがあります。タブの見出し部分をクリックすると画面が切り替わります。

印刷条件の設定

● Windows 98 の場合

［ページ設定］タブ

［仕上げ］タブ

［印刷品質］タブ

［全般］タブ

［詳細］タブ

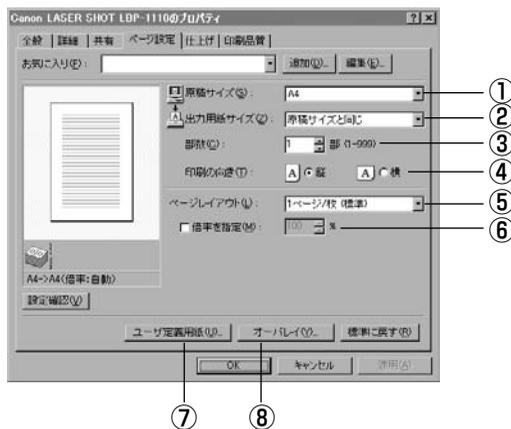
［共有］タブ

● 表示されるタブの数は、お使いの Windows の設定によって異なります。

以下では、どのタブで、どのような印刷条件を設定できるのかを説明しています。

● 操作の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。
● オンラインヘルプを表示するには、表示させたい項目の上にカーソルを移動し、[F1] キーを押してください。ポップアップウィンドウが表示されます。ポップアップウィンドウを閉じるには、ウィンドウの中をクリックします。
また、各項目を右クリックし、[ヘルプ] をクリックしても同様に表示できます。さらに、[タイトルバー] の、[?] ボタンをクリックし、[?] のついたカーソルを目的の項目の上でクリックしても表示されます。

[ページ設定] タブ

[ページ設定] タブでは、次のような印刷条件を設定できます。

① 原稿のサイズを設定するには	(→ **P.55**)
② 印刷する用紙のサイズを設定するには	(→ **P.55**)
③ 印刷部数を設定するには	(→ **P.56**)
④ 印刷の向きを設定するには	(→ **P.56**)
⑤ 用紙 1 枚に複数ページ印刷するには	(→ **P.56**)
⑥ 拡大・縮小して印刷するには	(→ **P.57**)
⑦ 任意の用紙サイズ（ユーザ定義用紙）を設定するには	(→ **P.57**)
⑧ データを重ねて（オーバレイ）印刷するには	(→ **P.58**)

印刷条件の設定

① 原稿のサイズを設定するには
［原稿サイズ］プルダウンメニューを表示し、適切なサイズをクリックして選択します。

選択できる［原稿サイズ］を次に示します。

A3	(297 × 420mm)
B4	(257 × 364mm)
A4	(210 × 297mm)
B5	(182 × 257mm)
A5	(148 × 210mm)
はがき	(100 × 148mm)
洋形４号	(105 × 235mm)
洋形２号	(114 × 162mm)
レター	(216 × 279mm)
リーガル	(216 × 356mm)
エグゼクティブ	(184 × 267mm)
用紙１	(ユーザ定義用紙、名称は変更可)(→ **P.57**)
用紙２	(〃)
用紙３	(〃)

② 印刷する用紙のサイズを設定するには
［出力用紙サイズ］プルダウンメニューを表示し、実際に印刷する用紙のサイズを選択します。
選択できる［出力用紙サイズ］を次に示します。

原稿サイズと同じ	
A4	(210 × 297mm)
B5	(182 × 257mm)
A5	(148 × 210mm)
はがき	(100 × 148mm)
洋形４号	(105 × 235mm)
洋形２号	(114 × 162mm)
レター	(216 × 279mm)
リーガル	(216 × 356mm)
エグゼクティブ	(184 × 267mm)
用紙１	(ユーザ定義用紙、名称は変更可)(→ **P.57**)
用紙２	(〃)
用紙３	(〃)

- ［原稿サイズ］と同じサイズの用紙に印刷する場合は、［原稿サイズと同じ］を選択してください。
- ［原稿サイズ］と異なるサイズの用紙を選択した場合は、原稿を拡大または縮小して印刷します。
- ［原稿サイズ］がA3またはB4のとき、［出力用紙サイズ］を［原稿サイズと同じ］に設定した場合は、原稿を縮小して、A4 用紙（デフォルト）に印刷します。

- アプリケーションソフトで原稿サイズ、部数、印刷の向きなどを設定できる場合は、［ページ設定］タブで設定する必要はありません。

③ 印刷部数を設定するには

［部数］スピンボタンをクリックするか、スピンボックスに数字を入力してください。
設定有効値は、1 ～ 999 部です。

④ 印刷の向きを設定するには

印刷の向きとは、用紙を縦長に使うか、横長に使うかということです。
設定するには、［印刷の向き］で［縦］または［横］のラジオボタンをクリックします。

⑤ 用紙 1 枚に複数ページを印刷するには

［ページレイアウト］プルダウンメニューで設定します。

選択できるページ数は、1、2、4、8、9 ページ／枚のいずれかです。
2、4、8、9 ページ／枚を選択すると、［配置順］プルダウンメニューが表示されます。
適切な配置順を選択してください。

印刷条件の設定

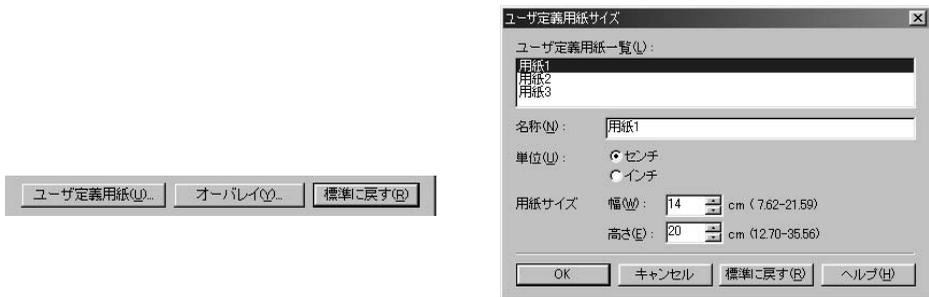
⑥ 拡大・縮小して印刷するには

［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］が異なる場合は、自動的に倍率を設定して、拡大・縮小印刷を行います。
倍率を任意に設定する場合は、［倍率を指定］チェックボックスをクリックし、スピンボックスの数値を変更します。

☑ 倍率を指定(M)： 85 %

設定有効値は 10 ～ 200%です。

⑦ 任意の用紙サイズ（ユーザ定義用紙）を設定するには

LBP-1110SE では、任意の用紙サイズ（ユーザ定義用紙）を 3 つまで設定できます。
ユーザ定義用紙を設定するには、［ユーザ定義用紙］ボタンをクリックし、［ユーザ定義用紙サイズ］ダイアログボックスを表示します。

名称
デフォルトでは、［用紙 1］、［用紙 2］、［用紙 3］です。
任意の名称を入力して変更できます。

単位
［センチ］か［インチ］のラジオボタンをチェックして選択してください。

用紙サイズ　幅
スピンボックスで入力するか、スピンボタンをクリックして選択してください。
有効設定値は、7.62 ～ 21.59cm です。

用紙サイズ　高さ
スピンボックスで入力するか、スピンボタンをクリックして選択してください。
有効設定値は、12.70 ～ 35.56cm です。

設定を確認したら、［OK］ボタンをクリックしてください。
［ページ設定］タブに戻ります。

⑧ データを重ねて（オーバレイ）印刷するには

オーバレイとは、あらかじめフォームを用意し、アプリケーションで印刷するときに、2つの印字内容を重ねて印刷する機能です。例えば、社名やロゴマーク、住所などが入ったフォームとして用意しておけば、どんなアプリケーションから印刷しても、各ページの同じ位置にフォームの内容が印刷され、重ね合わせてアプリケーションからの文書などのデータが印刷されます。
アプリケーションの種類を問わず、同じ体裁の定形文書が、手軽に作成できます。

フォームのデータ形式

LBP-1110SEのオーバレイ機能では、次の2つの形式のデータをフォームとして扱うことができます。

- Windows メタファイル
- Windows BMP ファイル

お願い

- LIPS 形式で作成されたフォームは使用できません。

フォームの作成方法

いずれも、Windows 95/98/Me に付属のソフトウェアもしくは、市販のソフトウェアで作成することができます。

● Windows メタファイル

Windows メタファイルは、市販のドローソフトで作成されるファイル形式です。これらのソフトウェアで作成し、メタファイル形式で保存します。

● Windows BMP ファイル

Windows 95/98/Me に付属の「ペイント」などイメージを扱うソフトウェアで手軽に作成できるファイル形式です。Windows 95/98/Me の壁紙も、この形式で作成されています。「ペイント」のほかに、市販ソフトウェアでは「Corel PhotoPaint」などがあります。これらのソフトウェアで作成し、BMP 形式で保存して使用します。

印刷条件の設定

オーバレイの設定

オーバレイ印刷するには、[オーバレイ] ボタンをクリックし、[オーバレイ] ダイアログボックスを表示します。

ユーザ定義用紙(U)...　オーバレイ(Y)...　標準に戻す(R)

ファイル名　オーバレイフォームとして使用するファイル名を指定します。
[ファイル名] ドロップダウンリストには、デフォルトの（なし）以外に 9 つまでファイル名をリストアップできます。
ファイル名は、[参照 ...] ボタンをクリックして、[ファイルを開く] ダイアログボックスから指定できます。

オーバレイの配置　背面
オーバレイフォームをアプリケーションから印刷するデータの背面(下側、後ろ側)に配置するときは、[背面] ラジオボタンをチェックしてください。

オーバレイの配置　前面
オーバレイフォームをアプリケーションから印刷するデータの前面（上側、前側）に配置するときは、[前面] ラジオボタンをチェックしてください。

位置　左 / 上　オーバレイフォームの左上端の位置を、用紙の左上端を原点として指定します。

[単位] ラジオボタンで、[センチ] または [インチ] を指定してください。設定有効値は、0 ～ 42cm です。

サイズ　幅 / 高さ　オーバレイフォームの大きさを指定します。
[単位] ラジオボタンで、[センチ] または [インチ] を指定してください。設定有効値は、0 ～ 42cm です。

単位　[センチ] か [インチ] のラジオボタンをチェックして選択します。

設定を確認し、[OK] ボタンをクリックすると、[ページ設定] タブに戻ります。

オーバレイの配置について

フォームデータとアプリケーションから印刷されるデータの配置（背面／前面）で、印刷結果が異なる場合があります。2 つのデータが重なり合って印刷されるような場合は、フォームのファイル形式とアプリケーションによって結果が異なります。本プリンタのオーバレイ機能では、設定でフォームをアプリケーションから印刷されるデータの前面に置くか、背面に置くかを設定できます。アプリケーションの種類によって印刷結果は異なるため、一般的な傾向を説明します。

＜オーバレイの配置：背面の場合＞

結果は、下記の3つのいずれかになります。

＜オーバレイの配置：前面の場合＞

Windows メタファイルの場合

結果は、下記の3つのいずれかになります。

Windows BMPファイルの場合

結果は、常に下記のようになります。

印刷条件の設定

［仕上げ］タブ

［仕上げ］タブでは、部単位での印刷を設定できます。

① 部単位で印刷するには

複数ページの原稿を、部単位で印刷するときには、[部単位印刷を行う] チェックボックスをチェックします。

［印刷品質］タブ

［印刷品質］タブでは、次の印刷条件を設定できます。

① 解像度を設定するには

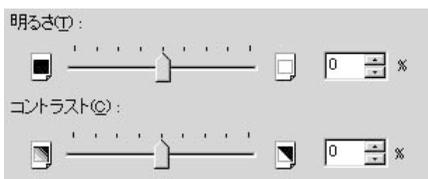
［解像度］ラジオボタンをチェックします。
設定値は、600dpi または 300dpi です。

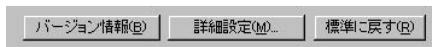
② ハーフトーンを設定するには

［ハーフトーン］ラジオボタンをチェックします。

ハーフトーン(N)：
ディザパターン1
ディザパターン2
誤差拡散

③ 明るさ / コントラストを設定するには

［明るさ］スピンボックス、［コントラスト］スピンボックスで、上下カーソルキーをクリックして設定します。また、スライドバーを左右にドラッグしても同様に設定できます。

④ トナー濃度を設定するには

［詳細設定］ボタンをクリックして、［詳細設定］ダイアログボックスを開きます。
［トナー濃度］スライドバーを左右にドラッグして、濃度設定を変更します。

また、［トナー節約モードを使う］チェックボックスをチェックすると、トナー節約ができます。

印刷条件の設定

⑤ スーパースムージングテクノロジーを設定するには

スーパースムージングテクノロジーは、文字や図形などのギザギザを自動的に検知し、より滑らかな処理を行います。設定するには、［詳細設定］ダイアログボックスで、［スーパースムーズを使う］チェックボックスをチェックします。

３つのタブで共通の機能

［ページ設定］、［仕上げ］、［印刷品質］の３つのタブには、次のような共通の機能があります。

① お気に入りについて　(→ **P.63** 〜 **65**)
② 設定を確認する / 設定を標準値に戻す　(→ **P.65**)

① お気に入りについて

［お気に入り］は、［ページ設定］、［仕上げ］、［印刷品質］の３つのタブで設定した印刷条件を、まとめて保存 / 読み込みできる機能です。また、設定を追加・編集・選択することができます。お気に入りは、最大 50 まで設定できます。

印刷条件を［お気に入り］として保存するには、次の手順で行います。
［ページ設定］、［仕上げ］、［印刷品質］のどのタブからでも同じように設定できます。

●お気に入りの新規追加

1

［追加］ボタンをクリックします。

［お気に入りの新規追加］ダイアログボックスが表示されます。

2

［名称］ボックスに、お気に入りの名前を入力します。

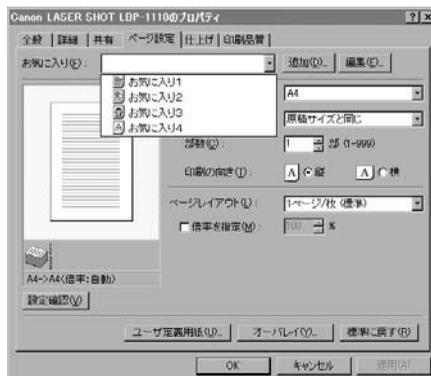
［アイコン］リストビューでは、アイコンを選択できます。メモしておきたいことがあれば、［コメント］ボックスに入力します。

3

設定を再確認するには、[設定確認] ボタンをクリックします。

ダイアログが設定確認付きのものに変わります。もう一度、[設定確認] ボタンをクリックすると、元に戻ります。
[OK] ボタンをクリックして、最初のタブに戻ります。

4

設定したお気に入りの名称が、[お気に入り] プルダウンメニューに追加されていることを確認してください。

●お気に入りの編集

お気に入りの名称を変更したり、お気に入り情報をファイルに保存したりするときには、お気に入りを編集します。

1

[編集] ボタンをクリックします。

[お気に入りの編集] ダイアログボックスが表示されます。

印刷条件の設定

2

お気に入り情報を編集します。

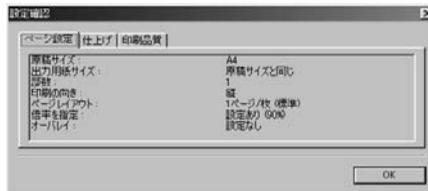
操作の詳細は、知りたい項目の上で右クリックし、[ヘルプ] をクリックしてください。項目についての説明がポップアップ表示されます。

- プリンタの名称を変更すると、保存したお気に入りが読み込めなくなります。名称を元に戻すと、読み込み可能になります。
- ソフトウェアをアンインストールしてもお気に入りは削除されません。
- Windows 95/98/Meで保存したお気に入り情報のファイルは、Windows NT 4.0/2000/XP ではお使いになれません。

② 設定を確認する／設定を標準値に戻す

[ページ設定]、[仕上げ]、[印刷品質] の各タブで設定した印刷条件を、まとめて確認したり、標準値に戻したりする方法について説明します。

●設定を確認する

[設定確認] ボタンをクリックします。[設定確認] ダイアログボックスが表示されます。
[ページ設定]、[仕上げ]、[印刷品質] の各タブをクリックすると、それぞれのタブで設定した印刷条件が一覧表示されます。
[OK] ボタンをクリックすると、元のタブに戻ります。

また、各タブでは、プレビューが表示されますので、イメージとしても確認できます。

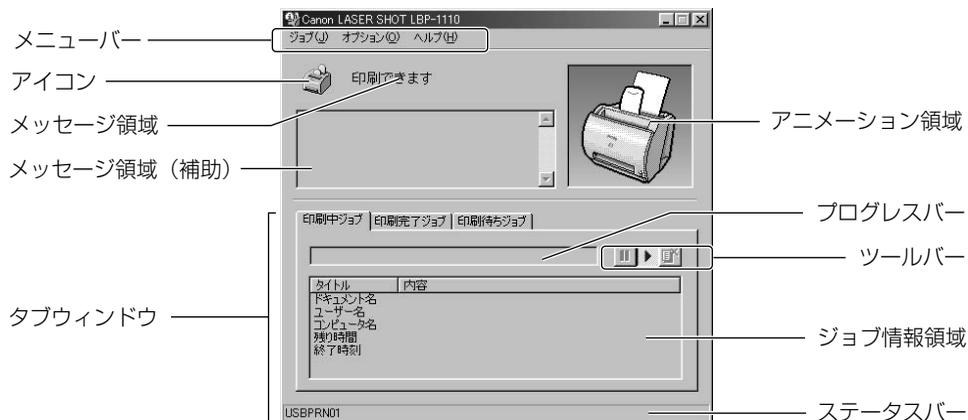
●設定を標準値に戻す

設定を標準値に戻すには、[標準に戻す] ボタンをクリックします。
標準値に戻るのは、[標準に戻す] ボタンと同じダイアログで表示されている条件のみになります。

ステータスウィンドウの使い方

ステータスウィンドウは、LBP-1110SEプリンタのステータス（操作状況、印刷ジョブ情報など）を、メッセージ、アニメーション、音声、アイコンなどで表示します。

ステータスウィンドウの各部の名称と機能

ステータスウィンドウの機能は、Windows 95/98/Me と Windows NT 4.0/2000/XP で共に共通です。ここでは、Windows 95/98/Me の画面を例に説明します。
各操作の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。

メニューバー

ジョブメニュー 印刷の一時停止/再開/中止を実行します。印刷中のジョブの操作権がない場合は、グレー表示になります。

オプションメニュー

ステータスオプションの設定、ポートの設定、クリーニングページの印刷を行います。

ヘルプ オンラインヘルプを表示します。

ステータスウィンドウの使い方

メッセージ領域　プリンタのステータスを短文で表示します。

メッセージ領域（補助）
エラーの起きたときなど、補助情報を文字で表示します。

アイコン　プリンタのステータスをアイコンで表示します。

プログレスバー　印刷中ジョブの進行状況をページ数や、背景色の変化で表します。

アニメーション領域　プリンタのステータスをグラフィックで表示します。

背景色は、通常は青、何らかの操作が必要な場合はオレンジ、警告時は赤に変化します。

タブウィンドウ　［印刷中ジョブ］、［印刷完了ジョブ］、［印刷待ちジョブ］の各タブをクリックすると、［ジョブ情報］を見ることができます。

ツールバー　印刷の一時停止、再開、中止を実行します。

ステータスバー　プリンタの接続先（ローカルまたはネットワーク）を表示します。メニュー操作中は、メニュー操作の説明が表示されます。

メモ

● 音声メッセージをご利用になるには、お使いのパソコンにPCM音源があり、サウンドドライバがインストールされていることが必要です。

ステータスウィンドウの表示方法

ステータスウィンドウを表示するには、［タスクバー］のインジケータ領域にあるアイコンを左クリックし、ポップアップされたメニュー（Canon LASER SHOT LBP-1110）をクリックします。LBP-1110SEが複数台インストールされている場合は、その台数分だけメニューが表示されます。

ステータスウィンドウは、印刷中や、エラー発生時などのステータスでは、自動的に表示されます（ステータスウィンドウの［オプション］メニューの「ステータスオプション」にある［印刷中にステータスウィンドウを表示］を選択していない場合は、印刷中でも表示されません）。

ステータスウィンドウを終了するには

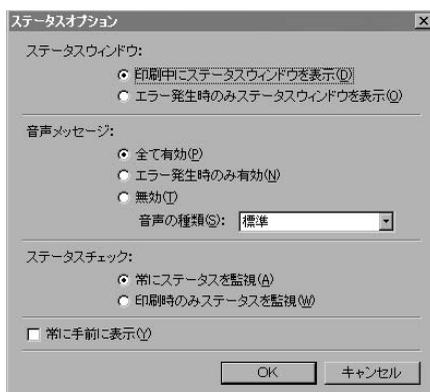
［タスクバー］のインジケータ領域にあるアイコンを右クリックし、「全てのプリンタステータスウィンドウを終了します」を選択します。この操作でアイコン表示も同時に終了し、アイコンが消去されます。

ステータスオプションについて

ステータスウィンドウで表示されるステータスオプションの設定について説明します。

1

ステータスウィンドウのメニューバーで、[オプション] から [ステータスオプション] を選択します。

[ステータスオプション] ダイアログボックスが表示されます。

●**[ステータスウィンドウ] グループ**

印刷中にステータスウィンドウを表示

選択すると、印刷が開始されたときに自動的にステータスウィンドウが表示されます。

エラー発生時のみステータスウィンドウを表示

選択すると、エラーが発生したときに限り自動的にステータスウィンドウが表示されます。

ステータスウィンドウの使い方

●［音声メッセージ］グループ

全て有効　すべての音声メッセージが発声されます。

エラー発生時のみ有効
エラー発生を通知する警告メッセージだけが発声されます。

無効　音声の種類の設定に関わらず、音声メッセージは発声されません。

音声の種類　複数の音声をインストールした場合、それらがドロップダウンリストに表示されて選択できるようになります。

●［ステータスチェック］グループ

常にステータスを監視
ステータスウィンドウは常にプリンタのステータスを監視します。

印刷時のみステータスを監視
ステータスウィンドウは印刷時のみプリンタのステータスを監視します。

●［常に手前に表示］
ステータスウィンドウを常に最前面に表示します。

2
各設定を確認し、［OK］ボタンをクリックします。

メモ

● ネットワークプリンタのステータスについては（→ **P.77**）をご覧ください。

メモ

● ステータスウィンドウの操作の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。

2

ネットワークプリンタとして使用する

LBP-1110SEをネットワークプリンタとして設定することで､他のパソコンからも印刷することができます。

ネットワークプリンタとしての設定について

LBP-1110SEをネットワークプリンタとしてお使いになる場合は､下記の設定を行います。このとき､プリンタを直接接続するパソコンをプリントサーバ､ネットワークを経由して､プリンタを利用する他のパソコンをクライアントと呼びます。

● プリントサーバ、クライアントは共に、Windows 95/98/Meまたは、Windows NT 4.0/2000/XP 以降の OS が動作している必要があります。

① プリントサーバへのローカルインストール
② プリントサーバの設定（ネットワーク）
③ プリントサーバの設定（プリンタの共有）
④ クライアントへのインストール（ダウンロード）

① プリントサーバへのローカルインストール

プリントサーバへローカルインストールする方法については、下記参照ページをご覧ください。

● USB ポート（USB ケーブル）をお使いになる場合

- Windows 98/Me をお使いの場合 （→ **P.32**、**36**）
- Windows 2000 をお使いの場合 （→ **P.82**）
- Windows XP をお使いの場合 （→ **P.85**）

USBケーブルをお使いの方で､LBP-1110プリンタドライバを追加してインストールする場合は､「CD-ROM メニューからのインストール」（→ **P.32**）もしくは「プラグ・アンド・プレイ」（→ **P.36**、**82**、**85**）と同様の手順を行ってください。

●パラレルポート（パラレルケーブル）をお使いになる場合

- Windows 95/98/Me をお使いの場合 （→ **P.41**、**44**）
- Windows 2000 をお使いの場合 （→ **P.89**、**97**）
- Windows XP をお使いの場合 （→ **P.91**、**102**）
- Windows NT 4.0 をお使いの場合 （→ **P.93**）

ネットワークプリンタとして使用する

② プリントサーバの設定（ネットワーク）

● **Windows 95/98/Me の場合**

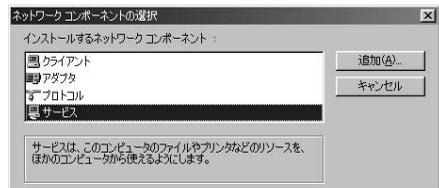
1

[コントロールパネル] で、[ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。

2

[ネットワークの設定] タブを選択し、[追加] ボタンをクリックします。

3

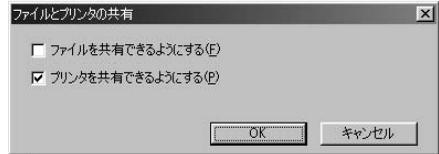
[サービス] アイコンを選択し、ダブルクリックします。

4

[モデル] で [Microsoft ネットワーク共有サービス] を選択します。

[OK] ボタンをクリックすると、[ネットワーク] ダイアログボックスに戻ります。

5

[ファイルとプリンタの共有］ボタンをクリックします。

[プリンタを共有できるようにする］チェックボックスがチェックされていることを確認し、[OK］ボタンをクリックします。

6

[アクセス権の制御] タブを選択し、[共有レベルのアクセス管理］または［ユーザーレベルのアクセス管理］のどちらかをチェックします。

7

[OK］ボタンをクリックし、Windows を再起動します。

● Windows NT 4.0 の場合

1

[コントロールパネル] で、[ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。

2

[サービス] タブを選択し、[サーバー] が表示されていない場合は、[追加］ボタンをクリックします。

ネットワークプリンタとして使用する

3

[サーバー］を選択して［OK］ボタンをクリックし、Windows を再起動します。

● Windows 2000/XP の場合

1

Windows 2000 の場合は、[スタート］メニューの［設定］から、[ネットワークとダイヤルアップ接続］を選択します。
Windows XPの場合は、[スタート] メニューの [コントロールパネル] から、[ネットワーク接続］を選択します。

［ネットワークとダイヤルアップ接続］が表示されます。

2

[ローカルエリア接続］を右クリックして、メニューから[プロパティ]を選択します。

［ローカルエリア接続のプロパティ］が表示されます。

3

[Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有］チェックボックスがチェックされていることを確認し、[OK］ボタンをクリックします。

2

③ プリントサーバの設定（プリンタの共有）

● Windows 95/98/Me の場合（共有リソースへのアクセスの管理方法）

1

［プリンタ］フォルダを開き、［Canon LASER SHOT LBP-1110］アイコンを右クリックして、メニューから［共有］を選択します。

2

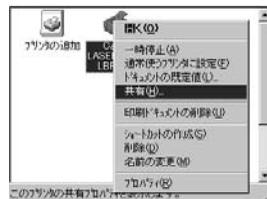
［共有する］をチェックします。必要に応じて共有名を変更し、コメント、パスワードを入力し、［OK］ボタンをクリックします。

メモ

- ［ユーザーレベルのアクセス管理］を選択している場合には、［追加］ボタンをクリックして、プリンタをお使いになるユーザを選択します。
- 共有名に、スペースや特殊文字はお使いにならないでください。

● Windows NT 4.0/2000/XP の場合

1

Windows NT4.0/2000の場合は［プリンタ］フォルダを、Windows XPの場合は［プリンタとFAX］フォルダを開き、［Canon LASER SHOT LBP-1110］アイコンを右クリックして、メニューから［共有...］を選択します。

ネットワークプリンタとして使用する

2

必要であれば、[共有名:] を変更し、[OK] ボタンをクリックします。

プリンタアイコンが、プリンタ共有アイコンに変更されます。

- プリンタの共有設定は、ローカルインストールの途中で選択することもできます。

④ クライアントへのインストール（ダウンロード）

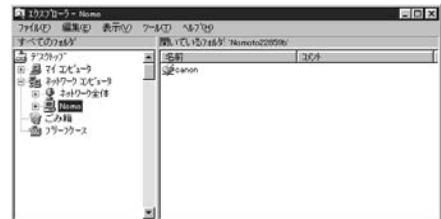
クライアントへのインストール方法として、ダウンロードインストールについて説明します。

- クライアントは、Windows 95/98/MeとWindows NT 4.0/2000/XPのどちらでも利用できます。
- プリントサーバがWindows 95/98/Meの場合、Windows NT 4.0/2000/XPへのダウンロードインストールはできません。
- プリントサーバがWindows NT 4.0の場合、Windows 95/98/Meへのダウンロードインストールには、NT 4.0のサービスパック４以降が必要です。

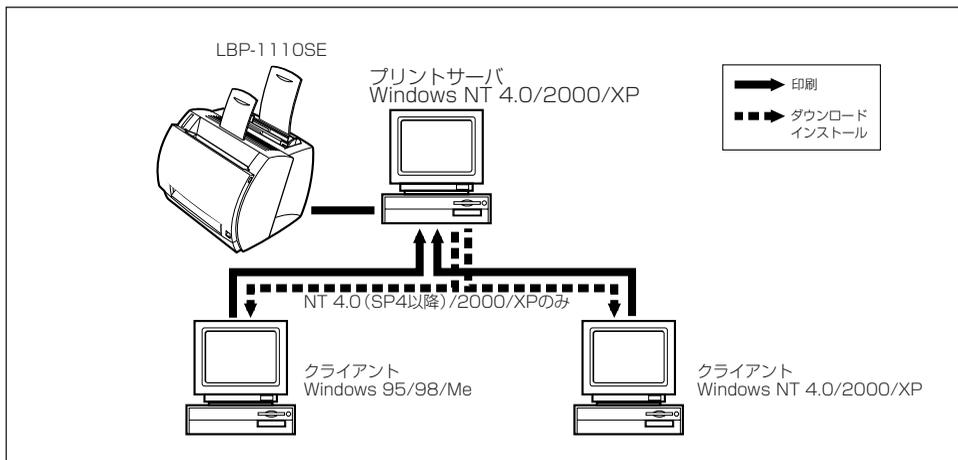
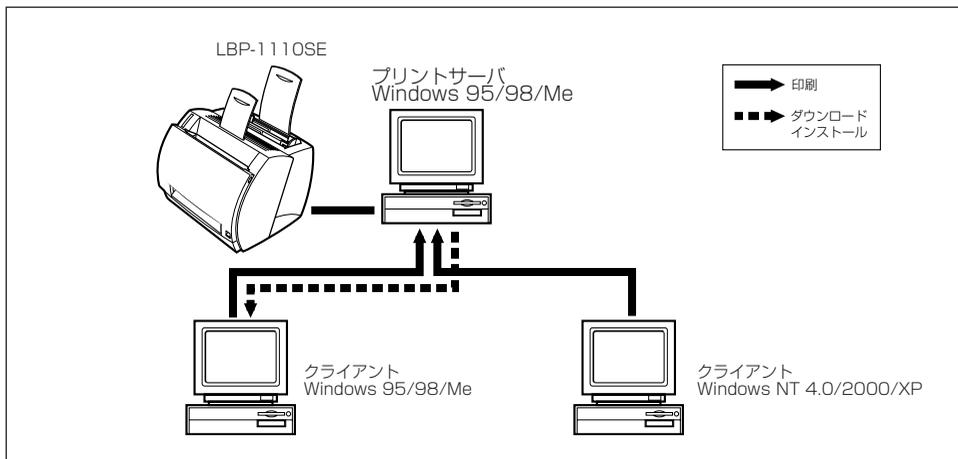
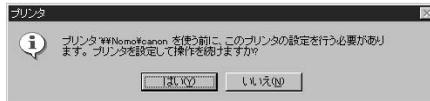
1

[エクスプローラ］を開きます。

2

[ネットワークコンピュータ］から、[Canon LASER SHOT LBP-1110]アイコンを選択し、ダブルクリックします。

または、[プリンタ］フォルダにドラッグ・アンド･ドロップします。

3

［プリンタ名の選択］ダイアログボックスが開きますので、画面の指示に従って操作してください。

ネットワークプリンタとして使用する

ネットワークプリンタのステータス

ネットワークプリンタのステータスは、プリントサーバだけではなく、クライアントのステータスウィンドウにも表示されます。
また、ステータスウィンドウの起動時にプリントサーバが立ち上がっていない場合でも、プリントサーバが立ち上がると自動的に接続されます。

●プリントサーバのステータス

- ローカルの印刷ジョブと、クライアントの印刷ジョブのステータスを表示します。
- 印刷中ジョブタブ、印刷待ちジョブタブでの操作が可能です。
- 音声メッセージを発生します。
- プリントサーバが Windows NT 4.0/2000/XP の場合、誰もログオンしていないとステータスは表示されません。

●クライアントのステータス

- 印刷ジョブのクライアントは、印刷中ジョブタブでの操作が可能です。
- 印刷待ちジョブタブでの操作はできません。
- 音声メッセージを発声（ユーザ名またはコンピュータ名の一致するクライアントのみ）します。

メモ

● ネットワーク印刷時のステータス表示を行うには、次のいずれかのプロトコルが使用できる環境が必要です。
　・TCP/IP
　・NetBEUI
使用するプロトコルが IPX/SPX のみの場合は、ステータスは表示されません。

8 ソフトウェアのアンインストール

ソフトウェアを削除して、インストール前の状態に戻すことをアンインストールといいます。CAPTソフトウェアをアンインストールする場合は、次の手順で行います。

1

次に示したファイルやプログラムをすべて閉じてください。

・ヘルプファイル
・ステータスウィンドウ
・コントロールパネル
・その他のアプリケーションプログラム

2

[Canon CAPT Tools] フォルダの [Canon CAPTアンインストーラ] をダブルクリックします。

［Canon CAPT アンインストーラ］ダイアログボックスが表示されます。

3

[OK] ボタンをクリックします。

アンインストールが実行され、再起動画面が表示されます。

4

[OK] ボタンをクリックします。

Windows が再起動されます。

メモ

● USB ポートの削除については、第6章「困ったときには」の「インストールできないときは」（→ **P.157**）をご覧ください。
● ドライバのインストールを正常に終了できなかった際に、インストールをやり直す場合は、アンインストールを行ったあと、もう一度インストールの手順に進んでください（→ **P.30** 印刷するためのマップ）。

第3章　Windows NT 4.0/2000/XP からの印刷

1 印刷するためのマップ
2 ローカルプリンタとしてインストールする
(USBポートをお使いの場合)
3 ローカルプリンタとしてインストールする
(USBポートをお使いの場合)
4 インストールが完了すると
5 印刷条件の設定
6 ステータスウィンドウの使い方
7 ネットワークプリンタとして使用する
8 ソフトウェアのアンインストール

1 印刷するためのマップ

Windows NT 4.0/2000/XP からの印刷方法について簡単に説明します。目的や状況に応じて、参照ページをご覧ください。

CAPT ソフトウェアのインストール

原稿の作成

→お使いのアプリケーションに付属のマニュアルをご覧ください。

印刷条件の設定

印刷するためのマップ

印刷　→お使いのアプリケーションで印刷を実行してください。

印刷のステータス表示

2 ローカルプリンタとしてインストールする（USB ポートをお使いの場合）

お使いのパソコンにLBP-1110SEを直接接続する（ローカルプリンタとして使用する）ときのインストール方法として、USB ポート（USB ケーブル）をお使いの場合について説明します。

お願い

- 以前のバージョンのプリンタドライバがインストールされている場合は、必ずそれらのプリンタドライバを削除してから、本プリンタドライバをインストールしてください。

メモ

- 本プリンタをUSBでお使いになるには、お使いのパソコンにUSBポートが装備されており、メーカーによりUSBの動作が保証されている必要があります。
- Windows NT 4.0ではUSBをお使いになれません。

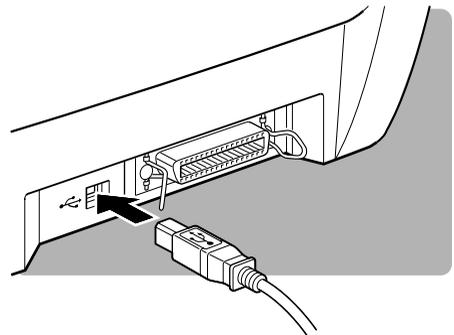
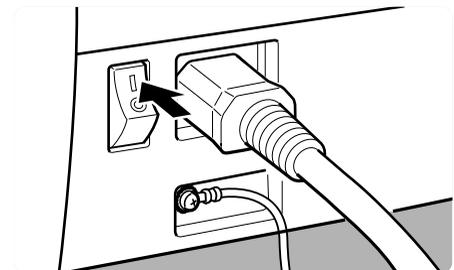
プラグ・アンド・プレイ（Windows 2000）

お願い

- LBP-220などのプリンタドライバがインストールされている場合は、プリンタドライバをアンインストールするか、または、FILE：に接続してからLBP-1110SEのインストールを行ってください。

1

本プリンタ背面のUSBインタフェース接続部と、パソコンのUSBポートをケーブルで確実に接続します。（→ P.19）

2

本プリンタの電源をオンにします。（→ P.22）

ローカルプリンタとしてインストールする（USB ポートをお使いの場合）

3

パソコンの電源を入れて、Windows 2000 を起動します。

プラグ・アンド・プレイが実行され、USB クラスドライバ「USB 印刷サポート」が自動検知され、インストールされます。
USB クラスドライバをすでにインストール済みで、プリンタを追加する場合は、「ローカルプリンタとしてインストールする（パラレルポートをお使いの場合）」の、「プリンタの追加ウィザード（Windows 2000）」（→ **P.97**）をご覧ください。

4

Administrators のメンバーとしてログオンします。

メモ

- プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

5

［新しいハードウェアが見つかりました］ダイアログボックスが表示され、次に［新しいハードウェアの検出ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

［次へ］ボタンをクリックします。

6

［デバイスに最適なドライバを検索する（推奨)］を選択し［次へ>］ボタンをクリックします。

メモ

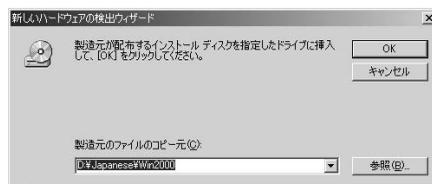
● デバイスの名称が不明と出ることがあります。

7

［場所を指定］のみを選択し［次へ>］ボタンをクリックします。

8

付属のCD-ROM「User Software for LBP-1110」をセットし、［参照］ボタンをクリックしてディレクトリを参照します。

CD-ROM ドライブが［D:］の場合は、［D:¥Japanese¥Win2000］を選択します。

9

ドライバファイルの検索終了のダイアログボックスが表示されます。

［次へ>］ボタンをクリックします。

［デジタル署名が見つかりませんでした］ダイアログボックスが表示された場合は［はい］ボタンをクリックします。

ローカルプリンタとしてインストールする（USB ポートをお使いの場合）

10

続いて「環境設定中...しばらくお待ちください」のメッセージが表示され、CAPT環境の設定が開始されます。

環境設定中に［Canon CAPT Tools］グループの作成が行われ、［スタート］メニューに追加されます。また、デスクトップ上に［Canon CAPT Tools］フォルダが表示されます。

11

インストール完了のダイアログボックスが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。

12

[新しいハードウェアの検索ウィザードの完了］ダイアログボックスが表示されます。

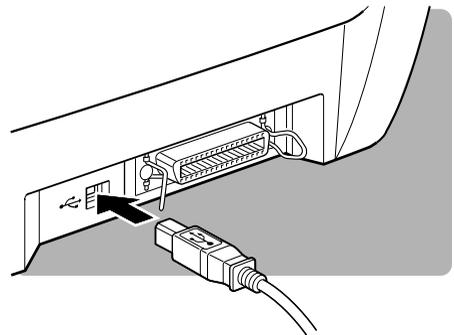
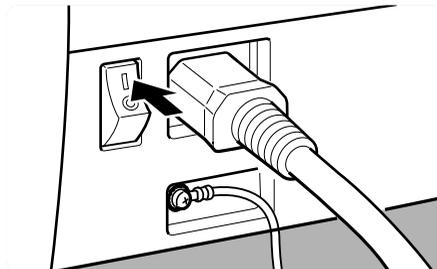
［完了］ボタンをクリックすると、インストールが完了します。

3

プラグ・アンド・プレイ（Windows XP）

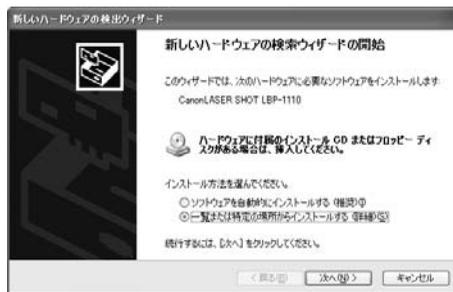
1

本プリンタ背面のUSBインターフェース接続部とパソコンのUSBポートをケーブルで確実に接続します。

2
本プリンタの電源をオンにします。
(→ P.22)

3
パソコンの電源を入れて、Windows XP を起動します。

プラグ・アンド・プレイが実行され、USB クラスドライバ「USB 印刷サポート」が自動検知され、インストールされます。
USB クラスドライバをすでにインストール済みで、プリンタを追加する場合は、「ローカルプリンタとしてインストールする（パラレルポートをお使いの場合）」の、「プリンタの追加ウィザード（Windows XP）」（→ **P.102**）をご覧ください。

4
「新しいハードウェアが見つかりました」が表示され、次に［新しいハードウェアの検出ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

［一覧または特定の場所からインストールする(詳細)］を選択し、付属の CD-ROM「User Software for LBP- 1110」をセットし、［次へ>］ボタンをクリックします。

5
［検索とインストールのオプションを選んでください。］が表示されます。

［次の場所で最適のドライバを検索する］を選択します。つぎに、［次の場所を含める］を選択し、［参照］ボタンをクリックします。
CD-ROM ドライブが［D:］の場合は、［D:¥Japanese¥WinXP］を選択し、つぎに［次へ>］ボタンをクリックします。

ローカルプリンタとしてインストールする（USB ポートをお使いの場合）

6

インストール中の画面が表示されます。

続いて「環境設定中. . . しばらくお待ちください」のメッセージが表示され、CAPT 環境の設定が開始されます。環境設定中に［Canon CAPT Tools］グループ作成が行われ、［スタート］メニューに追加されます。

また、デスクトップ上に［Canon CAPT Tools］フォルダが表示されます。

7

インストール完了のダイアログボックスが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。

8

[新しいハードウェアの検索ウィザードの完了］が表示されます。

［完了］ボタンをクリックすると、インストールが完了します。

プリンタの追加ウィザード（Windows 2000）

USBケーブルをお使いの方で、LBP-1110プリンタドライバを追加してインストールする場合は、「プラグ・アンド・プレイ」（→ **P.82**）と同様の手順を行ってください。

- LBP-220などのプリンタドライバがインストールされている場合は、プリンタドライバをアンインストールするか、または、FILE：に接続してからLBP-1110SEのインストールを行ってください。

プリンタの追加ウィザード（Windows XP）

USBケーブルをお使いの方で、LBP-1110プリンタドライバを追加してインストールする場合は、「プラグ・アンド・プレイ」（→ **P.85**）と同様の手順を行ってください。

- LBP-220などのプリンタドライバがインストールされている場合は、プリンタドライバをアンインストールするか、または、FILE：に接続してからLBP-1110SEのインストールを行ってください。

ローカルプリンタとしてインストールする（パラレルポートをお使いの場合）

お使いのパソコンに LBP-1110SE を直接接続する（ローカルプリンタとして使用する）ときのインストール方法として、パラレルポート（パラレルケーブル）をお使いの場合について説明します。

お願い

● 以前のバージョンのプリンタドライバがインストールされている場合は、必ずそれらのプリンタドライバを削除してから、本プリンタドライバをインストールしてください。

プラグ・アンド・プレイ（Windows 2000）

お願い

● LBP-220などのプリンタドライバがインストールされている場合は、プリンタドライバをアンインストールするか、または、FILE：に接続してからLBP-1110SEのインストールを行ってください。

1

本プリンタとパソコンをパラレルケーブルで確実に接続します。Windowsを起動すると、Windowsの自動認識機能により、[新しいハードウェアの検出ウィーザード] ダイアログボックスが表示されます。

2

Administrators のメンバーとしてログオンします。

メモ

● プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

3

[新しいハードウェアが見つかりました］ダイアログボックスが表示され、次に［新しいハードウェアの検出ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

[次へ>］ボタンをクリックします。

4

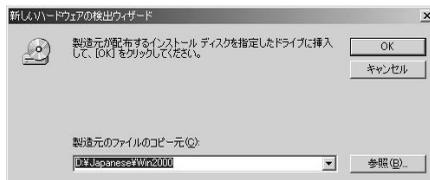
［デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］を選択し［次へ>］ボタンをクリックします。

5

［場所を指定］のみを選択し［次へ>］ボタンをクリックします。

6

付属のCD-ROM「User Software for LBP-1110」をセットし、［参照］ボタンをクリックしてディレクトリを参照します。

CD-ROM ドライブが［D:］の場合は、［D:¥Japanese¥Win2000］を選択します。

7

ドライバファイルの検索終了のダイアログボックスが表示されます。

［次へ>］ボタンをクリックします。

［デジタル署名が見つかりませんでした］ダイアログボックスが表示された場合は［はい］ボタンをクリックします。

3

ローカルプリンタとしてインストールする（パラレルポートをお使いの場合）

8

続いて「環境設定中... しばらくお待ちください」のメッセージが表示され、CAPT 環境の設定が開始されます。

環境設定中に［Canon CAPT Tools］グループの作成が行われ、［スタート］メニューに追加されます。また、デスクトップ上に［Canon CAPT Tools］フォルダが表示されます。

9

インストール完了のダイアログボックスが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。

10

[新しいハードウェアの検索ウィザードの完了］ダイアログボックスが表示されます。

［完了］ボタンをクリックすると、インストールが完了します。［システム設定の変更］ダイアログボックスが表示されますので、［はい］ボタンをクリックしてパソコンを再起動してください。

3

プラグ・アンド・プレイ（Windows XP）

お願い

- LBP-220などのプリンタドライバがインストールされている場合は、プリンタドライバをアンインストールするか、または、FILE：に接続してからLBP-1110SEのインストールを行なってください。

1

本プリンタとパソコンをパラレルケーブルで確実に接続します。Windowsを起動すると、Windows の自動認識機能により、［新しいハードウェアの検出ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

［一覧または特定の場所からインストールする(詳細)］を選択し、付属の CD-ROM「User Software for LBP-1110」をセットし、［次へ >］ボタンをクリックします。

2

[検索とインストールのオプションを選んでください。] が表示されます。

[次の場所で最適のドライバを検索する] を選択します。つぎに、[次の場所を含める] を選択し、[参照] ボタンをクリックします。
CD-ROM ドライブが [D:] の場合は、[D:¥Japanese¥WinXP] を選択し、つぎに [次へ>] ボタンをクリックします。

3

[ソフトウェアをインストールしています。お待ちください…] のメッセージが表示され、CAPT 環境の設定が開始されます。

環境設定中に [Canon CAPT Tools] グループが作成され、[スタート] メニューに追加されます。また、デスクトップ上に [Canon CAPT Tools] フォルダが表示されます。

4

インストール完了のダイアログボックスが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

5

[新しいハードウェアの検索ウィザードの完了] が表示されます。

[完了] ボタンをクリックすると、インストールが完了します。

ローカルプリンタとしてインストールする（パラレルポートをお使いの場合）

プリンタの追加ウィザード（Windows NT 4.0）

- LBP-220などのプリンタドライバがインストールされている場合は、プリンタドライバをアンインストールするか、または、FILE：に接続してからLBP-1110SEのインストールを行ってください。

1

本プリンタをパソコンに確実に接続して、プリンタの電源をオンにします。

2

パソコンの電源を入れ、Windows NT 4.0 を起動します。

3

付属の CD-ROM「User Software for LBP-1110」を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM メニューが自動的に表示されます。すでに CD-ROM がセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出して、再度セットします。

4

［Canon LBP-1110インストール］ボタンをクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

5

［このコンピュータ］オプションボタンが選択されていることを確認し、［次へ>］ボタンをクリックします。

接続ポートを選択するウィザードが表示されます。

6

LBP-1110SE を接続したポート（通常はLPT1:）のチェックボックスを選択し、[次へ>］ボタンをクリックします。

[プリンタウィザード] ダイアログボックスが表示され、Windows NT 4.0 が標準でサポートしているプリンタのメーカーと機種名が表示されます。

メモ

● LBP-1110SE が接続されていないポートやCOM ポート、およびFILE ポートを選択してもプリントできません。

7

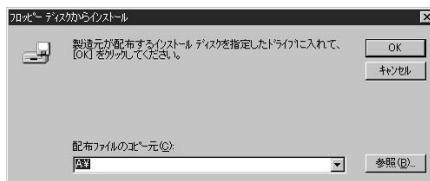
[ディスク使用 ...］ボタンをクリックします。

[フロッピー ディスクからインストール] ダイアログボックスが表示されます。

8

[参照 ...］ボタンをクリックして、CD-ROM がセットされているドライブ名を選択します。

[ファイルを見つけます］ダイアログボックスにリストが表示されます。

9

[Japanese] フォルダの [Winnt40] フォルダをダブルクリックします。

[ファイルを見つけます］ダイアログボックスに「Cap1astn.inf」が表示されます。

3

ローカルプリンタとしてインストールする（パラレルポートをお使いの場合）

10

［開く］をクリックします。

［フロッピー ディスクからインストール］ダイアログボックスが表示されます。

11

［OK］ボタンをクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスに「Canon LASER SHOT LBP-1110」が表示されます。

12

［次へ>］ボタンをクリックします。

つぎのようなダイアログボックスが表示されます。

13

［次へ>］ボタンをクリックします。

プリンタ名を変更したい場合は、新しい名前を入力します。

14

LBP-1110SE をネットワークで共有する場合には、［共有する］オプションボタンを選択します。

ソフトウェアのインストール後に、プリンタプロパティの［共有］タブで設定することもできます。

15

[次へ>] ボタンをクリックします。

テストページを印刷するかを問い合わせるダイアログボックスが表示されます。

16

テストページを印刷するには、[はい] オプションボタンが選択されていることを確認します。

印刷しない場合は [いいえ] オプションボタンを選択します。

17

[完了] ボタンをクリックします。

CD-ROMからハードディスクにファイルがコピーされます。
コピーが終了すると、[プリンタ] フォルダに [Canon LASER SHOT LBP-1110] アイコンが表示されます。
プリンタアイコンは、共有設定した場合としていない場合では形が異なります。

18

続いて「環境設定中…しばらくお待ちください」のメッセージが表示され、CAPT環境の設定が開始されます。

環境設定中に [Canon CAPT Tools] グループの作成が行われ、[スタート] メニューに追加されます。また、デスクトップ上に [Canon CAPT Tools] フォルダが表示されます。

19

インストール完了のダイアログボックスが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。

20

テストページを確認したら、テストページ完了のダイアログボックスの [はい] ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

3

ローカルプリンタとしてインストールする（パラレルポートをお使いの場合）

プリンタの追加ウィザード（Windows 2000）

● LBP-220などのプリンタドライバがインストールされている場合は、プリンタドライバをアンインストールするか、または、FILE：に接続してからLBP-1110SEのインストールを行ってください。

1

本プリンタをパソコンに確実に接続して、プリンタの電源をオンにします。

2

パソコンの電源を入れ、Windows 2000 を起動します。

プラグ・アンド・プレイのダイアログボックスが表示されたら［キャンセル］ボタンをクリックします。プラグ・アンド・プレイのインストール方法は（→ **P.89**）をご覧ください。

3

付属の CD-ROM「User Software for LBP-1110」を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM メニューが自動的に表示されます。すでに CD-ROM がセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出して、再度セットします。

4

［Canon LBP-1110インストール］ボタンをクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

3

5

［ローカルプリンタ］オプションボタンが選択されていることを確認し、［次へ>］ボタンをクリックします。

接続ポートを選択するウィザードが表示されます。

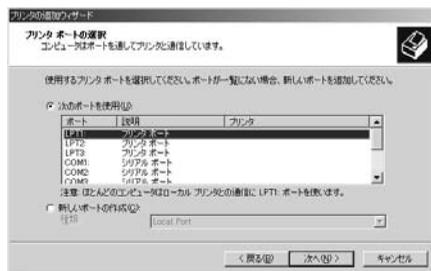
お願い

● 「プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする」は、極力選択しないでください。

6

LBP-1110SE を接続したポート（通常はLPT1:）を選択し、［次へ>］ボタンをクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示され、Windows 2000 が標準でサポートしているプリンタのメーカーと機種名が表示されます。

メモ

● LBP-1110SEが接続されていないポートやCOMポートおよびFILEレポートを選択してもプリントできません。

7

［ディスク使用...］ボタンをクリックします。

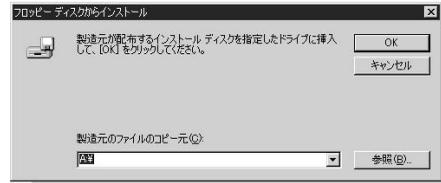
［プロッピーディスクからインストール］ダイアログボックスが表示されます。

ローカルプリンタとしてインストールする（パラレルポートをお使いの場合）

8

［参照 ...］ボタンをクリックして、ディレクトリを参照します。

CD-ROM ドライブが、［D:］の場合は、［D:¥Japanese¥Win2000］と、［配布ファイルのコピー元］に表示されます。

9

[Japanese] フォルダの [Win2000] フォルダをダブルクリックします。

10

［開く］ボタンをクリックします。

［フロッピーディスクからインストール］ダイアログボックスが表示されます。

11

［OK］ボタンをクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスに「Canon LASER SHOT LBP-1110」が表示されます。

12

［次へ>］ボタンをクリックします。

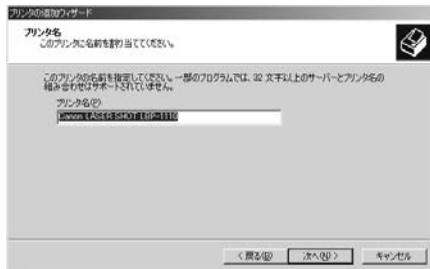
つぎのようなダイアログボックスが表示されます。

3

13

［次へ>］ボタンをクリックします。

プリンタ名を変更したい場合は、新しい名前を入力します。

14

LBP-1110SE をネットワークで共有する場合には、［共有する］オプションボタンを選択します。

ソフトウェアのインストール後に、プリンタプロパティの［共有］タブで設定することもできます（→ **P.110**）。

15

［次へ>］ボタンをクリックします。

テストページを印刷するかを問い合わせるダイアログボックスが表示されます。

16

テストページを印刷するには［はい］オプションボタンが選択されていることを確認します。

印刷しない場合は［いいえ］オプションボタンを選択します。

17

［次へ>］ボタンをクリックします。

［完了の確認］ダイアログボックスが表示されます。

ローカルプリンタとしてインストールする（パラレルポートをお使いの場合）

18

［完了］ボタンをクリックします。

［デジタル署名が見つかりませんでした］ダイアログボックスが表示された場合は［はい］ボタンをクリックします。

CD-ROMからハードディスクにファイルがコピーされます。

19

続いて「環境設定中...しばらくお待ちください」のメッセージが表示され、CAPT環境の設定が開始されます。

環境設定中に［Canon CAPT Tools］グループの作成が行われ、［スタート］メニューに追加されます。また、デスクトップ上に［Canon CAPT Tools］フォルダが表示されます。

プリンタアイコンは、共有設定した場合としていない場合では形が異なります。

20

インストールがすべて終了すると、右のダイアログボックスが表示されますので、［OK］ボタンをクリックしてインストールを終了します。

21

テストページを確認したら、テストページ完了のダイアログボックスの［はい］ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

3

プリンタの追加ウィザード（Windows XP）

お願い

- LBP-220などのプリンタドライバがインストールされている場合は、プリンタドライバをアンインストールするか、または、FILE：に接続してからLBP-1110SEのインストールを行なってください。

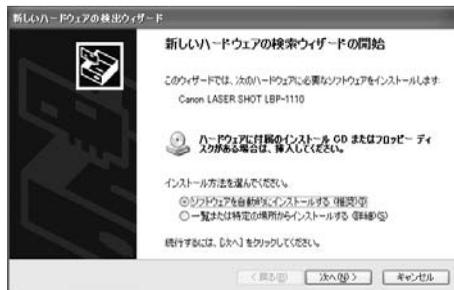
1

本プリンタとパソコンをパラレルケーブルで確実に接続して、プリンタの電源をオンにします。

2

パソコンの電源を入れ、Windows XPを起動します。

プラグ・アンド・プレイのダイアログボックスが表示されたら［キャンセル］ボタンをクリックします。プラグ・アンド・プレイのインストール方法は（→ **P.91**）をご覧ください。

3

付属のCD-ROM「User Software for LBP-1110」をCD-ROMドライブにセットします。

「Canon LBP-1110 CD-ROMメニュー」が自動的に表示されます。すでにCD-ROMがセットされている場合は、いったんCD-ROMを取り出して、再度セットします。

4

［Canon LBP-1110インストール］ボタンをクリックします。

ローカルプリンタとしてインストールする（パラレルポートをお使いの場合）

5

［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されたら、［次へ>］ボタンをクリックします。

6

［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］が選択されていることを確認し、［次へ>］ボタンをクリックします。

お願い

- ［プラグ・アンド・プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］は、選択しないでください。

7

[次のポートを使用]が選択されていることを確認し、LBP-1110SE を接続したポート(通常は［LPT1:(推奨プリンタポート)]) を選択し、[次へ>] ボタンをクリックします。

3

8

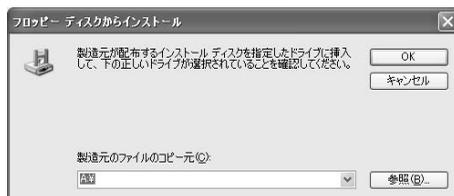
［ディスク使用...］ボタンをクリックします。

［フロッピーディスクからインストール］ダイアログボックスが表示されます。

9

［参照］ボタンをクリックします。

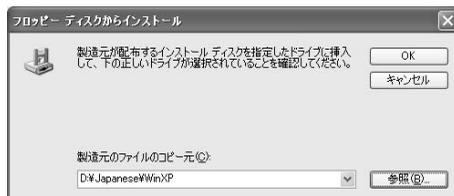
［ファイルの場所］ダイアログボックスが表示されます。

10

［開く］ボタンをクリックします。

［フロッピーディスクからインストール］ダイアログボックスが表示されます。

11

［OK］ボタンをクリックします。

CD-ROMドライブが［D:］の場合は、［製造元のファイルのコピー元］に［D:¥Japanese¥WinXP］と表示されます。［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスに「Canon LASER SHOT LBP-1110」が表示されます。

ローカルプリンタとしてインストールする（パラレルポートをお使いの場合）

12

［次へ>］ボタンをクリックします。

つぎのようなダイアログボックスが表示されます。

13

［次へ>］ボタンをクリックします。

プリンタ名を変更したい場合は、新しい名前を入力します。

14

［次へ>］ボタンをクリックします。

テストページを印刷するには［はい］オプションボタンが選択されていることを確認します。印刷しない場合は［いいえ］オプションボタンを選択します。

15

［完了］ボタンをクリックします。

3

16

インストールがすべて終了すると、右のダイアログボックスが表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてインストールを終了します。

17

テストページを確認したら、[OK] ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

3

インストールが完了すると

CAPT ソフトウェアのインストールが完了すると、［プリンタ］フォルダには［Canon LASER SHOT LBP-1110］プリンタアイコンが、［デスクトップ］には［Canon CAPT Tools］グループのフォルダが作成されます。

Canon CAPT Tools グループ

● Canon CAPT アンインストーラ

CAPT ソフトウェアを削除して、インストール前の状態に戻すときに使用します。
アイコンをダブルクリックすると起動します（→ **P.127**）。

● Canon LBP-1110 ステータスウィンドウ

プリンタや印刷のステータス（状況）を、アニメーションや音声などで表示します。
また、印刷の一時停止・中止などの操作機能があります。
Windows のタスクバーのインジケータ領域にあるアイコンをクリック→メニュー選択→クリックして開きます。印刷中は自動的に開きます（→ **P.125**）。

● Canon LBP-1110 トラブルシュータ

Windows の設定に関するトラブルの原因検出と復旧を行います。
アイコンをダブルクリックすると起動します（→ **P.175**）。

● Canon LBP-1110 ヘルプ

本プリンタの CAPT ソフトウェアについて説明しています。
アイコンをダブルクリックすると開きます（→ **P.66、112、114**）。

3

5 印刷条件の設定

LBP-1110SE では、CAPT ソフトウェアを使用して、さまざまな印刷条件を設定できます。ここでは、設定できる印刷条件と、設定を行う［ドキュメントの既定値プロパティ］*ダイアログボックスおよび［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを紹介します。

メモ

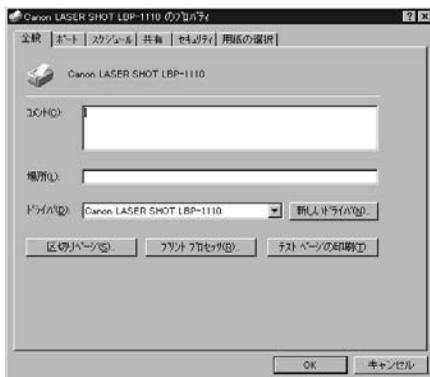
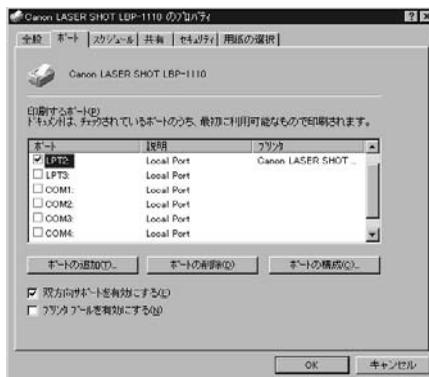
- ［プリンタプロパティ］、［ドキュメントの既定値プロパティ］*の 2 つのダイアログボックスは、誰でも開いたり設定内容を確認することはできますが、設定内容を変更するには、プリンタに対して「フルコントロール」のアクセス権が必要です。

 * Windows 2000/XP では、［印刷設定 ...］となります。

［プリンタプロパティ］ダイアログボックス

［プリンタプロパティ］ダイアログボックスは、プリンタフォルダの［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択するか、プリンタフォルダのLBP-1110アイコンを右クリックしてドロップダウンメニューの［プロパティ］を選択すると表示されます。
［プリンタプロパティ］ダイアログボックスには次のようなタブが用意されています。

● Windows NT 4.0 の場合

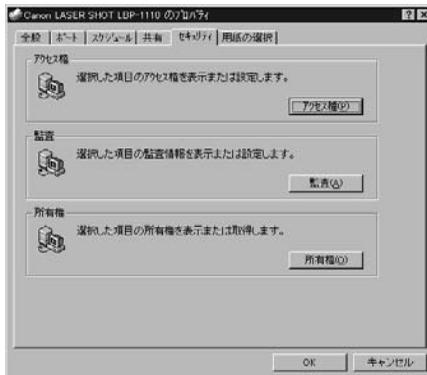
［全般］タブ

［ポート］タブ

印刷条件の設定

[スケジュール] タブ

[共有] タブ

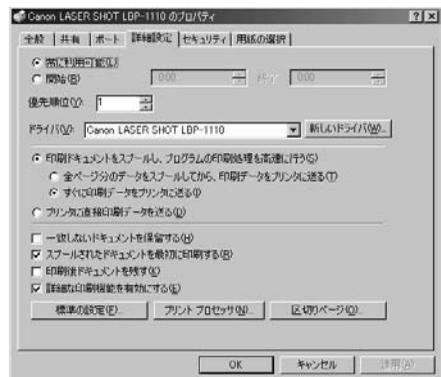
[セキュリティ] タブ

[用紙の選択] タブ

3

● **Windows 2000の場合**

[全般] タブ

[共有] タブ

[ポート] タブ

[詳細設定] タブ

[セキュリティ] タブ

[用紙の選択] タブ

印刷条件の設定

● Windows XP の場合

［全般］タブ

［共有］タブ

［ポート］タブ

［詳細設定］タブ

［用紙の選択］タブ

［用紙の選択］タブ

① プリントサーバから用紙を選択するには

プリンタで使用できる条件に合致する用紙をプリントサーバで定義し、その用紙を［用紙の選択］タブで選択します。

● 操作の詳細については、オンラインヘルプ、または、Windows NT 4.0/2000/XPのマニュアルをご覧ください。
● オンラインヘルプを表示するには、表示させたい項目の上にカーソルを移動し、［F1］キーを押してください。ポップアップウィンドウが表示されます。ポップアップウィンドウを閉じるには、ウィンドウの中をクリックします。
また、各項目を右クリックし、［ヘルプ］をクリックしても同様に表示できます。さらに、［タイトルバー］の、［？］ボタンをクリックし、［？］のついたカーソルを目的の項目の上でクリックしても表示されます。

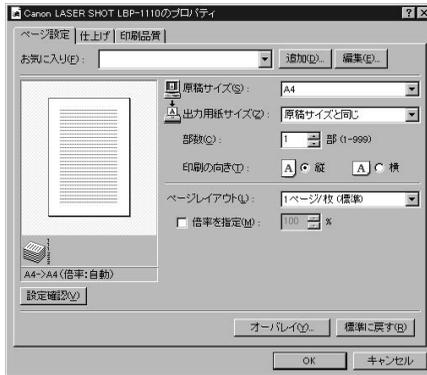
［ドキュメントの既定値プロパティ］* ダイアログボックス

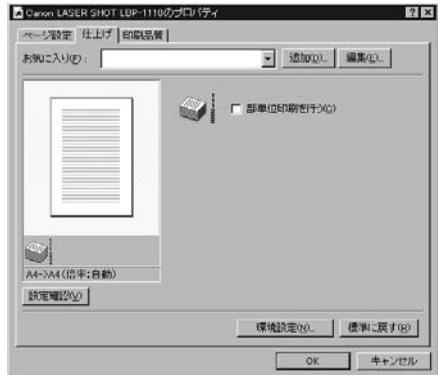
［ドキュメントの既定値プロパティ］*ダイアログボックスでは、LBP-1110SEで印刷する際の各種印刷オプションの詳細を設定します。［プリンタ］フォルダの［ファイル］メニューから［ドキュメントの既定値 ...］を選択するか、［プリンタ］フォルダの［LBP-1110］アイコンを右クリックしてドロップダウンメニューの［ドキュメントの既定値...］を選択すると表示されます。
［ドキュメントの既定値プロパティ］*ダイアログボックスには次のようなタブが用意されています。各設定項目についての詳細は、ダイアログボックス右上の［？］ボタンをクリックしてからその項目をクリックしてヘルプを表示してください。

● アプリケーションの［ファイル］メニューの［印刷 ...］や［ページ設定 ...］などを選択しても同様のダイアログボックスを開いて設定することができます。ただしアプリケーションから設定した場合、その設定内容はアプリケーションで作成中のドキュメントの印刷にのみ適用され、［ドキュメントの既定値プロパティ］*ダイアログボックスには反映されません（オーバレイ情報は反映されます）。

* Windows 2000/XPでは［印刷設定 ...］となります。

印刷条件の設定

[ページ設定] タブ

（画面例は、Windows NT 4.0 の場合）

[仕上げ] タブ

（画面例は、Windows NT 4.0 の場合）

[印刷品質] タブ

（画面例は、Windows NT 4.0 の場合）

メモ

● 表示されるタブの数は、お使いの Windows の設定によって異なります。

- 操作の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。
- オンラインヘルプを表示するには、表示させたい項目の上にカーソルを移動し、[F1] キーを押してください。ポップアップウィンドウが表示されます。ポップアップウィンドウを閉じるには、ウィンドウの中をクリックします。
  また、各項目を右クリックし、[ヘルプ] をクリックしても同様に表示できます。さらに、[タイトルバー] の、[?] ボタンをクリックし、[?] のついたカーソルを目的の項目の上でクリックしても表示されます。

[ページ設定] タブ

[ページ設定] タブでは、次のような印刷条件を設定できます。

(画面例は、Windows NT 4.0 の場合)

① 原稿のサイズを設定するには (→ **P.115**)
② 印刷する用紙のサイズを設定するには (→ **P.115**)
③ 印刷部数を設定するには (→ **P.116**)
④ 印刷の向きを設定するには (→ **P.116**)
⑤ 用紙 1 枚に複数ページ印刷するには (→ **P.116**)
⑥ 拡大・縮小して印刷するには (→ **P.117**)
⑦ データを重ねて (オーバレイ) 印刷するには (→ **P.117**)

印刷条件の設定

① 原稿のサイズを設定するには

［原稿サイズ］プルダウンメニューを表示し、適切なサイズをクリックして選択します。

選択できる［原稿サイズ］を次に示します。

A3	（297 × 420mm）
B4	（257 × 364mm）
A4	（210 × 297mm）
B5	（182 × 257mm）
A5	（148 × 210mm）
はがき	（100 × 148mm）
洋形４号	（105 × 235mm）
洋形２号	（114 × 162mm）
レター	（216 × 279mm）
リーガル	（216 × 356mm）
エグゼクティブ	（184 × 267mm）
用紙１	（ユーザ定義用紙）（→ **P.112**）
用紙２	（〃）
用紙３	（〃）

② 印刷する用紙のサイズを設定するには

［出力用紙サイズ］プルダウンメニューを表示し、実際に印刷する用紙のサイズを選択します。
選択できる［出力用紙サイズ］を次に示します。

原稿サイズと同じ	
A4	（210 × 297mm）
B5	（182 × 257mm）
A5	（148 × 210mm）
はがき	（100 × 148mm）
洋形４号	（105 × 235mm）
洋形２号	（114 × 162mm）
レター	（216 × 279mm）
リーガル	（216 × 356mm）
エグゼクティブ	（184 × 267mm）
用紙１	（ユーザ定義用紙）（→ **P.112**）
用紙２	（〃）
用紙３	（〃）

- ［原稿サイズ］と同じサイズの用紙に印刷する場合は、［原稿サイズと同じ］を選択してください。
- ［原稿サイズ］と異なるサイズの用紙を選択した場合は、原稿を拡大または縮小して印刷します。
- ［原稿サイズ］がA3またはB4のとき、［出力用紙サイズ］を［原稿サイズと同じ］に設定した場合は、原稿を縮小して、A4用紙（デフォルト）に印刷します。

- アプリケーションソフトで原稿サイズ、部数、印刷の向きなどを設定できる場合は、［ページ設定］タブで設定する必要はありません。

③ 印刷部数を設定するには

［部数］スピンボタンをクリックするか、スピンボックスに数字を入力してください。
設定有効値は、1～999部です。

④ 印刷の向きを設定するには
印刷の向きとは、用紙を縦長に使うか、横長に使うかということです。
設定するには、［印刷の向き］で［縦］または［横］のラジオボタンをクリックします。

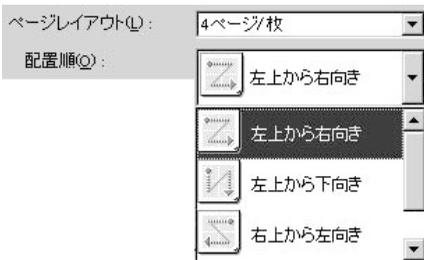
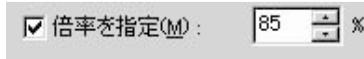
⑤ 用紙1枚に複数ページを印刷するには
［ページレイアウト］プルダウンメニューで設定します。

ページレイアウト(L)： 1ページ/枚 (標準)

選択できるページ数は、1、2、4、8、9ページ/枚のいずれかです。
2、4、8、9ページ/枚を選択すると、［配置順］プルダウンメニューが表示されます。適切な配置順を選択してください。

印刷条件の設定

⑥ 拡大・縮小して印刷するには
［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］が異なる場合は、自動的に倍率を設定して、拡大・縮小印刷を行います。
倍率を任意に設定する場合は、［倍率を指定］チェックボックスをクリックし、スピンボックスの数値を変更します。

☑ 倍率を指定(M)：　85　%

設定有効値は 10 ～ 200%です。

⑦ データを重ねて（オーバレイ）印刷するには
オーバレイとは、あらかじめフォームを用意し、アプリケーションで印刷するときに、2つの印字内容を重ねて印刷する機能です。例えば、社名やロゴマーク、住所などが入ったフォームとして用意しておけば、どんなアプリケーションから印刷しても、各ページの同じ位置にフォームの内容が印刷され、重ね合わせてアプリケーションからの文書などのデータが印刷されます。
アプリケーションの種類を問わず、同じ体裁の定形文書が、手軽に作成できます。

フォームのデータ形式
LBP-1110SEのオーバレイ機能では、次の2つの形式のデータをフォームとして扱うことができます。

- Windows メタファイル
- Windows BMP ファイル

お願い

- LIPS 形式で作成されたフォームは使用できません。

フォームの作成方法
いずれも、Windows NT 4.0/2000/XPに付属のソフトウェアもしくは、市販のソフトウェアで作成することができます。

● Windows メタファイル
Windows メタファイルは、市販のドローソフトで作成されるファイル形式です。これらのソフトウェアで作成し、メタファイル形式で保存します。

● Windows BMP ファイル
Windows NT 4.0/2000/XPに付属の「ペイント」などイメージを扱うソフトウェアで手軽に作成できるファイル形式です。Windows NT 4.0/2000/XPの壁紙も、この形式で作成されています。「ペイント」のほかに、市販ソフトウェアでは「Corel PhotoPaint」などがあります。これらのソフトウェアで作成し、BMP 形式で保存して使用します。

オーバレイの設定

オーバレイ印刷するには、［オーバレイ］ボタンをクリックし、［オーバレイ］ダイアログボックスを表示します。

ユーザ定義用紙(U)... オーバレイ(Y)... 標準に戻す(R)

ファイル名
オーバレイフォームとして使用するファイル名を指定します。
［ファイル名］ドロップダウンリストには、デフォルトの（なし）以外に９つまでファイル名をリストアップできます。
ファイル名は、［参照...］ボタンをクリックして、［ファイルを開く］ダイアログボックスから指定できます。

オーバレイの配置　背面
オーバレイフォームをアプリケーションから印刷するデータの背面(下側､後ろ側)に配置するときは､[背面]ラジオボタンをチェックしてください。

オーバレイの配置　前面
オーバレイフォームをアプリケーションから印刷するデータの前面（上側、前側）に配置するときは、［前面］ラジオボタンをチェックしてください。

位置　左 / 上
オーバレイフォームの左上端の位置を、用紙の左上端を原点として指定します。

［単位］ラジオボタンで、［センチ］または［インチ］を指定してください。設定有効値は、0 ～ 42cm です。

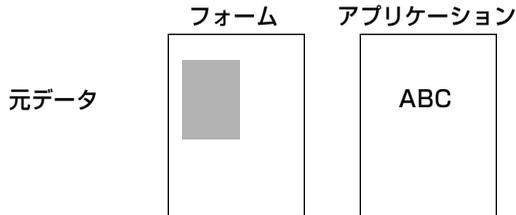
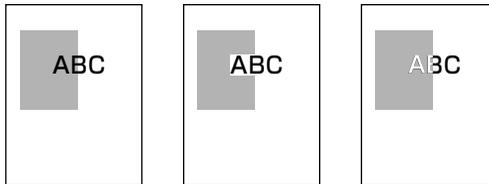
サイズ　幅 / 高さ
オーバレイフォームの大きさを指定します。
［単位］ラジオボタンで、［センチ］または［インチ］を指定してください。設定有効値は、0 ～ 42cm です。

単位
［センチ］か［インチ］のラジオボタンをチェックして選択します。

設定を確認し、［OK］ボタンをクリックすると、［ページ設定］タブに戻ります。

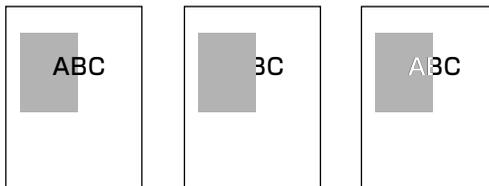
印刷条件の設定

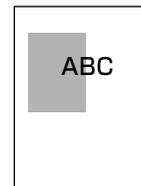
オーバレイの配置について

フォームデータとアプリケーションから印刷されるデータの配置（背面／前面）で、印刷結果が異なる場合があります。2 つのデータが重なり合って印刷されるような場合は、フォームのファイル形式とアプリケーションによって結果が異なります。本プリンタのオーバレイ機能では、設定でフォームをアプリケーションから印刷されるデータの前面に置くか、背面に置くかを設定できます。アプリケーションの種類によって印刷結果は異なるため、一般的な傾向を説明します。

<オーバレイの配置：背面の場合>

結果は、下記の3つのいずれかになります。

<オーバレイの配置：前面の場合>

Windows メタファイルの場合

結果は、下記の3つのいずれかになります。

Windows BMPファイルの場合

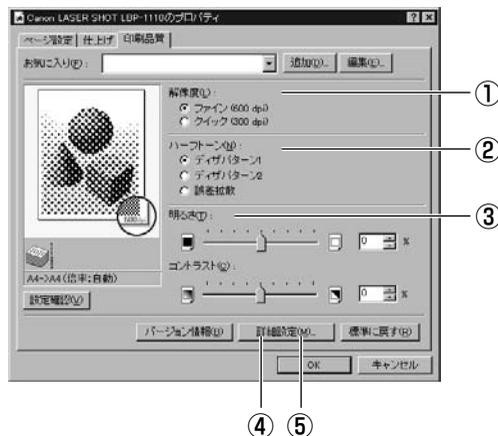
結果は、常に下記のようになります。

[仕上げ] タブ

[仕上げ] タブでは、部単位での印刷を設定できます。

(画面例は、Windows NT 4.0 の場合)

① 部単位で印刷するには
複数ページの原稿を、部単位で印刷するときには、[部単位印刷を行う] チェックボックスをチェックします。

[印刷品質] タブ

[印刷品質] タブでは、次の印刷条件を設定できます。

(画面例は、Windows NT 4.0 の場合)

印刷条件の設定

① 解像度を設定するには

［解像度］ラジオボタンをチェックします。

設定値は、600dpi または 300dpi です。

② ハーフトーンを設定するには

［ハーフトーン］ラジオボタンをチェックします。

③ 明るさ / コントラストを設定するには

［明るさ］スピンボックス、［コントラスト］スピンボックスで、上下カーソルキーをクリックして設定します。また、スライドバーを左右にドラッグしても同様に設定できます。

④ トナー濃度を設定するには

［詳細設定］ボタンをクリックして、［詳細設定］ダイアログボックスを開きます。
［トナー濃度］スライドバーを左右にドラッグして、濃度設定を変更します。

また、[トナー節約モードを使う] チェックボックスをチェックすると、トナー節約ができます。

⑤ スーパースムージングテクノロジーを設定するには
スーパースムージングテクノロジーは、文字や図形などのギザギザを自動的に検知し、より滑らかな処理を行います。設定するには、[詳細設定] ダイアログボックスで、[スーパースムーズを使う] チェックボックスをチェックします。

３つのタブで共通の機能

[ページ設定]、[仕上げ]、[印刷品質] の３つのタブには、次のような共通の機能があります。

① お気に入りについて (→ **P.122 ～ 124**)
② 設定を確認する / 設定を標準値に戻す (→ **P.124**)

① お気に入りについて
[お気に入り] は、[ページ設定]、[仕上げ]、[印刷品質] の３つのタブで設定した印刷条件を、まとめて保存 / 読み込みできる機能です。また、設定を追加・編集・選択することができます。お気に入りは、最大 50 まで設定できます。

印刷条件を [お気に入り] として保存するには、次の手順で行います。
[ページ設定]、[仕上げ]、[印刷品質] のどのタブからでも同じように設定できます。

●お気に入りの新規追加

1

[追加] ボタンをクリックします。

[お気に入りの新規追加] ダイアログボックスが表示されます。

2

[名称] ボックスに、お気に入りの名前を入力します。

[アイコン] リストビューでは、アイコンを選択できます。メモしておきたいことがあれば、[コメント] ボックスに入力します。

印刷条件の設定

3

設定を再確認するには、［設定確認］ボタンをクリックします。

ダイアログが設定確認付きのものに変わります。もう一度、［設定確認］ボタンをクリックすると、元に戻ります。
［OK］ボタンをクリックして、最初のタブに戻ります。

設定したお気に入りの名称が、［お気に入り］プルダウンメニューに追加されていることを確認してください。

（画面例は、Windows NT 4.0の場合）

●お気に入りの編集

お気に入りの名称を変更したり、お気に入り情報をファイルに保存したりするときには、お気に入りを編集します。

1

［編集］ボタンをクリックします。

［お気に入りの編集］ダイアログボックスが表示されます。

2

お気に入り情報を編集します。

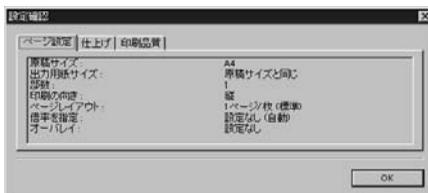
操作の詳細は、知りたい項目の上で右クリックし、[ヘルプ] をクリックしてください。項目についての説明がポップアップ表示されます。

- プリンタの名称を変更すると、保存したお気に入りが読み込めなくなります。名称を元に戻すと、読み込み可能になります。
- ソフトウェアをアンインストールしてもお気に入りは削除されません。
- Windows 95/98/Meで保存したお気に入り情報のファイルは、Windows NT 4.0/2000/XP ではお使いいただけません。

② 設定を確認する／設定を標準値に戻す

[ページ設定]、[仕上げ]、[印刷品質] の各タブで設定した印刷条件を、まとめて確認したり、標準値に戻したりする方法について説明します。

●設定を確認する

[設定確認] ボタンをクリックします。[設定確認] ダイアログボックスが表示されます。
[ページ設定]、[仕上げ]、[印刷品質] の各タブをクリックすると、それぞれのタブで設定した印刷条件が一覧表示されます。
[OK] ボタンをクリックすると、元のタブに戻ります。

また、各タブでは、プレビューが表示されますので、イメージとしても確認できます。

●設定を標準値に戻す

設定を標準値に戻すには、[標準に戻す] ボタンをクリックします。
標準値に戻るのは、[標準に戻す] ボタンと同じダイアログで表示されている条件のみになります。

6 ステータスウィンドウの使い方

ステータスウィンドウは、LBP-1110SEプリンタのステータス（操作状況、印刷ジョブ情報など）を、メッセージ、アニメーション、音声、アイコンなどで表示します。

ステータスウィンドウの機能は、Windows 95/98/MeとWindows NT 4.0/2000/XPで共に共通です。ステータスウィンドウのご使用方法については、第2章「ステータスウィンドウの使い方」（→ **P.66**）をご覧ください。

3

ネットワークプリンタとして使用する

LBP-1110SEをネットワークプリンタとして設定することで、他のパソコンからも印刷することができます。

ネットワークプリンタとしてのご使用方法は、Windows 95/98/MeとWindows NT/2000/XPで共に共通です。第2章「ネットワークプリンタとして使用する」（→ **P.70**）をご覧ください。

8 ソフトウェアのアンインストール

ソフトウェアを削除して、インストール前の状態に戻すことをアンインストールといいます。CAPT ソフトウェアをアンインストールする場合は、次の手順で行います。

1

次に示したファイルやプログラムをすべて閉じてください。

・ヘルプファイル
・ステータスウィンドウ
・コントロールパネル
・その他のアプリケーションプログラム

2

[Canon CAPT Tools] フォルダの [Canon CAPT アンインストーラ] をダブルクリックします。

［Canon CAPT アンインストーラ］ダイアログボックスが表示されます。

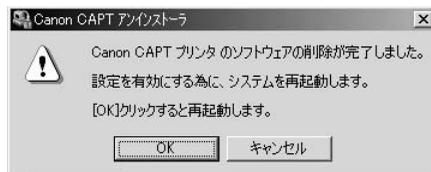
3

[OK] ボタンをクリックします。

アンインストールが実行され、再起動画面が表示されます。

4

[OK] ボタンをクリックします。

Windows が再起動されます。

メモ

● 再度プリンタドライバをインストールする場合は、必ず Windows を再起動する必要があります。

3

- USBポートの削除については、第6章「困ったときには」の「インストールできないときは」（→ **P.157**）をご覧ください。
- ドライバのインストールを正常に終了できなかった際に、インストールをやり直す場合は、アンインストールを行ったあと、もう一度インストールの手順に進んでください（→ **P.80** 印刷するためのマップ）。

- Windows NT 4.0/2000/XPでCAPTソフトウェアをアンインストールするには、Administrators権限が必要です。

4

第4章　Macintosh コンピュータからの印刷

1 ソフトウェアをインストールする

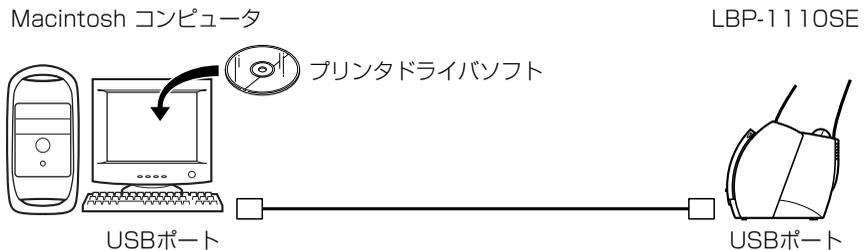
LBP-1110SE を Macintosh コンピュータに接続してお使いになるには、Macintosh コンピュータと本プリンタの USB ポートを接続します。

必要なシステム環境

USB ポートを標準で搭載する機種で、Mac OS 8.1 から９まで、またはMac OS 10.1 から 10.2.3（ネイティブ）までのいずれかの OS が動作している必要があります。

USB ポートに接続する（簡易インストール）

USB（Universal Serial Bus）は、コンピュータ本体と周辺機器を接続するための新しい規格です。
レーザショット用プリンタドライバソフトをMacintosh コンピュータにインストールし、USB ケーブルを接続します。

4

- 感電防止のため、USB ポートを接続する前には必ずアースコードを接続してください。ただし、絶対にガス管や水道管、電話線のアース、避雷針などに接続しないでください。火災や感電の原因になります。
- USB ケーブルを接続したり抜いたりするとき、プラグの金属部分に触れないでください。感電の原因になることがあります。

- MacOSX については「お読みください」を参照してください。
- MacOS8.1 搭載の iMac（M6709J/A）において USB 接続で印刷する場合、「iMac アップデート 1.0」で iMac のシステムフォルダ内の「Mac OS ROM」をアップデートする必要があります。「iMac アップデート 1.0」は、Apple Computer 社のホームページで配布されております。
- MacOS8.5またはMacOS8.5.1搭載のiMac（M6709J/A、M6709J/B）においてUSB接続で印刷する場合、「iMac Firmware Update」および「iMacアップデート1.1」は、Apple Computer 社のホームページで配布されております。

ソフトウェアをインストールする

● Mac OS 8/9 の場合

1

LBP-1110SE と Macintosh コンピュータを USB ケーブルで接続します。

2

本プリンタの電源をオンにします。

3

Mac OS 9 以降でマルチユーザ機能をご利用の場合は、「所有者」ユーザでログインします。その他の場合は次の手順に進みます。

4

Finder 以外のアプリケーションを終了します。

5

本プリンタ付属の CD-ROM「User Software for LBP-1110」を CD-ROM ドライブに入れます。

6

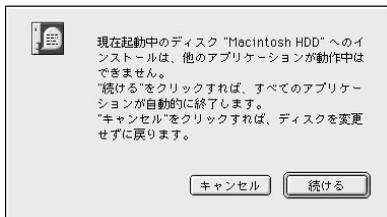
CD-ROM のアイコンを開き、「Installer」（インストーラ）のアイコンをダブルクリックします。

インストーラ画面が表示されます。

7

［インストール］ボタンをクリックすると、インストールを開始します。

4

● 他のアプリケーションソフトを使用しているときは、次の画面が表示されます。インストールを続けるときは「続ける」をクリックします。[キャンセル] をクリックするとインストールを中止します。

8

インストールを終了すると再起動を指示するメッセージが表示されますので、必ずMacintosh コンピュータを再起動してください。

9

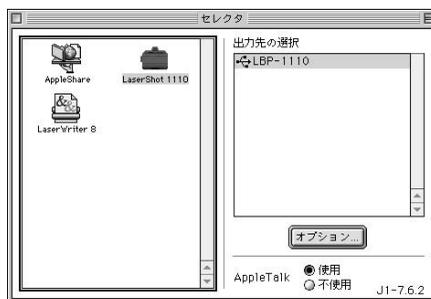
再起動後、アップルメニューのセレクタを開きます。

10

本製品のプリンタドライバをクリックし、「出力先の選択」よりUSBポートに接続したプリンタを選択します。

11

セレクタを閉じます。

4

ソフトウェアをインストールする

12

OK をクリックします。

お願い

- ファイルを選択してインストールする方法や、プリンタドライバの詳しい操作方法については、付属のCD-ROM「User Software for LBP-1110」に収録されているオンラインマニュアルの「カスタムインストールについて」をご覧ください。
- オンラインマニュアル（PDF）をご覧になるには、Adobe Acrobat Reader が必要です。Adobe Acrobat Readerは、付属のCD-ROM「User Software for LBP-1110」に収録されています。
- お使いのパソコンに対応したUSBケーブルがおわかりにならない場合は、パソコンを購入された販売店にお問い合わせください。
- Mac OS 8/9用のプリンタドライバについてのご質問は下記のサポートセンターにお問い合わせください。

新潟キヤノテック株式会社
ユーザサポートセンター　　　TEL 025（244）6445
月曜～金曜：　10：00～12：00、13：00～17：00
土曜・日曜・祝祭日　弊社は休ませていただきます。
FAX 025（244）8561（24 時間受付）

4

● Mac OS X の場合

1

本プリンタと Macintosh コンピュータを USB ケーブルで接続します。

2

本プリンタの電源をオンにします。

3

マルチユーザ機能をご利用の場合は、「管理者」ユーザでログインします。

マルチユーザ機能をご利用でない場合は次の手順に進みます。

4

Finder 以外のアプリケーションを終了します。

5

キャノンホームページ（http://canon.jp/）からダウンロードした[mxcapt110.dmg.gz]アイコンをダブルクリックし、解凍します。

解凍され、ディスクトップに[mxcapt110.dmg]が表示されます。

6

[mxcapt110.dmg]をダブルクリックします。

ディスクトップに[CAPT Printer Driver]アイコンが表示されます。

7

[CAPT Printer Driver]のアイコンを開き、[プリンタドライバMacOSX] フォルダを開きます。

8

[Installer]（インストーラ）のアイコンをダブルクリックします。

［認証］画面が表示されます。

9

管理者の名前とパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

［ライセンス］画面が表示されます。

10

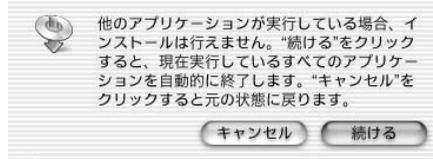
[同意］をクリックします。

11

リストの［簡易インストール］を選択して[インストール］をクリックすると、インストールを開始します。

ソフトウェアをインストールする

メモ

他のアプリケーションソフトを使用しているときは、次の画面が表示されます。インストールを続けるときは「続ける」をクリックします。[キャンセル] をクリックするとインストールを中止します。

12

インストールを終了すると再起動を指示するメッセージが表示されますので、必ず Macintosh コンピュータを再起動してください。

13

Print Center (Mac OS 10.2以降はプリントセンター) の [プリンタリスト] 画面を開き、[LASER SHOT LBP-1110] が選択されていることを確認します。

お願い

- プリンタドライバの詳しい操作方法についていは、ドライバインストール後、[Library] (Mac OS 10.2 以降の場合は[ライブラリ]) - [Printers] 内に作成される [Canon] - [CAPT] - [Manual] 内の「オンラインマニュアル」をご覧ください。
- オンラインマニュアル (PDF) をご覧になるには、Adobe Acrobat Reader が必要です。Adobe Acrobat Reader は、付属の CD-ROM「User Software for LBP-1110」に収録されています。
- Mac OS X 用プリンタドライバについてのご質問は、巻末の「キヤノンお客様ご相談窓口」にお問い合わせください。
- お使いのコンピュータに対応した USB ケーブルがおわかりにならない場合は、コンピュータを購入された販売店にお問い合わせください。

2 ソフトウェアのアンインストール

ソフトウェアを削除して、インストールの前の状態に戻すことをアンインストールといいます。ソフトウェアをアンインストールする場合は、次の手順で行います。

● Mac OS 8/9 の場合

1

本プリンタに付属の CD-ROM「User Software for LBP-1110」を CD-ROM ドライブにセットします。

2

CD-ROM のアイコンを開き、[Installer]（インストーラ）のアイコンをダブルクリックします。

3

[削除] をクリックします。

● Mac OS X の場合

1

「USB ポートに接続する（簡易インストール）」の「Mac OS X の場合」（→ **P.133**）の手順 1 ～ 4 を行い、続けて手順 7 ～ 10 を行います。

2

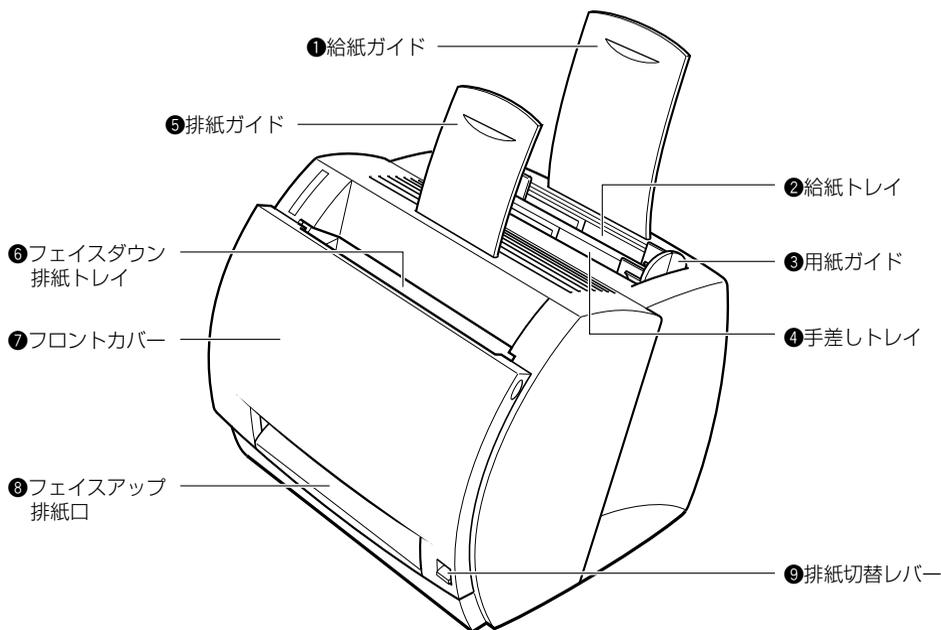
リストの [アンインストール] を選択し、[アンインストール] をクリックします。

5

第5章　知っておきたい操作と機能

1 各部の名称と機能

LBP-1110SEをお使いいただく上で、知っておきたい各部の名称と機能について説明します。

本体前面

❶ 給紙ガイド
用紙をセットするときに用紙が折れたりしないように補助します（→ **P.8**）。

❷ 給紙トレイ
用紙をセットするトレイです。普通紙（64g/㎡）で最大125枚までの用紙をセットすることができます（→ **P.9**）。

❸ 用紙ガイド
用紙が真っ直ぐに送られるように、用紙の幅に合わせます。

❹ 手差しトレイ
用紙を1枚ずつ手差しで印刷するときに使用するトレイです（→**P.11**）。

❺ 排紙ガイド
用紙が真っ直ぐに排紙されるように補助します（→**P.8**）。

❻ フェイスダウン排紙トレイ
フェイスダウンで印刷するときに、用紙はここに排紙されます（→ **P.15**）。

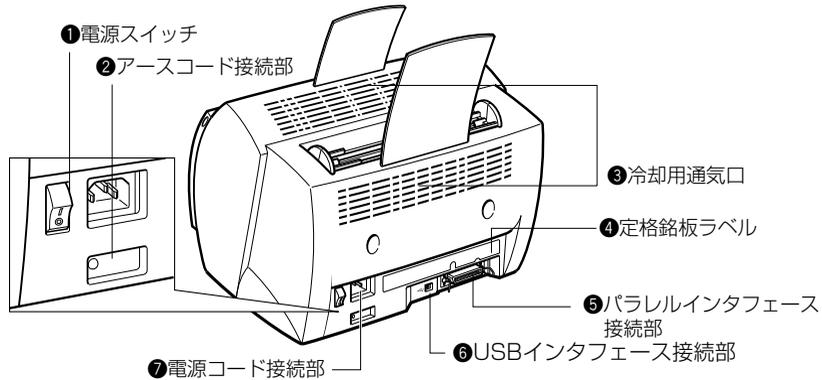
❼ フロントカバー
トナーの交換や紙づまりを除去するときに開きます。

❽ フェイスアップ排紙口
フェイスアップで印刷するときに、用紙はここから排紙されます（→ **P.15**）。

❾ 排紙切替レバー
フェイスアップ排紙とフェイスダウン排紙を切り替えます（→ **P.14**）。

5

各部の名称と機能

本体背面

❶ 電源スイッチ
プリンタの電源をオン／オフします。

❷ アースコード接続部
アースを接続するときに、付属のアースコードを接続します（→ **P.22**）。

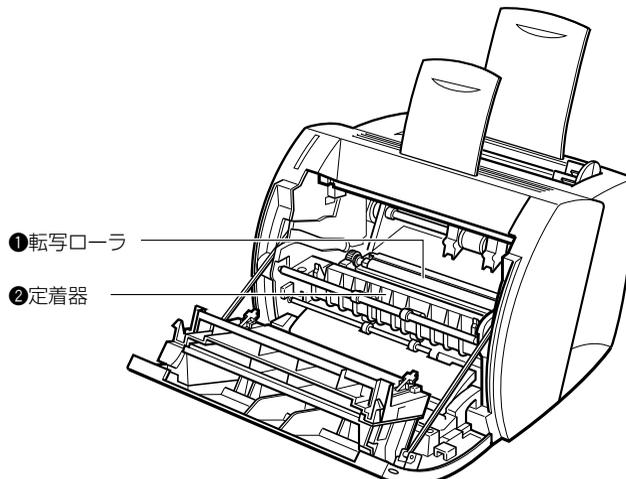
❸ 冷却用通気口
プリンタ本体を設置する際に、通気口をふさがないように注意してください。

❹ 定格銘板ラベル
明示されている電流値は、平均消費電流値です。

❺ パラレルインタフェース接続部
セントロニクス準拠のパラレルインタフェースケーブルの接続部です。パソコンのプリンタポートに接続します（→ **P.21**）。

❻ USB インタフェース接続部
USB インタフェースの接続部です。パソコンなどの USB ポートに接続します（→ **P.20**）。

❼ 電源コード接続部
付属の電源コードを接続します（→ **P.23**）。

本体内部

❶ 転写ローラ
プリンタの重要部品です。絶対に手を触れないでください。指紋や傷などがつくと、印字品質が低下し、サービス交換が必要になります（→ **P.156**）。

❷ 定着器
トナーを用紙に定着させます（→ **P.156**）。

封筒やはがきに印刷する

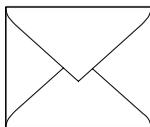
封筒、はがきに印刷するときの、セット方法や印刷設定について説明します。

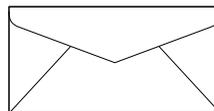
- 一回の印刷の枚数は、ハガキや幅が 182mm 未満の用紙を連続で印刷する場合は 45 枚、封筒は 40 枚までにしてください。それ以上の枚数の印刷を連続で行う場合は、30 分以上の休止時間を設け、プリンタ本体を十分に冷却してから印刷を再開してください。冷却が不十分なまま印刷を再開した場合には、本体内部の定着器周辺が昇温し、プリンタが故障する恐れがあります。

- 長さがB5サイズ以下の用紙を連続で印刷する場合に、定着器を保護するためプリント速度が落ちることがあります。

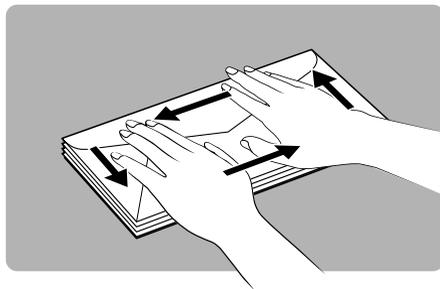
封筒をセットする

LBP-1110SE で封筒に印刷する場合は、次のようにセットします。
本プリンタで使用できる封筒は「洋形２号」および「洋形４号」で、図のような構造のものに限られます。

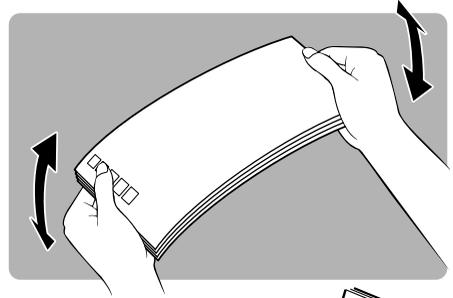
洋形2号

洋形4号

（推奨品）　Canon LBP専用封筒Y-201（114×162mm）　Canon LBP専用封筒Y-401（105×235mm）

- 洋形２号および洋形４号以外の封筒には、うまく印刷できないことがあります。
- 封筒の裏面には印刷しないでください。
- 封筒の周囲 10mmより内側の範囲にプリントできます。お使いのアプリケーションによっては、印字位置をずらしてお使いください。

1

封筒の周囲を押さえて、きちんと折り目をつけます。

封筒やはがきに印刷する

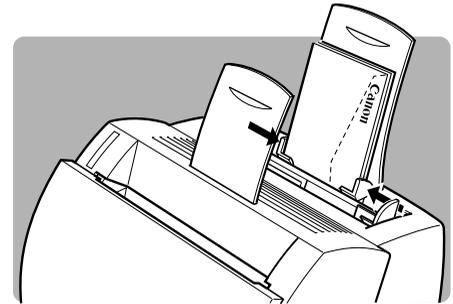
2

封筒の両端をもって、上下に動かし封筒をさばきます。

3

封筒の端を揃えてトレイにセットします。

印字面を正面に向け、上端を下に、フラップ部分を右に向けてセットします。
給紙トレイには、約７枚までセットできます。

4

封筒のサイズに合わせて、左右の用紙ガイドを移動させます。

- 手差しトレイをお使いになる場合は、封筒を１枚ずつセットしてください。
- 排紙方法は、必ずフェイスアップ排紙をお使いください。

印刷設定について（封筒の場合）

1

［Canon LASER SHOT LBP-1110 のプロパティ］ダイアログボックスを開きます。

2

［ページ設定］タブをクリックして表示します。

（画面例は、Windows 95/98/Me の場合）

3

［原稿サイズ］を、セットしている封筒に合わせて、［洋形４号］または［洋形２号］に設定します。

［出力用紙サイズ］は、［原稿サイズと同じ］にします。

はがきをセットする

はがきに印刷する場合は、次のようにセットします。

お願い

- 官製はがき以外のはがきへの印刷は、印字品質が低下したり、紙づまりの原因となることがあります。

1

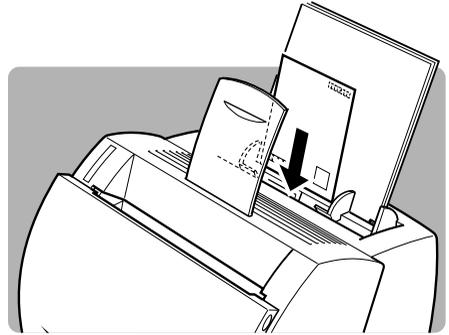
はがきをよくさばきます。

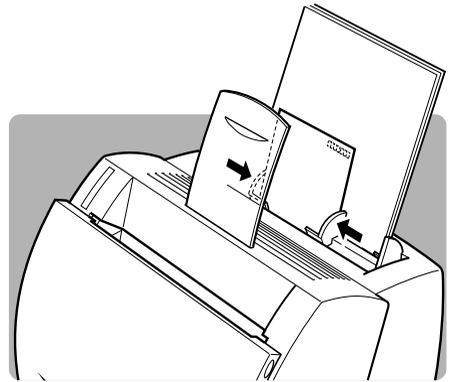
はがきに反りがある場合は、反りをとってください。

封筒やはがきに印刷する

2

はがきを1枚ずつ、手差しトレイにセットします。

印字面を正面に向け、上端を下に向けてセットします。
セットした後、はがきを手差しトレイの奥に向けて軽く押してください。

3

はがきのサイズに合わせて、左右の用紙ガイドを移動させます。

印刷設定について（はがきの場合）

1

［Canon LASER SHOT LBP-1110 のプロパティ］ダイアログボックスを開きます。

2

［ページ設定］タブをクリックして表示します。

（画面例は、Windows 95/98/Me の場合）

5

3

［原稿サイズ］を、［はがき］に設定します。

［出力用紙サイズ］は、［原稿サイズと同じ］にします。

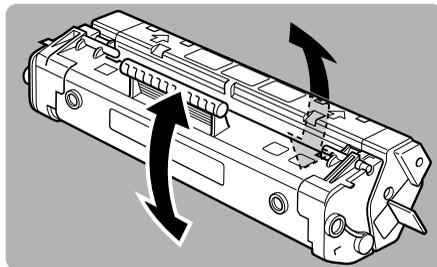
5

トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジは消耗品なので、トナーが不足すると用紙の縦方向に印字のカスレやムラが出ることがあります。このような症状がでたら、次の手順でトナーカートリッジを交換します。LBP-1110SEでは、トナーカートリッジとして「EP-22 カートリッジ」を使用します。

トナーカートリッジの寿命をのばす

トナーカートリッジを交換する前に、トナーカートリッジをゆすってかたよったトナーを均一にします。このことで、多少トナーカートリッジの寿命をのばすことができます。それでも同じ症状が出るときは、トナーカートリッジを交換してください。

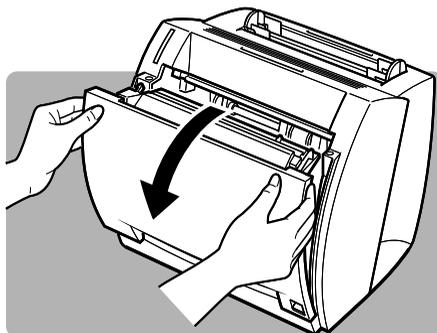
■トナーカートリッジをプリンタから取り出し、図のような方向にゆっくりと5〜6回ゆすり、再びプリンタに取り付けます。

メモ

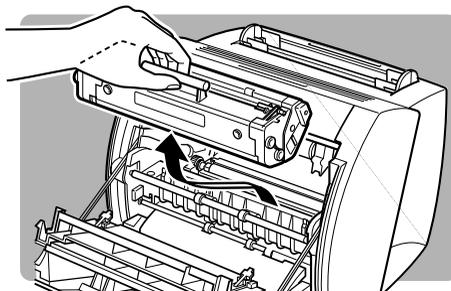
- トナーカートリッジの寿命は、A4 原稿（印字比率 5%、印刷濃度が工場出荷時の初期設定値の場合）で約2,500枚です。ただし、印刷する文書によって、トナーの消費量は異なります。例えば、複雑なグラフィックデータなど、白紙部分の少ない書類を印刷することが多い場合は、寿命がもっと短くなります。

トナーカートリッジの交換

1

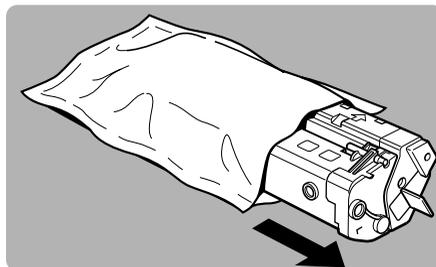
フロントカバーを開きます。

2

トナーカートリッジを取り出します。

トナーカートリッジのハンドルを手前上方に引いたあと、回転させながら引き出します。

警告

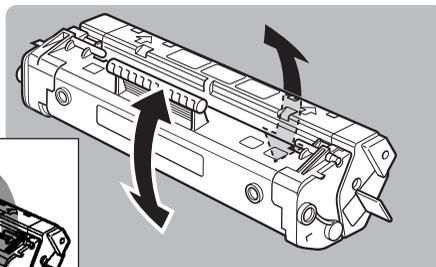
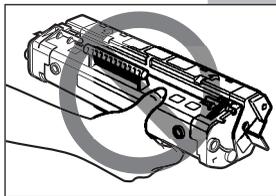
● 使用済みのトナーカートリッジは、絶対に火の中に投じないでください。カートリッジ内に残ったトナーに着火してやけどや火災の原因になります。

3

新しいトナーカートリッジを保護袋から取り出します。

お願い

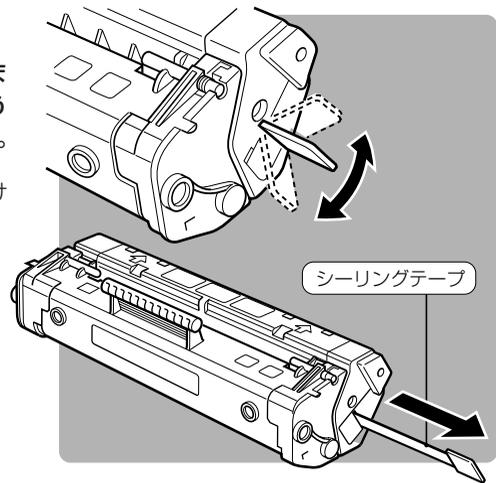
● トナーカートリッジが入っていた保護袋は、メンテナンスや修理でプリンタからトナーカートリッジを取り出す際に遮光のために必要となりますので、捨てずに保管しておいてください。

4

図のような方向にトナーカートリッジをゆっくりと５～６回ゆすり、内部のトナーをならします。

トナーカートリッジを交換する

5

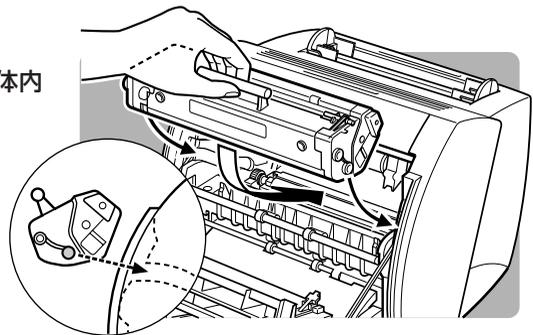
トナーカートリッジを平らな場所に置きます。シーリングテープのタブを矢印のように数回折り曲げた後、水平に引き抜きます。

斜めや下向きに引くと、途中で切れて引き抜けなくなることがあります。

お願い

- シーリングテープは必ず図のような方向に引き抜いてください。斜めや下向きに引くと、途中で切れて完全に引き抜けなくなることがあります。引き抜いたテープは廃棄してください。

6

トナーカートリッジの左右の突起を本体内部のガイドに合わせて押し込みます。

奥に突き当たったら、トナーカートリッジのハンドルを下から奥へ強く押し込み、カチッとロックされたことを確認します。

7

フロントカバーを閉じます。

使用済みトナーカートリッジ回収のお願い

キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みトナーカートリッジの回収を推進しています。
この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。
つきましては、キヤノンによる“環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、ご使用済となったトナーカートリッジを、お近くの回収窓口までお持ちくださいますようお願いいたします。
キヤノン販売ではご販売店の協力の下、全国に2000拠点をこえる回収窓口をご用意いたしております。
また回収窓口に店頭用カートリッジ回収スタンドの設置を順次進めております。
回収窓口につきましては、下記のキヤノンのホームページ上で確認いただけます。
キヤノンサポートページ　canon.jp/support
事情により、回収窓口にお持ちになれない場合は、使用済みトナーカートリッジをビニール袋などに入れ、地域の条例に従い処分してください。

クリーニング

トナーカートリッジを交換したときは、クリーニングを行います。

1

A4 またはレターサイズの白紙を給紙トレイにセットします。

2

ステータスウィンドウの、[オプション] メニューをクリックし、プルダウンメニューから [クリーニング] を選択します。

トナーカートリッジを交換する

3

クリーニングが始まります。

ステータスウィンドウには、［クリーニング中です］のメッセージが表示されます。
用紙が排出され、メッセージが消えれば、終了です。

お願い

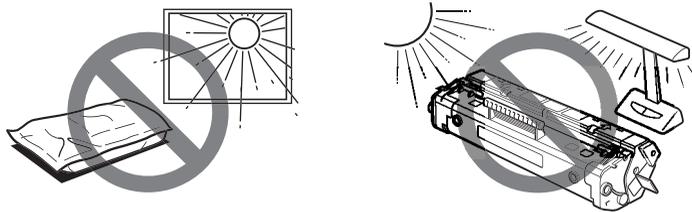
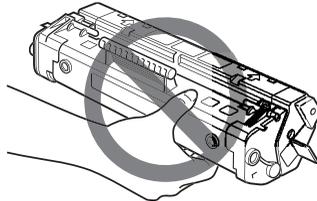
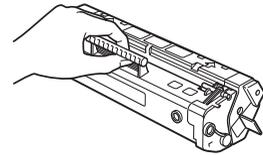
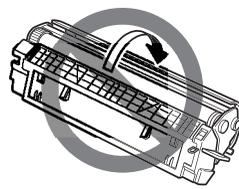
- クリーニングは、印刷中、印刷の一時停止中には行えません。
- クリーニング中は、クリーニングページの印刷を中止できません。
- Mac OS X をお使いの場合は、ドライバインストール後[Library]（Mac OS 10.2 以降の場合は［ライブラリ］）-[Printers]内に作成される[Canon]-[CAPT]-[Manual]内の「オンラインマニュアル」をご覧ください。
- オンラインマニュアル(PDF)をご覧になるにはAdobe Acrobat Readerが必要です。Adobe Acrobat Reader は付属の CD-ROM「User Software for LBP-1110」に収録されています。
- Mac OS 8/9 をお使いの場合は、クリーニングはご利用いただけません。

トナーカートリッジ取り扱いのご注意

トナーカートリッジは、光に敏感な部品や精密な部品で構成されています。トナーカートリッジの取り付けや取りはずしの際には、次のような点に注意してください。

お願い

- プリンタに取り付けるまで、保護袋は開けないでください。
- 絶対に直射日光や強い光に当てないでください。

5

- プリンタの修理や紙づまり処理のためにトナーカートリッジを本体から取り出したときには、すみやかに厚い布で包むか、カートリッジが入っていた保護袋に入れてください。
- 感光ドラムを手で触ったり、ドラムに傷が付くと印字品質が劣化しますので、絶対にドラム保護シャッターを開けないでください。

- 立てたり、裏返したりしないでください。必ずハンドルが上を向くようにして取り扱ってください。

- 絶対に分解や改造などをしないでください。
- トナーカートリッジは磁気製品です。イメージデータを破損する恐れがありますので、パソコン本体やディスプレイなどに近づけないでください。
- フロッピーディスクやディスクドライブなど、磁気を嫌う製品にも近づけないでください。
- トナーカートリッジを急激な温度変化にさらすと、内部や外部に水滴が付着する（結露）ことがあり、印字品質が劣化します。寒い場所に保管してあった新品のトナーカートリッジを暖かい場所で取り付けるときなど、保護袋を開封せずに１時間以上置き、周囲の温度に慣らしてから開封してください。
- 交換用に購入したトナーカートリッジは、パッケージに記載された有効期間内にお使いください。
- 交換用のEP-22 トナーカートリッジは、キヤノン純正品をお使いになることをおすすめします。

5

- 使用済みのトナーカートリッジは、絶対に火の中に投じないでください。カートリッジ内に残ったトナーに着火してやけどや火災の原因になります。

- 万一、トナーが手や衣服についたら、すぐに水で洗い流してください。
  熱いお湯で洗うと、トナーが融着して取れなくなる恐れがあります。

トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジの保管について

交換用にお求めになったトナーカートリッジや、修理や移動時に取り出したトナーカートリッジは、次のような点に注意して保管してください。

お願い

- 新品のトナーカートリッジは、実際にお使いになるときまで保護袋から取り出さないでください。
- 立てたり、裏返しにしないでください。プリンタにセットするときと同じ向きで保管してください。
- 直射日光の当たる場所は避けてください。
- 高温多湿の場所や、温度変化の激しい場所は避けてください。
  保管温度範囲：0 ～ 35℃
  保管湿度範囲：35 ～ 85%RH（相対湿度・結露しないこと）
- アンモニアなど腐食性のガスが発生する場所や、空気に塩分が多く含まれている場所、ほこりの多い場所での保管は避けてください。
- フロッピーディスクやディスプレイ、パソコン本体など、磁気を嫌う製品の近くには置かないでください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

メモ

- 結露とは：
  保管湿度範囲内でも、外気との温度差によってトナーカートリッジ外部や内部に水滴が付着することがあります。この、水滴が付着する状態を結露といいます。結露は印字品質を劣化させます。

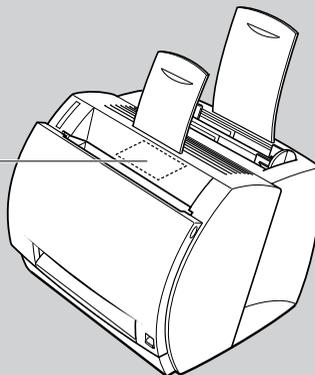
5

注意

● レーザ光について

レーザ光は人体に有害となる恐れがあります。そのため本プリンタでは、レーザ光はレーザスキャナユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザ光が漏れる心配は全くありません。
安全のため次の注意事項を必ずお守りください。

・本書で指示された以外のカバーは絶対に開けないでください。
・レーザスキャナユニットのカバーに貼ってある注意ラベル（下図参照）をはがさないでください。

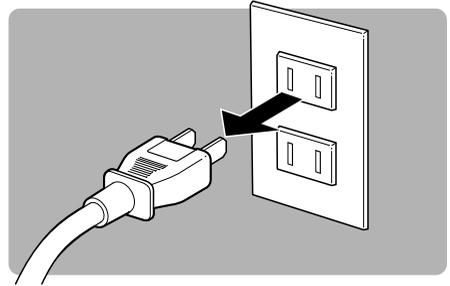
万一レーザ光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因となることがあります。
レーザ光は目に見えませんので、注意が必要です。

上記のラベルは、安全規格に適合するため、お客様からは見えない位置に貼ってあります。製品をお使いになるうえで、確認していただく必要はありません。本プリンタを分解することは絶対におやめください。

5

4 プリンタのお手入れについて

LBP-1110SEを長期間お使いいただいている間に、本体外部にほこりや汚れが付着したときは、プリンタを清掃してください。

1

清掃する前に、必ず電源スイッチをオフにし、電源コードをコンセントから抜きます。

2

水または中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたく絞ってから拭いてください。

中性洗剤をお使いのときは、必ずあとから水を含ませた柔らかい布で洗剤を拭き取ってください。また、汚れが落ちたら、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。

お願い

- 本体のプラスチックが変質することがありますので、絶対に水または中性洗剤以外のクリーニング溶液をお使いにならないでください。
- 本プリンタには注油の必要はありません。絶対に注油しないでください。
- 本体の塗装がはがれることがありますので、絶対に強くこすらないで下さい。

第6章　困ったときには

1 エラーチェックリスト

LBP-1110SEを使用中に異常が発生したら、次の手順にしたがってチェックしてください。

1　正常にドライバのインストールができたか？

USBポートに接続する（→**P.19**）
USBクラスドライバのインストールが正常にできないときは（→**P.157**）
ソフトウェアのアンインストール（→**P.80、126**）

2　パソコンと正常に接続されているか？

パソコンとの接続をチェックする（→**P.19**）

3　LBP-1110SEの電源はオンになっているか？

電源コード、電源スイッチをチェックする（→**P.23**）

4　ステータスウィンドウにエラーが表示されていないか？

ステータスウィンドウに表示される対処法や、オンラインヘルプに基づいて対処する

5　印刷ダイアログにLBP-1110が表示されるか？

ソフトウェアを再インストールする（→**P.32、82**）
インストール時のトラブル（→**P.173**）

6　LBP-1110トラブルシュータでエラーが表示されないか？

各種設定をチェックする（Windows 95/98/Me、Windows NT 4.0/2000/XP→**P.175**）

7　印刷されるが、印刷結果がおかしい

印刷設定をチェックする（Windows 95/98/Me→**P.51**、Windows NT 4.0/2000/XP→**P.108**）
印字品質のトラブル、正しく印刷できない（→**P.170、171**）

8　印刷できない

印刷できない（→**P.171、172**）

インストールできないときは

「USBクラスドライバ」と「LBP-1110プリンタドライバ」のインストールが正常にできない場合について説明します。

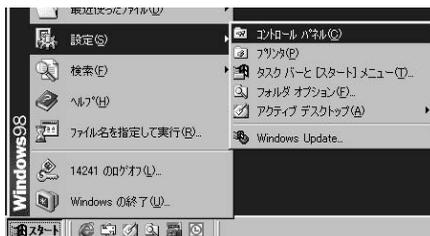
USB クラスドライバのインストールが正常にできないときは

1

USBケーブルでパソコンとプリンタが接続され、プリンタの電源が入っていることを確認します。

2

［スタート］メニューの［設定］から、［コントロールパネル］を選択します。

Windows XPの場合は、[スタート]メニューから[コントロールパネル]を選択します。

3

［システム］アイコンをダブルクリックします。

Windows XPの場合は、[パフォーマンスとメンテナンス]を選択し、[システム]アイコンをクリックします。

4

［システムのプロパティ］ダイアログボックスを表示させ［デバイスマネージャ］タブをクリックし、［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］をダブルクリックします。

Windows 2000/XPの場合は、［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイスマネージャ］をクリックしてください。

5

[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]の下にある以下のUSBクラスドライバのみを削除します。

Windows 98の場合、[Canon LASER SHOT LBP-1110]を選択して[削除]ボタンをクリックします。

Windows Meの場合、[Canon CAPT USB Printer]を選択して[削除]ボタンをクリックします。

Windows 2000/XPの場合、[USB印刷サポート]または[Canon CAPT USB Printer]を表示させ、[操作]メニューの[削除]を選択し削除します。

- USBクラスドライバが[その他のデバイス]の下にある場合も、正常にインストールされていません。ご使用のOSに応じて、[Canon LASER SHOT LBP-1110]、[Canon CAPT USB Printer]、または[不明なデバイス]のいずれかを選択して削除してください。
- 他の項目は、絶対に削除しないでください。誤って削除した場合は、Windowsが正常に動作しなくなることがあります。

[デバイス削除の確認]ダイアログボックスが表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。

6

[閉じる]ボタンをクリックします。

7

[コントロールパネル]を閉じます。

インストールできないときは

8

USB ケーブルをパソコンより外します。

9

Windows 98/Me/2000/XP を再起動します。

再起動が終了したら第２／３章「ローカルプリンタとしてインストールする（USB ポートをお使いの場合）をご覧になってインストールしてください（→ **P.32**、**82**）。

- ドライバのインストールを正常に終了できなかった際に、インストールをやり直す場合は、ソフトウェアのアンインストール（→ **P.78**、**127**）を行ったあと、もう一度インストールの手順に進んでください（→ **P.30**、**80** 印刷するためのマップ）。

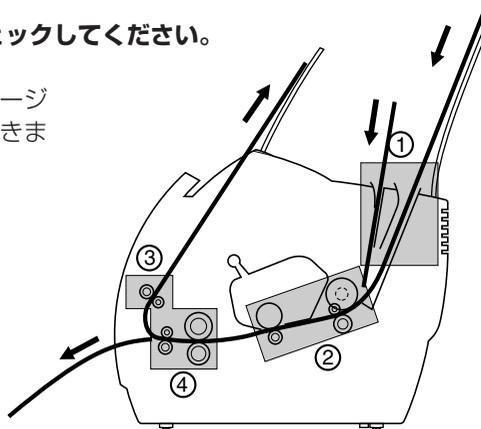
3 紙づまりが起きたら

印刷中に紙がつまると、ステータスウィンドウに次のように表示されます。

この場合、紙づまり位置を確認し、つまった用紙を取り除きます。

紙づまり位置を確認する

紙づまりが起きたら、次の各部をチェックしてください。

紙づまり位置が確認できたら、参照ページの手順に従い、つまった用紙を取り除きます。

① 給紙エリア （→P.163）
② 給紙～転写 エリア （→P.165）
③ フェイスダウンエリア （→P.166）
④ 定着～フェイスアップエリア （→P.167）

必要に応じて、トナーカートリッジを取り出してください（→ **P.161**）。

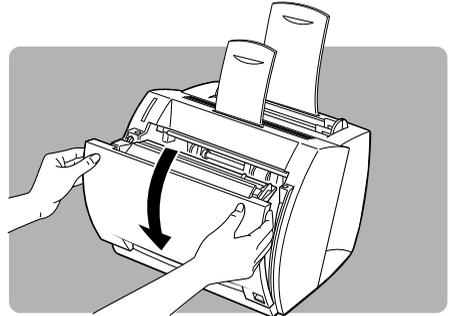
紙づまりが起きたら

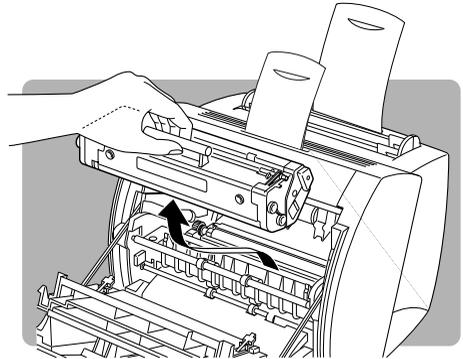
トナーカートリッジの取り出し方

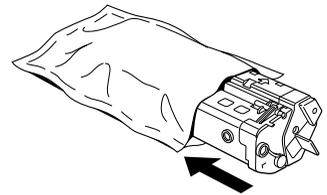
1

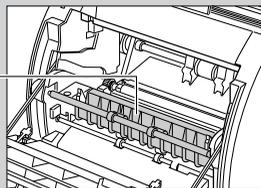
フロントカバーを開きます。

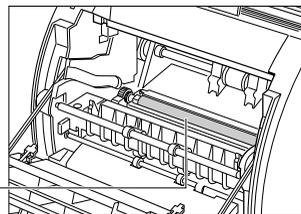
給紙トレイやフェイスダウン排紙トレイに用紙がある場合は、先に取り除きます。

2

トナーカートリッジを取り出します。

トナーカートリッジのハンドルを手前上方に引いたあと、回転させながら引き出します。

お願い

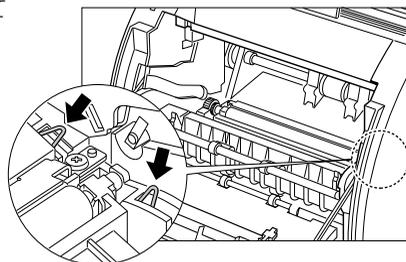
● 用紙の取り出しに時間がかかりそうなときは、遮光のため、トナーカートリッジは保護袋に入れるか、または厚手の布で包んでください。

注意

- プリンタ使用中は定着器が高温になっています。本体内部を点検するときは、手で触れないように注意してください。万一触れると、やけどをする恐れがあります。

- プリンタ内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレット、指輪、時計など金属物がプリンタ内部に触れないようにしてください。やけどや感電の原因になることがあります。

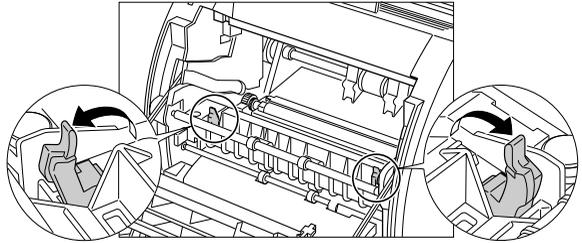
- つまった用紙を取り除くときは、転写ローラに触れないように注意してください。転写ローラに指紋や傷などがつくと印字品質が低下し、サービス交換が必要になります。

注意

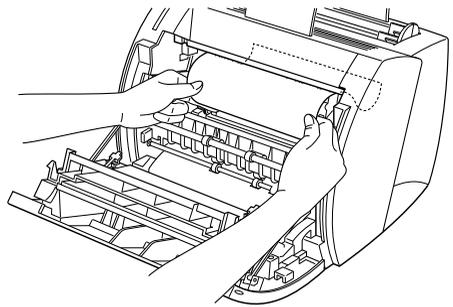
- つまった用紙を取り除くときは、トナーが手や衣服につかないように注意してください。
  万一ついた場合は、すぐに水で洗い流してください。熱いお湯で洗うと、トナーが融着してとれなくなる恐れがあります。

- 転写ローラの右端にあるピンに触れないようにしてください。プリンタの故障の原因になります。

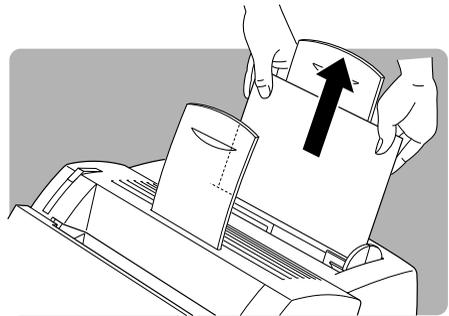
6

紙づまりが起きたら

お願い

● プリンタの故障を避けるために、フロントカバーを開いたときに、用紙リリースレバー（白色）が解除されている（手前に倒れている）ことを確認してください。解除されていないときは、フロントカバーを閉じて、再度開いてください。用紙リリースレバーが自動的に解除されます。もしも、解除されない場合は、左右の用紙リリースレバーの先端を指でつまみ、少しだけ前側へ引いて解除してください。

お願い

● つまった用紙を取り除くときは、用紙を両手で持ってください。

①　給紙エリアでの紙づまり

<用紙の１部がつまっているとき>

給紙トレイに残っている用紙の上端を両手で持ち、まっすぐ上に向けてゆっくりと丁寧に引いてください。

お願い

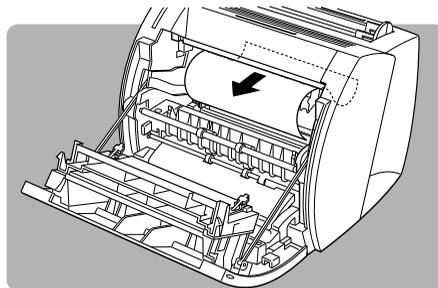
● 用紙を引くときに、用紙がちぎれないように注意してください。
ちぎれてしまったときは、プリンタから用紙の破片を取り除いてください。

<用紙が全部つまっているとき>

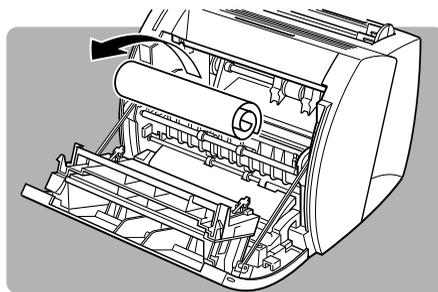
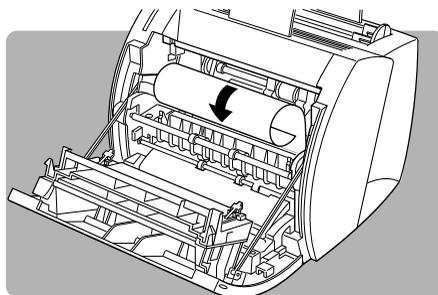
1

トナーカートリッジの取り出し方（→ P.161）の手順通りに、トナーカートリッジを取り出します。

2

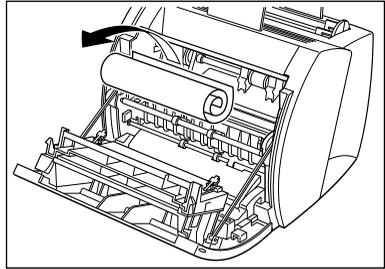
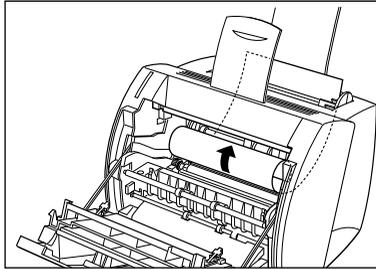
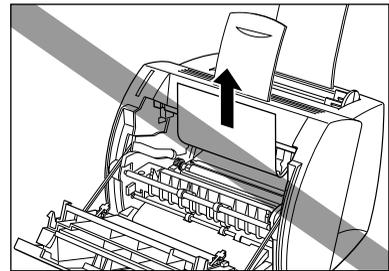
用紙を両手で手前に向けて丁寧に引き出します。

3

引き出した用紙の先端を手前内側へ丸めます（印字面が内側になります）。

丸めた用紙を丁寧にプリンタから引き出します。

4

用紙の上端が見えていて、イメージングエリアに送られていないときは、用紙を手前に引き出し、内側に丸めます。

紙づまりが起きたら

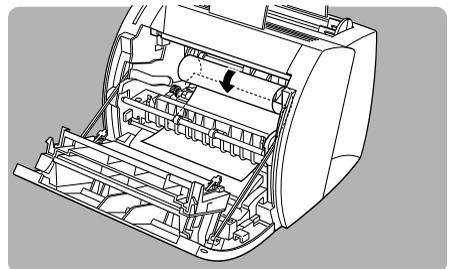
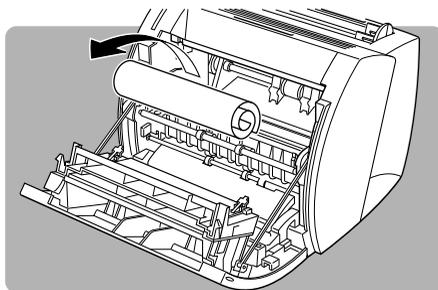
- つまった用紙を、給紙トレイから上に向けて引っ張らないようにしてください。プリンタ故障の原因になります。
- 用紙は、丁寧にゆっくりと引き出してください。

- つまった用紙を真上に引き出さないようにしてください。用紙上のトナーがプリンタ内部に汚れや傷をつけ、印字品質を低下させます。

つまった用紙をすべて取り出したら、カートリッジをセットし、フロントカバーを閉じます。
用紙リリースレバーは自動的に元の位置に戻ります。

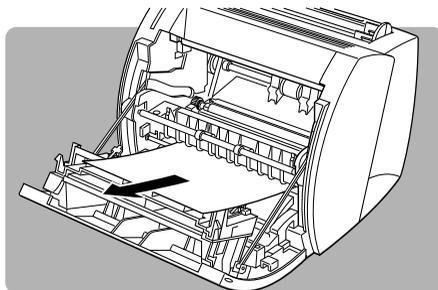
② 給紙～転写エリア付近での紙づまり

トナーカートリッジの取り出し方（→ **P.161**）の手順通りに、トナーカートリッジを取り出します。

<用紙の下端が見えているとき>

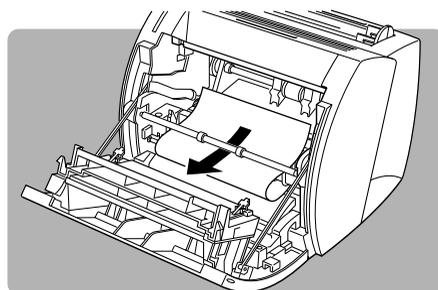
イメージングエリアから用紙を後ろの方へ引き出せるように、用紙の下端を内側に丸めていきます（印字面が内側になります）。

6

丸めた用紙をプリンタから丁寧に引き出します。

<用紙の下端が見えないとき>

つまった用紙を前側へゆっくりと丁寧に引き出します。

③ フェイスダウンエリアでの紙づまり

トナーカートリッジの取り出し方（→ **P.161**）の手順通りに、トナーカートリッジを取り出します。

1

用紙の上端が現れるまで、用紙をフェイスダウン排紙ローラの間から丁寧に引き出します。

2

ローラの間から用紙の残りをゆっくりと引き出します。

お願い

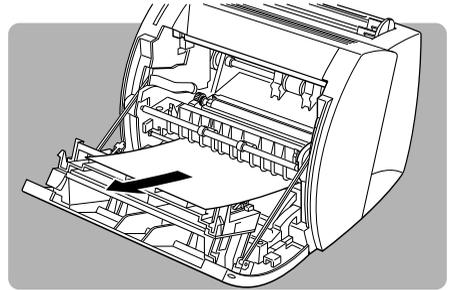
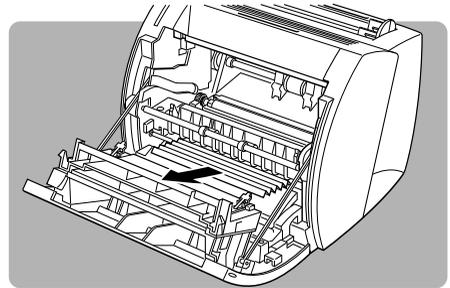
- 用紙がフェイスダウン排紙ローラの後ろに隠れているときは、用紙を前側に引っ張らないようにしてください。フェイスダウン排紙ローラが破損することがあります。

紙づまりが起きたら

④ 定着〜フェイスアップエリアでの紙づまり

トナーカートリッジの取り出し方（→ **P.161**）の手順通りに、トナーカートリッジを取り出します。

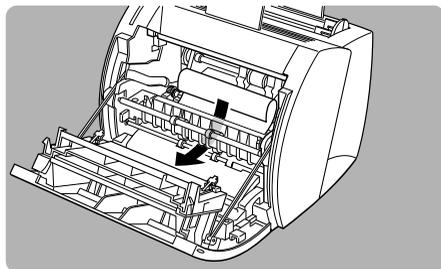
<用紙の上端が見えているとき>

プリンタがぐらつかないようにしながら、用紙を真っ直ぐ水平に慎重に引き出します。

用紙が折りたたまれて蛇腹のようになっているときは、折りを伸ばしてから引き出してください。

<用紙の上端が見えないとき>

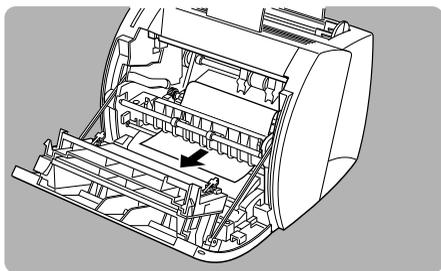
定着器内部のローラを包むように用紙がつまっているときは、用紙の上端にも下端にも容易に触れないことがあります。
このようなときは、次の手順にしたがって、つまった用紙を取り除いてください。

- 用紙がプリンタから引き出しにくい場合は、用紙リリースレバー（白色）が解除されているかどうかを確認してください。

1

用紙を後ろ側から逆に折り曲げ、定着器後ろ側の用紙転写スリットの間を通します。

- 定着器の後ろ側で用紙を取り扱うときは､用紙のトナーが手につかないように注意してください。
- 万一、トナーが手についた場合は、すぐに水で洗い流してください。

2

ローラの間から用紙を丁寧に引き出します。

- 紙づまりを取り除いた後、トナーカートリッジをセットし、フロントカバーを閉じれば、印刷可能な状態に戻ります。
  印刷可能状態に戻れば、紙づまりのトラブルは解消されています。
  印刷可能状態に戻らなければ、まだ用紙がプリンタ内部に残っています。
- つまった用紙を取り除いているとき､用紙のトナーがプリンタ内部についた場合は､次の印刷で排出された用紙がトナーで汚れていることがあります。

何も印刷されないときは

アプリケーションソフトから印刷を実行しても何も印刷されない場合は、次の点を確認します。

1

ステータスウィンドウにエラーが表示されていないかを確認してください。

- ステータスウィンドウにエラーメッセージが表示されないときは、環境設定やファイルの問題が考えられます。この場合、トラブルシュータ（→ **P.175**）を実行してください。

2

テストページを印刷します。

テストページの印刷手順は、

Windows 95/98/Meの場合は、［プリンタプロパティ］ダイアログボックス→［情報タブ］（Windows 95の場合）／［全般タブ］（Windows 98/Meの場合）→［印字テスト］をクリックします。
Windows NT 4.0/2000/XPの場合は、［プリンタプロパティ］ダイアログボックス→［全般］タブ→［テストページの印刷］をクリックします。

テストページが適切に印刷される場合：

CAPTソフトウェアからの印刷は可能です。アプリケーションソフトをチェックして、すべての印刷設定が適切かどうか確認してください。

テストページが印刷できない場合：

CAPT ソフトウェアを削除し、再インストールしてから、テストページを印刷してください。

印刷がおかしいときは

印刷がおかしいときは、次の点を確認してみてください。

印字品質のトラブル

白いすじが入る

原因　トナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている。

対策　トナーカートリッジを取り出して、ゆっくりとゆすり、カートリッジ内のトナーをならしてください。それでも同じ症状がでるときは、新しいトナーカートリッジ（EP-22 カートリッジ）に交換します（→ **P.145**）。

印字が全体に薄い

原因 1　「トナー濃度」の設定が薄い方になっている。

対策　［プロパティ］（Windows 95/98/Me の場合）または［ドキュメントの既定値］（Windows NT の場合）／［印刷設定］（Windows 2000/XP の場合）ダイアログボックスで［印刷品質］から［詳細設定］をクリックし、［トナー濃度］のスライドバーを「濃く」へ移動します。

原因 2　高温環境で多量の印刷を行った。

対策　ステータスウィンドウで［トナー濃度］を濃い方に設定します。それでも同じ症状が出るときは、新しいトナーカートリッジに交換します。トナーカートリッジ交換後は、本プリンタを涼しい環境でお使いください。

印字が全体に黒ずむ

原因 1　「トナー濃度」の設定が濃い方になっている。

対策　［プロパティ］（Windows 95/98/Me の場合）または［ドキュメントの既定値］（Windows NT の場合）／［印刷設定］（Windows 2000/XP の場合）ダイアログボックスで［印刷品質］から［詳細設定］をクリックし、［トナー濃度］のスライドバーを「薄く」へ移動します。

原因 2　プリンタが直射日光または強い光が当たる場所に設置してある。

対策　まず、「原因 1 の対策」と同様のことを行ってください。それでも同じ症状が出る場合は、プリンタを直射日光または強い光が当たらない場所に移動してください。あるいは、強い光を出す光源をプリンタから離してください。

印刷がおかしいときは

正しく印刷できない

印刷結果が崩れる

原因　DOS/V 機で BIOS の設定が正しくないか、その他の常駐プログラムが原因となっている。

対策 1　DOS/V の場合、BIOS の設定でパラレルポートの設定を変更します。

対策 2　常駐しているプログラムがあればはずします。

ページの一部が印刷されない

原因　拡大 / 縮小率が 100% に設定されていない。

対策　拡大 / 縮小率を 100% に設定します。
［プロパティ］（Windows 95/98/Me の場合）、［ドキュメントの既定値］（Windows NT）、［印刷設定］（Windows 2000/XP）ダイアログの［ページ設定］タブで設定します。

印刷できない

何回印刷しても「印刷に失敗しました」が表示されたり、残り時間のカウントダウンが止まったまま印刷が行われない

原因　DOS/V 機で、ECP ポートの設定、BIOS の設定が正しくないか、その他の常駐プログラムが原因となっている。

対策 1　DOS/V 機の場合、［ステータスウィンドウ］の［オプション］メニューから、［ポート設定］を選択し、ポート設定ダイアログを表示します。
［ECP（DMA 使う）］がチェックされていれば、［ECP（DMA 使わない）］に、［ECP（DMA 使わない）］がチェックされていれば、［標準］に変更してください。

対策 2　DOS/V 機の場合、BIOS の設定でパラレルポートの設定を変更します。

対策 3　常駐しているプログラムがあればはずします。

6

Windows 95/98/Me から印刷できない

原因 1　LBP-1110用CAPT（Canon Advanced Printing Technology）ソフトウェアが通常使うプリンタドライバとして設定されていない。

対策　次のように、LBP-1110 用 CAPT（Canon Advanced Printing Technology）ソフトウェアを通常使うプリンタドライバとして設定します。
①［プリンタ］フォルダを開き、［LBP-1110］アイコンを選びます。
②［ファイル］メニューで［通常使うプリンタに設定］を選びます。

原因 2　CAPT（Canon Advanced Printing Technology）ソフトウェアが正しくインストールされていない。

対策　トラブルシュータを起動して、正常にインストールされているかチェックします（→ **P.175**）。

原因 3　他の双方向のプリンタドライバが共存している。

対策　他の双方向のプリンタドライバが、本ドライバの双方向機能に影響を与えて正常に動作できない場合があります。他の双方向のプリンタドライバがコンピュータにインストールされている場合は、他の双方向のプリンタドライバを削除して動作を確認してください（削除の方法については、他の双方向のプリンタドライバのマニュアルをご覧ください）。

原因 4　Windows 95/98/Me が Safe モードで起動されている。

対策　「プリンタの環境設定が正しくありません。CAPT（Canon Advanced Printing Technology）インストールプログラムを起動して設定をやり直してください」というメッセージが表示されますが、再インストールの必要はありません。そのままWindowsを再起動すれば、正常動作します。

LBP-1110SE 以外の他のプリンタドライバで印刷できない

原因　他のプリンタドライバが、LBP-1110SEと同じポートに設定されている。

対策　他のプリンタドライバを、LBP-1110SE と違うポートに設定します（もしくは、実際にお使いになるプリンタをLPT1、LBP-1110SE をFILE に設定します）。
その後で、Windows を再起動します。

印刷がおかしいときは

ローカルインストール時のトラブル

プリンタの追加ウィザードで［このコンピュータ］* ボタンが選択できない（Windows NT 4.0/2000/XP）

原因　Administrators 権限または Power Users 権限がないユーザがインストールを行っています。

対策　CAPT（Canon Advanced Printing Technology）ソフトウェアのインストールには Administrators 権限または Power Users 権限が必要です。権限のある方がインストールを行ってください。

ネットワークインストール時のトラブル

[共有プリンタ] リストボックスに接続するプリントサーバ名または共有プリンタ名が表示されない

原因１　プリントサーバが起動されていません。

対策　プリントサーバを起動してください。

原因２　プリンタが共有設定されていません。

対策　[プリンタプロパティ]ダイアログボックスでプリンタを共有設定してください。

原因３　プリントサーバ、またはプリンタに接続する権限がありません。

対策　ネットワーク管理者にユーザの権限の変更を依頼してください。

ネットワークでのトラブル

LPTx：への書き込みエラーが発生する（Windows 95/98/Me）

原因　LBP-1110SEがネットワークプリンタとしてインストールされている状態で、一太郎のバックグラウンド印刷を中止した。

対策　Windows を再起動してください。

*Windows 2000 では、［ローカルプリンタ］となります。Windows XP では、［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］となります。

プリンタ共存時のトラブル（パラレルポート）

本プリンタドライバと他のプリンタドライバが同時にパラレルポート（LPTx:）を使用している場合に、不正な出力や印刷ができなくなる等、プリンタもしくはプリンタドライバの動作がおかしくなることがある

原因　他のプリンタもしくはプリンタドライバがパラレルポートを同時に使用している。

対策　［ステータスウインドウ］の［オプション］メニューから、［ステータスオプション］を選択し、ステータスオプションのダイアログボックスを表示させます。
［常にステータスを監視］がチェックされていれば、［印刷時のみステータスを監視］に変更し、コンピュータを再起動してください。

6

トラブルシュータを使う

トラブルシュータは､LBP-1110SEで印刷ができなくなった場合などに使用すると、原因を究明して自動的に復旧してくれます。主に、Windows 95/98/Me や Windows NT 4.0/2000/XP の設定に関するトラブルに有効です。

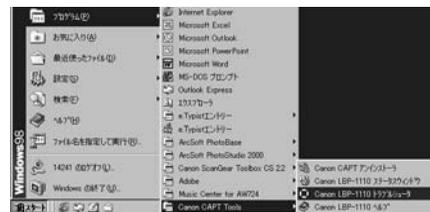
トラブルシュータの機能

トラブルシュータは、Windows 95/98/Me および Windows NT 4.0/2000/XP の設定に関するトラブルを自動的に修復してくれます。しかし、プリンタケーブル、パラレルポートなどのハードウェアに関するトラブルには有効ではありません。
主なチェック項目は次のようになります。

- ポートがお使いになれない場合に通知
- インストールされているファイルのバージョンがちがう場合に通知
- 空きディスク、空きメモリの容量を表示
- レジストリのチェック
- プリンタプロパティのチェック
- ネットワーク・クライアントの場合、ネットワーク関連のチェック

トラブルシュータの起動

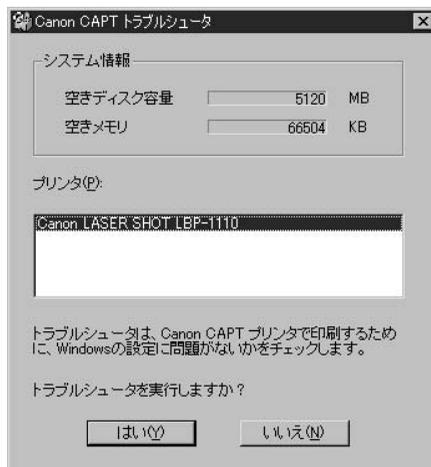
1

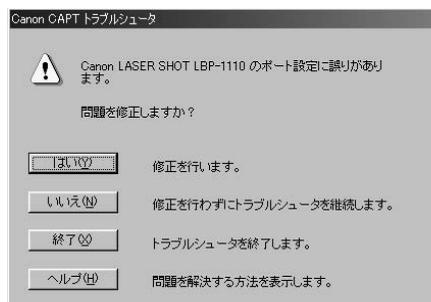
[スタート] メニューから [プログラム] の、[Canon CAPT Tools] の [Canon LBP-1110 トラブルシュータ] を選択します。

（画面例は、Windows 98 の場合）

6

2

トラブルシュータを実行するプリンタを選択し、[はい]ボタンをクリックします。

トラブルシュータが実行されます。

3

エラーが発見されると、メッセージが表示されるので、画面の指示にしたがって対処します。

4

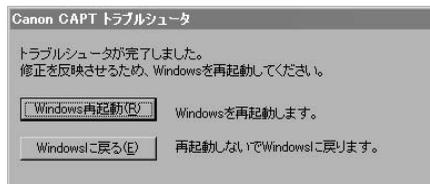
トラブルシュータが終了すると、チェック結果のダイアログボックスが表示されます。

[OK]ボタンをクリックします。

エラーがなかった場合は、このままWindowsの画面に戻ります。

トラブルシュータを使う

［Windows 再起動］ボタンをクリックします。

これでトラブルシュータは完了しました。

付録

1 オプションについて

オプションのネットワークアダプタ（AXIS1610）をお使いになると、LBP-1110SEプリンタをネットワーク直結プリンタとしてお使いになることができます。

AXIS1610 の対応については、アクシスコミュニケーションズ（株）のホームページ（http://www.axiscom.co.jp/）をご覧ください。

ネットワークアダプタ

オプションのネットワークアダプタは、LBP-1110SEプリンタのパラレルポートに接続してお使いになれます。ネットワークアダプタとパソコンは、ピア・トゥー・ピアで接続されます。また、プリントサーバを経由して接続することもできます。

付録

オプションについて

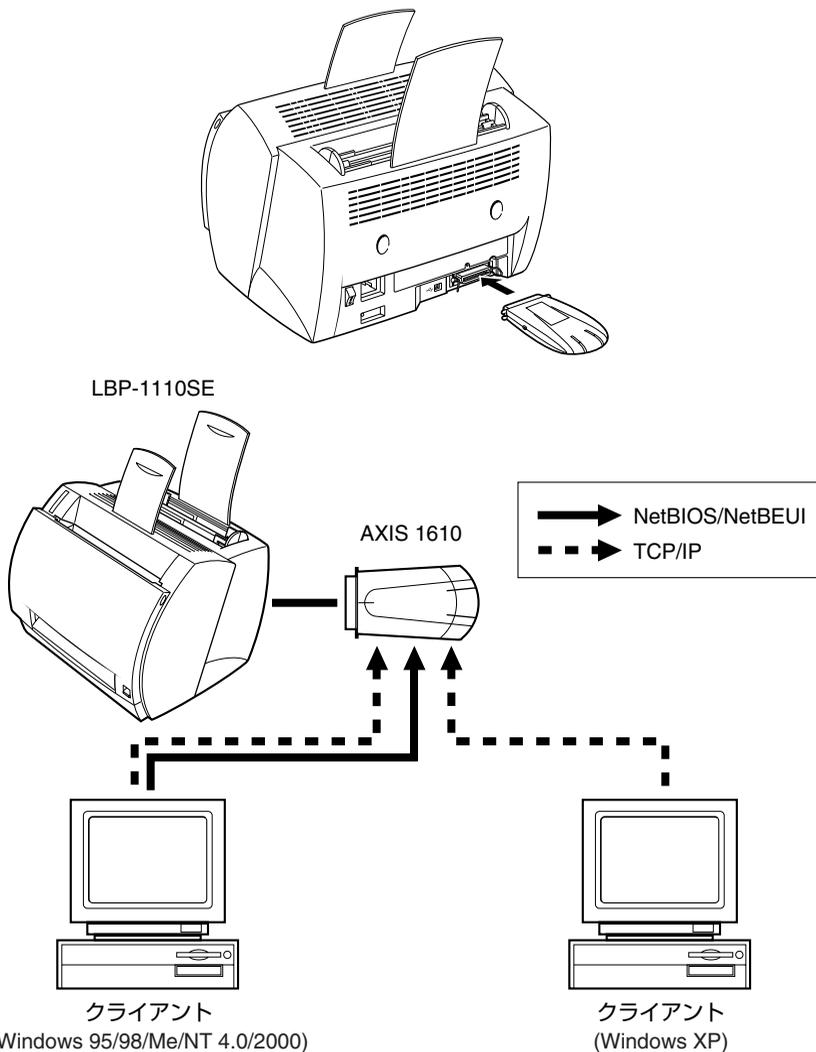
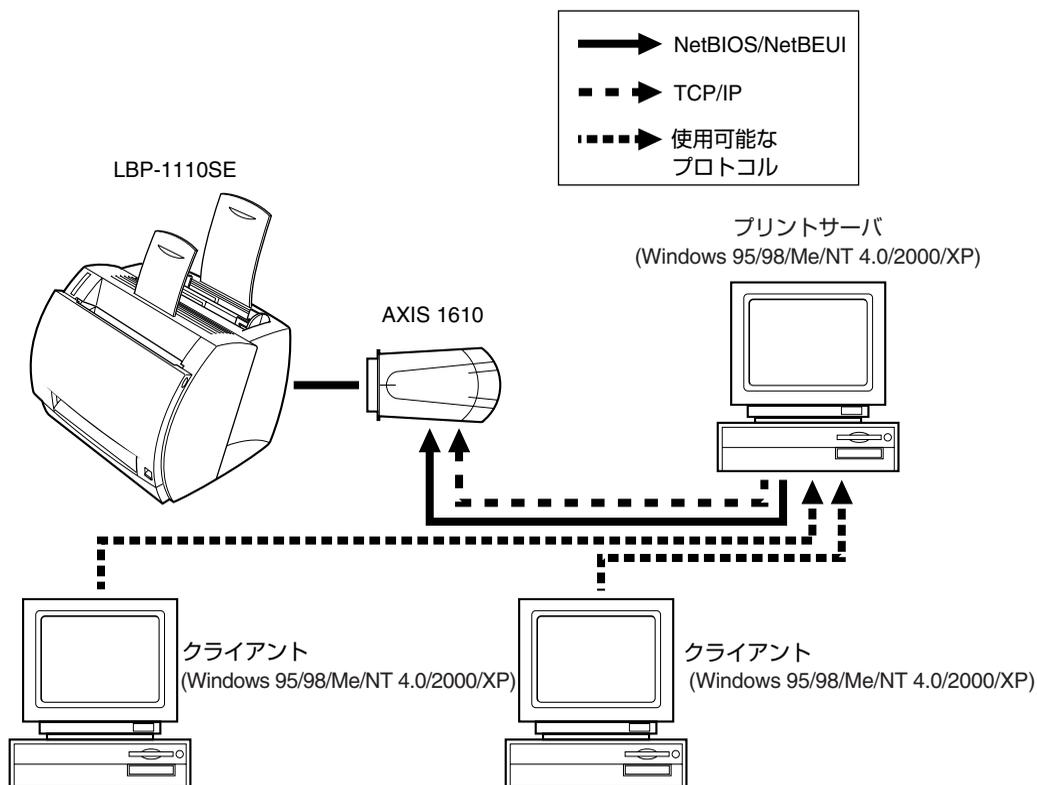
NetBIOS/NetBEUI
TCP/IP
使用可能な
プロトコル

LBP-1110SE

プリントサーバ
(Windows 95/98/Me/NT 4.0/2000/XP)

AXIS 1610

クライアント
(Windows 95/98/Me/NT 4.0/2000/XP)

クライアント
(Windows 95/98/Me/NT 4.0/2000/XP)

- Windows XP サーバをお使いになっているときは、NetBIOS/NetBEUI はお使いになれません。

- ネットワークアダプタについての詳細は、ネットワークアダプタに付属のマニュアルをご覧ください。
- ネットワークアダプタのご購入は、プリンタをお買い上げいただいた販売店へお問い合わせください。

- ネットワークアダプタをお使いになっているときは、ネットワークユーティリティソフト「NetSpot」がご利用いただけます。
  NetSpot をお使いになると、パソコン上でプリンタの状況を確認することや、プリンタの各種操作、ネットワークアダプタの設定などが行えます。

2 CD-ROM ドライブが使用できないコンピュータにインストールするには

本プリンタ用のプリンティングソフトウェア（CAPT）はCD-ROMに収録されているため、インストールするにはCD-ROM ドライブが必要です。

CD-ROM ドライブが使用できないコンピュータにインストールするときは、最初にCD-ROMドライブが使用できるコンピュータでCD-ROMのファイルをフロッピーディスクにコピーします。
インストールは、コピーしたフロッピーディスクを使用して行います。

お願い

- CD-ROMのファイルをフロッピーディスクにコピーする方法をとることのできないかたは「ソフトウェアの入手方法」（→ **P.207**）をご利用ください。

フロッピーディスクへのコピー手順

ここでは、Windows 95/98をお使いの場合の手順を説明します。お使いのOSごとに、フロッピーディスクの名称を変更し、該当するフォルダをお使いください。

1

フォーマット済みの空のフロッピーディスクを2枚用意し、次の名前を書いたラベルを貼ります。

「Windows 95/98用Disk1」
「Windows 95/98用Disk2」

2

CD-ROM ドライブの次のフォルダ内の全ファイルを「Disk1」のラベルを貼ったフロッピーディスクにコピーします。

［FDImages］－［WIN9x］－［DISK1］フォルダ内

3

同様にして、[DISK2] フォルダ内の全ファイルを「Disk2」のラベルを貼ったフロッピーディスクにコピーします。

CD-ROM ドライブが使用できないコンピュータにインストールするには

インストールプログラムを起動する場合（Windows 95/98）

1

フロッピーディスクドライブに、次のラベルを貼ったフロッピーディスクを入れます。

「Windows 95/98 用 Disk 1」

2

［ファイル名を指定して実行］の［名前］ボックス（Windows 95/98 の場合）に、［A:¥Setup.EXE］と入力します。

ここでは、フロッピーディスクドライブ名を「A:」と表記しています。フロッピーディスクドライブ名は、お使いのパソコンによって異なります。

3

［OK］ボタンをクリックします。

インストールプログラムが起動します。このあとの操作は、（→ **P.37**、**45**）をご覧ください。

3 ビジュアルガイドについて

本プリンタの使い方を、アニメーションで紹介します。プリンタを初めてお使いになる方のためのセットアップ方法を説明しています。ビジュアルガイドは、Windows 95/98/MeおよびWindows NT 4.0/2000/XPでお使いいただけます。

必要なシステム環境

ビジュアルガイドをお使いになる場合は、以下の環境が必要です。

- CPU　486DX2　66MHz以上
- メモリ　16MB以上
- CD-ROMドライブ　2倍速以上（4倍速以上を推奨）
- モニタ色数　256色
- サウンド機能　（SoundBlaster等）
- スピーカ

ビジュアルガイドを起動するには

CD-ROMメニューの[ビジュアルガイド]ボタンをクリックして、ビジュアルガイドを起動します。

お願い

- Macintoshコンピュータをお使いの場合は、ビジュアルガイドはご利用いただけません。
- 「ビジュアルガイド」をご使用になる場合は、Windows 95/98/Meまたは、WindowsNT 4.0/2000/XPのシステム上で起動しているアプリケーションを終了してください。同時に使用した場合は、「ビジュアルガイド」が正常に起動しないことがあります。

FontGallery について

付属のＣＤ-ＲＯＭ には、プリンティングソフトウェア（ＣＡＰＴ）と共に Windows 95/98/Me、Windows NT 4.0/2000/XP および Mac OS に対応した TrueType フォント「FontGallery®」を同梱しています。FontGallery には、TrueType フォントとして通常書体 20 書体、かな書体 31 書体、欧文書体 100書体が収められています。また、かなフォントユーティリティ「FontComposer®」をインストールすることにより、さらに多彩な文字表現が可能になります。

お願い

- かな書体および FontComposer は、Windows 95/98/Me および Windows NT 4.0/2000/XP をお使いの場合に、ご利用いただけます。
- Macintosh コンピュータをお使いの場合は、かな書体および FontComposer はご利用いただけません。
- Mac OS 10.1 以降をお使いの場合は、FontGallery はご利用いただけません。
- FontGalleryは1台のコンピュータに対してのみ使用許諾をしています。複数のコンピュータでお使いになる場合は、別途 FontGallery ライセンス商品をお買い求めください。
- FontGallery をお使いになる前には、必ず「FontGallery 製品使用許諾契約書」（→ **P.187**）をお読みください。
- フォントをインストールするには、1 書体につき 10 秒前後の時間がかかります。あらかじめご了承ください。
- FontGallery は、ネットワーク上のサーバなどにおいて使用することはできません。
- FontComposer では、基本書体とかなフォントの組み合わせ、もしくは削除のために、約10 ～ 20MB の空き容量が必要となる場合があります。FontComposer を起動する際に、必要容量のチェックを行っておりますので、空き容量不足のメッセージが表示された場合には、目安として、上記容量分を空けるようにお願いいたします。
- その他の注意事項に関しては、各インストールガイドを参照してください。

使用環境について

FontGallery を使用する場合は、Microsoft Windows 95/98/Me 日本語版または Microsoft Windows NT 4.0/2000/XP 日本語版、Mac OS 9/8.6/8.5.1/8.1/8/7.6/漢字Talk7.5/7.1および上記ソフトウェアが動作するコンピュータで、上記ソフトウェアで使用可能な CD-ROM ドライブが必要です。

インストール方法について

FontGallery をインストールする前に、必ず説明ファイルおよびインストールガイドをお読みください。説明ファイルおよびインストールガイドは、付属のCD-ROM のCD-ROM メニューから見ることができます。

お願い

- Macintosh コンピュータ上では、付属のCD-ROM のCD-ROM メニューは表示されません。FontGallery をインストールする場合は、FontGallery 説明ファイル（→ **P.186**）をお読みください。

● **FontGallery 説明ファイル**

FontGalleryをお使いになるときに、必要な情報が記載されています。インストールする前に必ずお読みください。インストール手順等については、以下のフォルダ下に収容されている取扱説明書をお読みください。

Windows 用

・FontGallery 取扱説明書：¥Japanese¥Fgallery¥Manual¥Font フォルダ内の Fgmanual.wri （ライト形式）
・FontComposer 取扱説明書：¥Japanese¥Fgallery¥Manual¥Composer フォルダ内の Fcmanual.wri （ライト形式）

Macintosh コンピュータ用

・FontGallery 取扱説明書：［Fgallery］内の Fgallery 取扱説明書（シンプルテキスト形式）

● **FontGallery インストール**

このボタンをクリックすると、FontGalleryをインストールするかインストールガイドを開くかを選択するダイアログボックスが表示されます。まずインストールガイドを開き、お読みになってからインストールしてください。

● **FontComposer インストール（Windows のみ）**

このボタンをクリックすると、FontComposerをインストールするかインストールガイドを開くかを選択するダイアログボックスが表示されます。まずインストールガイドを開き、お読みになってからインストールしてください。

コード表について

2 種類のコード表をファイルとして用意してあります。収容文字の確認などにお使いください。なお、CSV 形式のコード表をお使いの場合は、CSV 形式のファイルを開くことのできるアプリケーションからテキストを指定してご使用ください。

● Windows 用

ライト形式（*.wri）、CSV 形式（*.csv）

● Macintosh コンピュータ用

シンプルテキスト形式、CSV 形式

FontGallery について

FontGallery 製品使用許諾契約書

弊社では、FontGallery製品につきまして、下記のFontGallery製品使用許諾契約書を設けさせていただいており、お客様が下記契約書にご同意いただいた場合にのみFontGallery 製品をご使用いただいております。お手数ではございますが、本FontGallery 製品をご使用になる前に下記契約を十分にお読みください。なお、本FontGallery製品をご使用になられた場合には、お客様が下記契約にご同意いただいたものとさせていただきます。

● **FontGallery 製品使用許諾契約書**

キヤノン株式会社（以下、キヤノンといいます。）は、お客様に対し、本契約書とともにご提供するFontGallery製品（当該製品のマニュアルを含みます。以下「許諾ソフトウェア」といいます。）の譲渡不能の非独占的使用権を下記条項に基づき許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。「許諾ソフトウェア」およびその複製物に関する権利はキヤノンに帰属します。

１．使用許諾

（1）お客様は、機械読取形態の「許諾ソフトウェア」を一時に1台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。お客様が、同時に複数台のコンピュータで「許諾ソフトウェア」を使用したり、また「許諾ソフトウェア」をコンピュータネットワーク上の複数のコンピュータで使用する場合には、別途契約によりキヤノンからその使用権を取得することが必要です。

（2）お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により第三者に使用もしくは利用させることはできません。

（3）お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等することはできません。また第三者にこのような行為をさせてはなりません。

2.「許諾ソフトウェア」の複製

お客様は、バックアップのために必要な場合に限り、「許諾ソフトウェア」を1コピーだけ複製することができます。あるいは、オリジナルをバックアップの目的で保持し、「許諾ソフトウェア」をお客様がご使用のコンピュータのハードディスク等の記憶装置１台のみに1コピーだけ複製することができます。しかし、これら以外の場合にはいかなる方法によっても「許諾ソフトウェア」を複製できません。お客様には、「許諾ソフトウェア」の複製物上に「許諾ソフトウェア」に表示されているものと同一の著作権表示を行っていただきます。

3. 保証の否認・免責
（1）キヤノンおよびキヤノン販売株式会社（以下、キヤノン販売といいます。）は、「許諾ソフトウェア」がお客様の特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または「許諾ソフトウェア」にバグがないこと、その他「許諾ソフトウェア」に関していかなる保証もいたしません。
（2）キヤノンおよびキヤノン販売は、「許諾ソフトウェア」の使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負わず、また「許諾ソフトウェア」の使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。

4. 輸出
お客様は、日本国政府または該当国の政府より必要な認可等を得ることなしに、一部または全部を問わず、「許諾ソフトウェア」を、直接または間接に輸出してはなりません。

5. 契約期間
（1）本契約は、お客様が「許諾ソフトウェア」を使用した時点で発効します。
（2）お客様は、キヤノンに対して30日前の書面による通知をなすことにより本契約を終了させることができます。
（3）キヤノンは、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、直ちに本契約を終了させることができます。
（4）本契約は、上記(2)または(3)により終了するまで有効に存続します。上記(2)または(3)により本契約が終了した場合、キヤノンまたはキヤノン販売は、「許諾ソフトウェア」の代金をお返しいたしません。お客様は、「許諾ソフトウェア」の代金の返還をキヤノンおよびキヤノン販売に請求できません。
（5）お客様には、本契約の終了後2週間以内に、「許諾ソフトウェア」およびその複製物を廃棄または消去したうえ、廃棄または消去したことを証する書面をキヤノンに送付していただきます。

6. 一般条項
（1）本契約のいずれかの条項またはその一部が法律により無効となっても、本契約の他の部分に影響を与えません。
（2）本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

以上
キヤノン株式会社

●BITSTREAM使用許諾契約

同梱のフォントをインストールすることにより、お客様は本契約の条件に拘束されることに同意することになります。
本合意により、お客様とBITSTREAMとのあいだの完全な合意が構成されます。本合意書の条件に同意なさらない場合は、同梱のディスクに含まれているフォントをご使用にならないでください。

FontGalleryについて

1.使用許諾。本Bitstream製品に対してお客様が支払われた価格の一部であるライセンス料金支払いの対価として、ライセンサーであるBITSTREAMはライセンシーであるお客様に対し、Bitstream製品を、1台のプリンタ、あるいは1台のタイプセッタまたはイメージセッタおよびそのタイプセッタまたはイメージセッタ専用のプルーフプリンタに接続した1台または複数のコンピュータ上で使用および表示する非独占的権利を付与します。
BITSTREAMは、ライセンシーに明示的には付与されていないすべての権利を留保します。

2.所有権。お客様はライセンシーとして、Bitstream製品が最初に記録されたかその後に供給される磁気またはその他の物理的媒体を保有しますが、BITSTREAMは最初の、またはその他のコピーがどのような形態でまたは媒体上に存在するかを問わず、Bitstream製品の最初のディスクコピーまたはその後のコピーに記録されたBitstream製品のソフトウェアプログラムに対する権限および所有権を留保します。本ライセンスはBitstream製品のオリジナルソフトウェアプログラムまたはその一部またはコピーの販売ではありません。

3. コピーの制限。Bitstream製品および付属の資料は著作権で保護されており、BITSTREAMの所有権の対象になる情報および企業秘密が含まれています。印刷物を未許可のままコピーすること、およびたとえそれが変更されているか、他のソフトウェアに合体されたり他のソフトウェアに含められている場合でもBitstream製品を未許可のままコピーすることは、明示的に禁じられています。お客様が本合意書の条件に従わなかったことを原因とするか、従わなかったために助長されたBITSTREAMの知的所有権の侵害は、お客様に法律上の責任を負っていただく場合があります。Bitstream製品はバックアップを目的とする場合に限り、コピーを1部作成することができますが、その場合は、著作権情報を完全な形でバックアップコピーに複製するものとします。

4.使用の許容範囲。本Bitstream製品、ユーザーズガイドおよび文書はライセンシーであるお客様に使用が許諾されるものであり、事前にBITSTREAMの書面による同意を得ずに、一定期間第三者に譲渡することはできません。Bitstream製品に変更、改造、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行うことはできません。またBitstream製品から派生的な製品を作成することもできません。お客様に提供される文書は事前にBITSTREAMの書面による同意を得ずに、変更、改造、翻訳することはできませんし、派生的な文書を作成するのにも使用できません。

5.終了。本契約は終了するまで有効です。本契約は、お客様が本書に含まれている条項に一つでも従わなければ、ＢＩＴＳＴＲＥＡＭからお知らせしなくても自動的に終了します。終了と同時に文書、Bitstream製品、そのすべてのコピーは部分的か全体かを問わず、変更されたコピーがある場合はそれも含めて破棄しなければなりません。

6.その他。本契約はマサチューセッツ州法に準拠します。

●**保証の拒否および限定保証**

BITSTREAMは、Bitstream製品が提供されているディスクについて、通常の使用形態であればお客様の受領書の写しによって証明されるお客様への納品日から90日間、材質および出来映えに欠陥がないことを保証します。

ディスクに関するBITSTREAMの全責任およびお客様の唯一の救済措置は、購入価格を返却するか、BITSTREAMの限定保証を満たさず、BITSTEAMに受領証のコピーとともに返却されたディスクを交換するかのいずれかをBITSTREAMが選択することとなります。ディスクの障害が事故、濫用または誤用を原因とする場合、BITSTREAMはディスクを交換するか購入価格を返却する責任を有しません。ディスクを交換する場合は、当初の保証期間の残りの期間か30日間のいずれか長いほうの期間について保証されます。この保証により、お客様には特定の法的権利が付与されます。また州によりお客様は異なるその他の権利を持つ可能性があります。

以上で明確に定義されている場合を除き、Bitstream製品、ユーザーズガイドおよび文書は「保証なし」のまま提供されます。BITSTREAMは特定目的の商品性および適合性の黙示的な保証など、明示的か黙示的かを問わず、いっさいの種類の保証を行いません。

Bitstream製品、ユーザーズガイドおよび文書の品質および性能に関して、リスクはお客様が全面的に負うことになります。BITSTREAMは、Bitstream製品に含まれる機能がお客様の要求事項を満たす旨、またはソフトウェア製品が無停止またはエラーなしで稼働する旨を保証するものではありません。

BITSTREAMは、たとえそうした損害の可能性を助言されていたとしても、Bitstream製品の使用から、または使用できなかったことから生じた直接的、間接的、派生的、付随的な損害賠償の責任を負いません（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失から生じた損害を含む）。

一部の州では、派生的または付随的な損害賠償の責任を除外または限定することが認められていないため、上記の限定が適用されない場合があります。

●**米国政府の限定権利**

Bitstream製品と呼ばれるソフトウェア製品とその関連文書は権利を限定して提供されます。合衆国政府による使用、複写、開示は、FAR52.227-19(c)(2)（1987年5月）が適用される場合はそこに規定されている制限に従います。それ以外の場合はDOD FARの適用される規定が252.227-7013の第(a)(15)条（1988年４月）または第(a)(17)条（1988年４月）を補完する条項です。

契約当事者/メーカーは215 First Street, Cambridge, MA 02142のBitstream Inc.です。本契約に関して質問がおありの場合、または理由を問わずBITSTREAMに連絡を取りたい場合は、書面でご連絡ください。

FontGallery について

FontGallery 同梱書体見本

次の書体をお使いいただけます。

●和文書体
和文書体の見本を次に示します。

平成明朝体 W3	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W5	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W7	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W9	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W3	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W5	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W7	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W9	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-L	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-M	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-B	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-U	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-L	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-M	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-B	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-U	夢のある多彩なフォント
教科書体 NT-M	夢のある多彩なフォント
楷書体 NT-M	夢のある多彩なフォント
行書体 LC-M	夢のある多彩なフォント
行書体 CC-M	夢のある多彩なフォント

●かな書体

かな書体の見本を次に示します。Macintosh コンピュータをお使いの場合はお使いいただけません。

こでまりＬ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＭ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＢ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＨ	ゆめのあるふぉんと
からたちＬ	ゆめのあるふぉんと
からたちＭ	ゆめのあるふぉんと
からたちＢ	ゆめのあるふぉんと
からたちＨ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＬ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＭ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＢ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＨ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＬ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＭ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＢ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＨ	ゆめのあるふぉんと
あしびＬ	ゆめのあるふぉんと
あしびＭ	ゆめのあるふぉんと
あしびＢ	ゆめのあるふぉんと
あしびＨ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＬ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＭ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＢ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＨ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＬ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＭ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＢ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＨ	ゆめのあるふぉんと
行書LC仮名	ゆめのあるふぉんと
sek01	ゆめのあるふぉんと
sek02	ゆめのあるふぉんと

FontGallery について

●和文組み合わせサンプル：かなユーティリティ FontComposer
和文組み合わせサンプルの見本を次に示します。Macintosh コンピュータをお使いの場合はお使いいただけません。

平成明朝体 Ｗ３＋からたちＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ３＋こでまりＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ３＋さんざしＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ３＋てっせんＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ５＋からたちＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ５＋こでまりＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ５＋さんざしＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ５＋てっせんＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ７＋からたちＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ７＋こでまりＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ７＋さんざしＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ７＋てっせんＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ９＋からたちＨ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ９＋こでまりＨ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ９＋さんざしＨ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ９＋てっせんＨ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ３＋あしびＬ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ３＋さざんかＬ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ３＋はしばみＬ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ５＋あしびＭ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ５＋さざんかＭ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ５＋はしばみＭ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ７＋あしびＢ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ７＋さざんかＢ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ７＋はしばみＢ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ９＋あしびＨ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ９＋さざんかＨ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ９＋はしばみＨ	夢のある多彩なフォント

角ゴ　Ｃａ-Ｌ＋あしびＬ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｌ＋さざんかＬ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｌ＋はしばみＬ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｍ＋あしびＭ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｍ＋さざんかＭ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｍ＋はしばみＭ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｂ＋あしびＢ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｂ＋さざんかＢ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｂ＋はしばみＢ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｕ＋あしびＨ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｕ＋さざんかＨ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｕ＋はしばみＨ	夢のある多彩なフォント
丸ゴ　Ｃａ-Ｂ＋ｓｅｋ０１	夢のある多彩なフォント
楷書体　ＮＴ－Ｍ＋てっせんＭ	夢のある多彩なフォント
行書体　ＬＣ－Ｍ＋行書ＬＣ仮名	夢のある多彩なフォント

FontGalleryについて

●欧文書体

欧文書体の見本を次に示します。

American Garamond Roman	ABCDEF abcdef 12345
American Garamond Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
American Garamond Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
American Garamond Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Bodoni Roman	ABCDEF abcdef 12345
Bodoni Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Bodoni Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Bodoni Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Cataneo Light	ABCDEF abcdef 12345
Cataneo Regular	ABCDEF abcdef 12345
Cataneo Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Cataneo Light Swash	ABCDEF a de 12345
Cataneo Regular Swash	ABCDEF a de 12345
Cataneo Bold Swash	ABCDEF a de 12345
Cooper Black	**ABCDEF abcdef 12345**
Cooper Black Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Cooper Black Outline	ABCDEF abcdef 12345
Century Oldstyle Roman	ABCDEF abcdef 12345
Century Oldstyle Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Century Oldstyle Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Century Schoolbook Roman	ABCDEF abcdef 12345
Century Schoolbook Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Century Schoolbook Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Century Schoolbook Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Clarendon Roman	ABCDEF abcdef 12345
Clarendon Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Clarendon Black	**ABCDEF abcdef 12345**
Cloister Black Regular	ABCDEF abcdef 12345
Cloister Black Openface	ABCDEF abcdef 12345
Commercial PI Regular	±°′″∅+ ©®©®™™ ●●▪■■
Commercial Script Regular	*ABCDEF abcdef 12345*
Dutch 801 Regular	ABCDEF abcdef 12345
Dutch 801 Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Dutch 801 Bold	**ABCDEF abcdef 12345**

付録

Dutch 801 Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Dutch 801 Extra Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Dutch 801 Extra Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Exotic 350 Light	ABCDEF abcdef 12345
Exotic 350 Demi-Bold	ABCDEF abcdef 12345
Exotic 350 Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Goudy Oldstyle Roman	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Goudy Oldstyle Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Goudy Oldstyle Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Goudy Oldstyle Extra Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Goudy Oldstyle Handtooled	ABCDEF abcdef 12345
Holiday PI	
Poster Bodoni Roman	**ABCDEF abcdef 12345**
Poster Bodoni Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Prima Sans BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Sans Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Prima Serif BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Serif Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Prima Mono BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Mono Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Ribbon 131 Regular	*ABCDEF abcdef 12345*
Ribbon 131 Bold	***ABCDEF abcdef 12345***
Roundhand Regular	*ABCDEF abcdef 12345*
Roundhand Bold	***ABCDEF abcdef 12345***
Roundhand Black	***ABCDEF abcdef 12345***
Serifa Thin	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Thin Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Serifa Light	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Light Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Serifa Roman	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Serifa Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Serifa Black	**ABCDEF abcdef 12345**

FontGalleryについて

Serifa Bold Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Snowcap Regular	ABCDEF abcdef 12345
Staccato 222	ABCDEF abcdef 12345
Staccato 555	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Roman	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Thin	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Thin Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light Condensed Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Condensed Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Condensed Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Outline	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Extended	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Extended	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Black Extended	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Black Outline	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Rounded	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Black Rounded	ABCDEF abcdef 12345
Symbol Proportional Regular	ΑΒΧΔΕΦ αβχδεφ 12345
Zapf Humanist 601 Roman	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Italic	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Bold	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Ultra	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Ultra Italic	ABCDEF abcdef 12345

5 プリンタの仕様

●ハードウェアの仕様

プリンタ形式：	デスクトップ型ページプリンタ
プリント方式：	電子写真方式（オンデマンド定着）
プリント速度：	最大８枚／分（A4 サイズ）
ウォームアップ時間：	0 秒（電源オン時は８秒以下）
ファーストプリント時間：	フェイスダウン排紙時：18 秒以下（20℃ A4 サイズ）
	フェイスアップ排紙時：17 秒以下（20℃ A4 サイズ）
給紙方法：	給紙トレイ　：最大 125 枚／ 64g ／㎡（積載厚 12.5mm 以下）
	手差しトレイ ：1 枚
用紙サイズ：	76.2（W）× 127（H）mm ～ 216（W）× 356（H）mm
	A4：210 × 297mm　リーガル：216 × 356mm
	B5：182 × 257mm　レター：216 × 279mm
	A5：148 × 210mm　エグゼクティブ：184 × 267mm
	官製はがき：100 × 148mm　封筒（洋形２号）：114 × 162mm
	封筒（洋形４号）：105 × 235mm
排紙容量：	50 枚（フェイスダウン排紙トレイ）
排紙方法：	フェイスアップ / フェイスダウン（手動切り替え）
稼働音音圧レベル：	（ISO9296 に基づく公表騒音放出値）
（バイスタンダ位置）	スタンバイ時：暗騒音
	プリント時：48dB（A）
動作環境 温度／湿度：	10 ～ 32.5℃ / 20 ～ 80%RH（結露しないこと）
保管環境 温度／湿度：	0 ～ 35℃ / 10 ～ 80%RH（結露しないこと）
ホストインタフェース：	双方向セントロニクスパラレルインタフェース（IEEE1284 準拠）
	USB インタフェース
電源：	AC100V ± 10%（50 / 60Hz ± 2Hz）
消費電力：	動作時最大　479W
	動作時平均　約 166W
	スタンバイ時平均　約 5.5W
外形寸法：	345（W）× 312（D）× 266（H）mm
質量：	プリンタ本体約 6.6kg（EP-22 カートリッジなし）
	EP-22 カートリッジ　約 0.71kg

●ソフトウェアの仕様

プリンティングソフトウェア：	CAPT（Canon Advanced Printing Technology）
有効印字領域：	上下左右とも周囲 5mm の範囲には印字できません。（封筒は 10mm）

付録

用語集

英数字

CAPT（Canon Advanced Printing Technology）

LBP-1110SEは、WindowsおよびMac OSに対応した最新のソフトウェアCAPT（Canon Advanced Printing Technology）を搭載したプリンタです。このシステムでは、従来プリンタで行っていた印刷時のデータ処理をパソコンで一括処理するため、パソコンの性能をフルに活かした高速印刷を実現します。

印刷中、用紙切れなどの情報はもちろんのこと、印刷の残り時間や印刷終了予定時刻までもリアルタイムにディスプレイ上に表示されます。

ECP

Extended Capabilities Portの略で、プリンタや他の装置へのデータ転送を高速に行う双方向モードです。

SCoA

キヤノン独自のプリントデータ圧縮および転送技術であり、コンピュータの性能をフルに生かしてCAPTの高速出力を実現する機能です。また、圧縮および転送の効率が高いため、使用するメモリが少なく済むうえ、RAMの増設も送られるデータ量に関わらず必要ありません。

TrueTypeフォント

画面表示と印刷のどちらにもお使いいただけるスケーラブルフォントです。

TrueTypeフォントは任意の大きさに表示でき、画面表示と同じイメージで高解像度で印刷できます。

USB（Universal Serial Bus）

シリアルインタフェースの新規格。自動的に接続を認識したり（プラグ・アンド・プレイ機能）パソコンや周辺機器の電源をいれたままコネクタの抜き差しをすることができます。

あ

アンインストール

インストールしたCAPT（Canon Advanced Printing Technology）を取り除く作業です。再インストールする際などに行います。

インタフェース ケーブル

コンピュータとプリンタの間でデータをやりとりするためのケーブルです。プリンタケーブルは、パラレルケーブル・シリアルケーブルとUSBケーブルの3種類がありますが、LBP-1110SEでは双方向のパラレルケーブルおよびUSBケーブルのどちらかを使用します。

オーバレイ

ロゴやタイトルなどの各ページに共通するデータとアプリケーションの印刷データを重ねあわせて印刷することを示します。

か

解像度

表示したり印刷する画像の細かさを表します。単位はdpi（25.4mmあたりのドット数）で表します。解像度が高いデバイスほどイメージを表示したり印刷するときに、斜めの線や曲線がなめらかに表示・印刷されます。

仮想メモリ

メモリ（RAM）が不足したときに、Microsoft Windowsはメモリ（RAM）のかわりにハードディスクのスワップファイルを使用します。これを仮想メモリといいます。これにより、Microsoft Windowsはコンピュータに実際に搭載されているメモリよりも多くのメモリを利用できますが、ハードディスクはメモリに比べると遅いため、仮想メモリが使用されると動作が遅くなります。

コントラスト

画像の最も明るい部分と最も暗い部分との差を表します。コントラストを上げると、明暗の差を強調した、くっきりとした画像になります。コントラストを下げると、全体に柔らかい画像になります。

さ

スーパースムージングテクノロジー

キヤノン独自のイメージ処理技術で、文字や図形の輪郭部のギザギザを自動的に検知してスムージング処理を行います。

ステータスウィンドウ

LBP-1110SEの印刷の状態および用紙切れ、紙づまりなどを表示するウィンドウです。初期設定では印刷時に自動的に表示されます。

スワップ ファイル

Microsoft Windowsが実メモリが不足したときに、仮想メモリとして使用するファイルです。このファイルはハードディスク上に隠しファイルとして作成されます。

双方向通信

CAPT（Canon Advanced Printing Technology）がローカルに接続されたプリンタとの間でデータをやり取りする通信方式です。従来の印刷方式よりも細かくプリンタの状態を知ることができます。

た

テスト印刷

プリンタの動作を確認するために行う印刷です。プリンタドライバ情報を含むページが作成され、自動的に印刷されます。

デバイス

コンピュータのシステムのハードウェアの構成要素です。モニタ、プリンタ、マウス、サウンド ボード、ディスク ドライブなどがあります。

用語集

な

ネットワーク プリンタ

ローカルプリンタとは異なり、ネットワークを通じてコンピュータに接続しているプリンタです。

は

ハーフトーン

グレースケールの画像（モノクロ写真のように灰色の階調で表現された画像）を黒と白の細かいドットのパターンに変換して印刷する方法です。

プリント キュー

印刷待ちと印刷中の印刷ジョブの一覧です。Windows 95/98/MeまたはWindows NT 4.0/2000/XPでは、[プリンタ] フォルダの各プリンタがプリントキューを管理します。印刷が終了すると、印刷ジョブはプリントキューから削除されます。

ポート

コンピュータから他の機器へデータを送受信するためのコネクタです。
パラレルポートはプリンタポートともいい、通常はプリンタを接続します。シリアルポートは、通常はモデムなどに使用します。CAPT（Canon Advanced Printing Technology）ソフトウェアではシリアルポートを使用した印刷はできません。

ま

メモリ

コンピュータの情報を記憶する機器です。メモリは、コンピュータ内部に搭載されるランダムアクセスメモリ(RAM)と、フロッピーディスクやハードディスクといった外部メモリの2種類があります。単にメモリといった場合は、通常は内部メモリを示します。

ら

ランダム アクセス メモリ （RAM）

プログラムやデータを置いて、CPUが直接に使用するメモリです。コンピュータ内部にメモリチップの形で搭載されます。きわめて高速ですが、リセットしたり、電源を落とすと、RAM の内容は消えてしまいます。

ローカルプリンタ

コンピュータに直接接続されているプリンタです。

論理ポート

データをネットワークに送るためにCAPT（Canon Advanced Printing Technology）ソフトウェアが作成して使用するポートです。物理的なコネクタは、コンピュータ上には存在していません。

付
録

索引

記号とアルファベット

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

保守サービスのご案内

●ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

このたびはレーザショットプリンタをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくレーザショットプリンタの保守サービスとして、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」を用意しています。これらはキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

キヤノン製品をご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償修理保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）

キヤノン保守契約制度のメリット

■都度の修理料金は不要
保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。
万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

■保守点検の実施
お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。（別途、有料となります。）

キヤノンサービスパックとは

キヤノン製品を長期間にわたって、安心してご使用いただくための保守サービスを、お手軽にご購入できるようパッケージ化した新しいタイプのサービス商品です。対象のキヤノン製品をご購入後、３年間、４年間、５年間のタイプを用意しています。（無償修理保証期間を含みます）

キヤノンサービスパックのメリット

■簡単登録
従来の保守契約とは違い、面倒な手続きは一切不要。キヤノンサービスパックを購入後、登録カードをご送付いただくだけで手続きは完了します。

■電話一本
万一のトラブルが発生したときは、キヤノンサービスコールセンターにお電話にてお客様 ID とトラブルの内容をお知らせいただくだけで、迅速に対応します。

■固定料金
キヤノンサービスパックのご購入料金が、期間中のサービス料金に相当します。予期せぬ出費が防げるため、予算計画も立てやすくなります。

キヤノンサービスパックのサービス範囲

故障時の修理・調整：故障が発生した場合、その修理・調整をおこないます。

修理料：修理時に発生する訪問料金・技術料・部品代はキヤノンサービスパック料金に含まれます。（消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります）

保守期間：対象製品購入後、３年間、４年間、５年間です。（保証期間を含みます）

なお、天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルや消耗品代、キヤノン指定の部品代は、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」ともに対象外となります。

「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」に関するお申し込み、お問合せはお買い上げの販売店もしくはキヤノン販売（株）までお願いいたします。

補修用性能部品

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、本機製造打ち切り後７年間です。

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

次に示すインターネットやFAX情報サービスを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

●キヤノンホームページ（http://canon.jp/）

商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

●キヤノンFAX情報サービス

札幌（011）728-0485	秋田 （018）826-0441	仙台 （022）211-5730
東京（03）3455-5962	名古屋（052）936-0758	大阪 （06）4795-9011
広島（082）240-6729	高松 （087）826-1621	福岡 （092）411-9510

音声メッセージにしたがって、以下の操作をしてください。

各種ドライバ入手方法ご案内　：10001＃
ドライバ代引き配送サービス一覧　：11001＃

ダイヤル回線をご利用の場合は、トーン切換えを行ってください。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードサービスおよび代引き配送サービスにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

●キヤノンホームページ（http://canon.jp/）

キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

● CD-ROM・FD の代引き配送サービス

プリンタドライバなどのソフトウェアのＣＤ-ＲＯＭもしくはＦＤを有料（代金引き換え）にてお届けします。

ソフトウェアの種類、内容、金額はＦＡＸ情報サービス、キヤノンホームページなどでご確認いただき、巻末のお客様相談センターへご注文ください。

・対象エリアは日本国内とさせていただきます。

・ソフトウェアの種類により、ＣＤ-ＲＯＭ ・ＦＤが異なります 。

LASER SHOT ご購入者アンケートご協力のお願い

この度は、キヤノンLASER SHOTシリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。みなさまのご意見を今後の製品開発の参考とさせていただきたく、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。
大変お手数ではございますが、下記URLへアクセス後、質問事項にご回答ください。
ご回答いただきました内容はより良いサービスと今後の製品開発の貴重な資料として活用し、それ以外の目的に使用することはありません。
なお、アンケートにご協力いただいた方の中から抽選でオリジナル記念品をプレゼントさせていただきます。（当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。）

※ アンケートにご回答いただく際には、商品名称とシリアルナンバーを入力していただく必要があります。

例）商品名称　LBP-1110SE
シリアルナンバー　LMMA000001
（保証書およびフロントカバー内部、梱包箱外側に記載されています。）

http://cweb.canon.jp/lbp/enq.html

Canon

キヤノンお客様ご相談窓口 一覧表

ご相談窓口のご案内

お客様相談センター（全国共通番号） ナビダイヤル **0570－01－9000** (商品該当番号：42)

全国64か所にある最寄りのアクセスポイントまでの通話料金でご利用になれます。
お電話が繋がりましたら音声ガイダンスに従って、商品該当番号<42>または「レーザショット」とお話しください。

[受付時間] <平日> 9:00～20:00 <土日祝祭日> 10:00～17:00（1/1～3を除く）

※PHSまたは海外からご利用の方、ナビダイヤルをご利用いただけない方は、043-211-9627 をご利用ください。
※音声応答システム･受付時間･該当番号は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
※消耗品はお買い上げいただいた販売店、お近くのキヤノン製品取り扱い店およびキヤノン販売（株）販売窓口にてご購入ください。なお、ご不明な場合は、上記のお客様相談センターにご相談ください。

修理受付窓口

LASER SHOT LBP-1110SEの修理サービスのご相談は、お買い上げ販売店または、下記のサービス窓口へお問い合わせください。
下記、修理受付窓口の受付時間は 9:00AM～5:30PMです。土曜、日曜、祝祭日は休ませていただきます。
（但し、東京QRセンター・新宿サービスセンターの営業時間は 10:00AM～6:00PM、休業日は 日曜・祝祭日です。）
また、※印のサービスセンターでは、郵送・宅配による修理品もお取扱いを致しております。
お願い：LASER SHOT LBP-1110SEのお取扱い方法のお問い合わせは、必ず販売店または「お客様相談センター」あてにご連絡ください。

北 海 道 地 区

※札幌サービスセンター TEL 011 (728) 0665 〒060-8522 北海道札幌市北区北７条西1-1-2 ＳＥ山京ビル１Ｆ 札幌支店内

東 北 地 区

※仙台サービスセンター TEL 022 (217) 3210 〒980-8560 宮城県仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビルヂング１Ｆ 仙台支店内

関 東 ・ 信 越 地 区

※大宮サービスセンター TEL 048 (649) 1450 〒331-8544 埼玉県さいたま市桜木町4-247 ＯＳビル１Ｆ 大宮営業所内

東 京 ・ 神 奈 川 ・ 山 梨 地 区

東京QRセンター（持込のみ） TEL 03 (3837) 2961 〒110-0005 東京都台東区上野1-1-12 信井ビル１Ｆ
新宿サービスセンター（持込のみ） TEL 03 (3348) 4725 〒163-0401 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル１Ｆ
※キヤノンテクニカルセンター（郵送・宅配のみ） TEL 0297 (35) 5000 〒306-0605 茨城県岩井市大字馬立1234 F7棟3F
関東地区・東京地区で郵送・宅配にて修理品をお送りいただく場合は、上記キヤノンテクニカルセンターにお送りください。
※横浜サービスセンター TEL 045 (312) 0211 〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸2-6-26 ＨＩ横浜ビル２Ｆ 横浜営業所内

中 部 ・ 北 陸 地 区

※名古屋QRセンター TEL 052 (939) 1830 〒461-8511 愛知県名古屋市東区東桜2-2-1 高岳パークビル１Ｆ 名古屋支店内

近 畿 地 区

※大阪QRセンター TEL 06 (6942) 7418 〒540-0003 大阪府大阪市中央区森ノ宮中央2-5-3

中 国 ・ 四 国 地 区

※広島サービスセンター TEL 082 (240) 6712 〒730-0051 広島県広島市中区大手町3-7-5 広島パークビルヂング１Ｆ 広島支店内
※高松サービスセンター TEL 087 (823) 4681 〒760-0027 香川県高松市紺屋町4-10 鹿島紺屋町ビル１Ｆ 高松支店内

九 州 地 区

※福岡サービスセンター TEL 092 (411) 4173 〒812-0017 福岡県福岡市博多区美野島1-2-1 キヤノン販売福岡ビル１Ｆ 福岡支店内

2002年10月1日現在 上記の記載内容は、都合により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

キヤノン販売株式会社 **〒108-8011 東京都港区三田3-11-28**
LASER SHOT ホームページ：canon.jp/lbp